



# **Error Messages for DxDesigner™ Products**

Software Version EE2007.3

---

**© 2008 Mentor Graphics Corporation  
All rights reserved.**

This document contains information that is proprietary to Mentor Graphics Corporation. The original recipient of this document may duplicate this document in whole or in part for internal business purposes only, provided that this entire notice appears in all copies. In duplicating any part of this document, the recipient agrees to make every reasonable effort to prevent the unauthorized use and distribution of the proprietary information.

This document is for information and instruction purposes. Mentor Graphics reserves the right to make changes in specifications and other information contained in this publication without prior notice, and the reader should, in all cases, consult Mentor Graphics to determine whether any changes have been made.

The terms and conditions governing the sale and licensing of Mentor Graphics products are set forth in written agreements between Mentor Graphics and its customers. No representation or other affirmation of fact contained in this publication shall be deemed to be a warranty or give rise to any liability of Mentor Graphics whatsoever.

MENTOR GRAPHICS MAKES NO WARRANTY OF ANY KIND WITH REGARD TO THIS MATERIAL INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

MENTOR GRAPHICS SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, INDIRECT, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES WHATSOEVER (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOST PROFITS) ARISING OUT OF OR RELATED TO THIS PUBLICATION OR THE INFORMATION CONTAINED IN IT, EVEN IF MENTOR GRAPHICS CORPORATION HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

#### **RESTRICTED RIGHTS LEGEND 03/97**

U.S. Government Restricted Rights. The SOFTWARE and documentation have been developed entirely at private expense and are commercial computer software provided with restricted rights. Use, duplication or disclosure by the U.S. Government or a U.S. Government subcontractor is subject to the restrictions set forth in the license agreement provided with the software pursuant to DFARS 227.7202-3(a) or as set forth in subparagraph (c)(1) and (2) of the Commercial Computer Software - Restricted Rights clause at FAR 52.227-19, as applicable.

**Contractor/manufacturer is:**

Mentor Graphics Corporation  
8005 S.W. Boeckman Road, Wilsonville, Oregon 97070-7777.

Telephone: 503.685.7000

Toll-Free Telephone: 800.592.2210

Website: [www.mentor.com](http://www.mentor.com)

SupportNet: [www.mentor.com/supportnet](http://www.mentor.com/supportnet)

Send Feedback on Documentation: [www.mentor.com/supportnet/documentation/reply\\_form.cfm](http://www.mentor.com/supportnet/documentation/reply_form.cfm)

**TRADEMARKS:** The trademarks, logos and service marks ("Marks") used herein are the property of Mentor Graphics Corporation or other third parties. No one is permitted to use these Marks without the prior written consent of Mentor Graphics or the respective third-party owner. The use herein of a third-party Mark is not an attempt to indicate Mentor Graphics as a source of a product, but is intended to indicate a product from, or associated with, a particular third party. A current list of Mentor Graphics' trademarks may be viewed at: [www.mentor.com/terms\\_conditions/trademarks.cfm](http://www.mentor.com/terms_conditions/trademarks.cfm).

# Table of Contents

---

## Chapter 1

|                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| <b>DxDesigner のエラーメッセージ</b> ..... | <b>5</b> |
| メッセージ 1 から 1999 .....             | 5        |
| メッセージ 2000 から 2999 .....          | 14       |
| メッセージ 5000 から 5999 .....          | 36       |
| メッセージ 6000 から 6999 .....          | 51       |

## Chapter 2

|                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| <b>回路図チェッカーのエラーメッセージ</b> ..... | <b>61</b> |
| 記述的メッセージ .....                 | 61        |
| メッセージ 5200-5210 .....          | 63        |
| メッセージ 5211-5220 .....          | 65        |
| メッセージ 5221-5230 .....          | 67        |
| メッセージ 5231-5240 .....          | 70        |
| メッセージ 5241-5250 .....          | 72        |
| メッセージ 5251-5260 .....          | 75        |
| メッセージ 5261-5299 .....          | 77        |

## Chapter 3

|                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| <b>Scout および xref のエラーメッセージ</b> ..... | <b>81</b> |
| Scout のエラーメッセージ .....                 | 81        |
| メッセージ 100 から 149 .....                | 81        |
| メッセージ 150 から 200 .....                | 90        |
| xref コマンドのエラーメッセージ .....              | 92        |

## Chapter 4

|                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| <b>PCB インターフェイスのエラーメッセージ</b> ..... | <b>95</b> |
| メッセージ番号 5000-5999 .....            | 96        |
| メッセージ番号 6000-6999 .....            | 107       |
| メッセージ番号 7000-7999 .....            | 147       |

## Chapter 5

|                                       |            |
|---------------------------------------|------------|
| <b>Library Studio のエラーメッセージ</b> ..... | <b>157</b> |
| メッセージ 2100 から 2499 .....              | 157        |
| メッセージ 2500 から 2999 .....              | 162        |



# Chapter 1

## DxDesigner のエラーメッセージ

---

この章では、DxDesigner のエラーメッセージを以下のセクションに分けて説明します。

- [メッセージ 1 から 1999](#)
- [メッセージ 2000 から 2999](#)
- [メッセージ 5000 から 5999](#)
- [メッセージ 6000 から 6999](#)

エラーメッセージには以下の重大度識別子のいずれかがつきます。

- [I] 情報 (Basic タブで Verbose Processing オプションが有効になっている場合のみ表示)
- [W] 警告 (常に表示)
- [E] エラー (常に表示)

### メッセージ 1 から 1999

#### viewbase-E-234

メッセージ：The WIR file for schematic.1 has error(s), correct and recheck the schematic  
schematic.1 の WIR ファイルにエラーがあるので、回路図を修正・再チェックしてください。

原因： schematic.1 の wir ファイルを作成する際、DxDesigner が回路図シートのコンポーネントに相当する、欠けているライブラリシンボルを検出しました。これらのシンボルはシートの接続情報を書き込むのに必要となります。

解決策： 欠けているシンボルのリストで、指定されたライブラリでシンボルが使用可能であることを確認してください。その後 DxDesigner を再度開き、問題のあるシートを目視で確認し、保存とチェックを実行してシートの wir ファイルを再度作成します。

## viewbase-E-376

メッセージ : The design name *<current\_design>* in the DW statement does not match the name of the wire file *<previous\_design>* that contains it.

DW ステートメントでの設計名 *<current\_design>* は、含まれるワイヤファイル名と一致していません。

原因 : 設計は以前のプロジェクトからコピー / 名称変更されていますが、一部の参照がコピーされておらず、問題の原因となっています。

解決策 : 現在のプロジェクトの WIR サブディレクトリの中身を削除し、ワイヤファイルの新規セットを再度作成します。これを行うにはメインメニューからツール > Check Project ユーティリティを選択します。回路図ファイルのファイル名にスペースがある場合は、スペースのない名前に変更します。

## viewbase-E-377

[viewbase-E-376](#) と同じ。

## vdraw-E-1033

メッセージ : Segment overlaps component

線分がコンポーネントと重なっています。

原因 : 直交モードの際にコンポーネントと交差するネットを作図しようとしています。

解決策 : プロジェクト > 設定 > Nets タブで、以下のいずれかを実行します。

- コンポーネントに交わるネットを作図するには、配線モードを「直線」に変更します。
- コンポーネントを迂回するネットを作図するには、配線モードを「回避」に変更します。

## vdraw-I-1052

メッセージ : No text selected

テキストが選択されていません。

原因 : 変更するテキストを先に選択せずに、chgtext でテキストを変更しようとしています。

解決策 : chgtext コマンドを使用する前にテキストを選択してください。

## vdraw-E-1086

メッセージ : Invalid block name -- *<block name>*

ブロック名 *<block name>* が不正です。

原因 : 作成するプロジェクトの名前にスペースがあります。

解決策 : スペースを含まないプロジェクト名にしてください。

## vdraw-E-1093

メッセージ : Both pin points are the same.

ピンの点が両方とも同じです。

原因 : シンボル上に長さ 0 のピンを作成しようとしています ( シンボルの境界上にピンを作成しようとしている場合など )。ピンの境界点はピンの内点に対して比較されます。これら 2 つの点と同じ (x, y) 座標にある場合、エラーが発生します。

解決策 : ピンの長さが 0 より大きくなるよう変更してください。

## vdraw-E-1104

メッセージ : Illegal Qualifier

不正な限定詞です。

原因 : シンボルファイル名の拡張子に不正な ( 数字ではない ) 文字が使用されています。

解決策 : 有効なシンボル名は「名前.拡張子」の形式となります。ファイル名の拡張子は数字で、他の文字を含みません。

## vdraw-E-1107

メッセージ : No attributes selected.

属性が選択されていません。

原因 : NAME 属性の値を既存の NAME 属性値に変更しようとしています。

解決策 : すべての NAME 属性に固有の値を割り当てるようにしてください。

## vdraw-E-1110

メッセージ : Recursion not allowed

名前を重複させることはできません。

- 原因： シンボルと同じ名前の回路図にあるシンボルをインスタンス化しようとしています。シンボルと回路図が同じ名前の場合、回路図がそのシンボルの基となる回路図であることを示します。したがって、同じ名前の回路図上にシンボルを配置すると、不正な反復を起こす原因となります。
- 解決策： 回路図上に配置されるシンボルと回路図の名前が同じにならないようにし、反復を避けてください。

## vdraw-E-1124

メッセージ： Cannot paste component.

コンポーネントを貼り付けられません。

原因： コンポーネントにシンボルエディタとの互換性がありません。

解決策： コンポーネントに互換性がない原因を探してください。

## vdraw-E-1135

メッセージ： PINORDER attribute not found.

PINORDER 属性が見つかりません。

原因： PINORDER 属性が割当てられていません。

解決策： 回路図エディタで、コンポーネントに PINORDER 属性を割当ててください。

## vdraw-E-1153

メッセージ： Reserved name -con

con は予約名です。

原因： コンポーネント名の最初の 3 文字に "con" を使用しています。con は Microsoft の予約文字です。

解決策： コンポーネントに異なる名前を選択してください。

## vdraw-E-1223

メッセージ： Wrong object type selected

誤ったオブジェクトタイプが選択されました。

原因： ネットを選択した後に Ctrl-Y を押しています。Ctrl-Y は「次のコンポーネントにサイクル」のショートカットキーとなります。

解決策： Ctrl-Y を押す前にコンポーネントを選択してください。



## vdraw-W-1236

メッセージ : Symbol [*symbol\_name*] not found.

[*symbol\_name*] シンボルが見つかりません。

原因 : シンボルが定義されたライブラリに含まれていません。

このエラーには 2 通りの原因が考えられます。

- そこから回路図上に 1 つ以上のコンポーネントが追加されたエイリアス化されたライブラリが、そこからコンポーネントが追加されたプロジェクトの検索順序ライブラリから削除されました。
- 追加元のライブラリ内にすでにそのコンポーネントが存在していません。

カラスキームによっては、コンポーネントは非表示か、表示状態になっていた箇所に境界ボックスのみが表示されています。

解決策 1 : 問題のライブラリが検索順序から削除されている場合、プロジェクト検索順序を修正します。アウトプットログウィンドウにないシンボル名に注目してください。そのシンボル名のフォーマットは (最初にエイリアスが指定されていた場合) alias: symbol\_name となっているはずです。プロジェクトマネージャを起動し、欠けているライブラリを (最初にエイリアスを指定していた場合は) 適切なエイリアスで追加してください。この変更を適用するには、DxDesigner を閉じ、再起動する必要があります。

解決策 2 : プロジェクトの検索順序内の元のエイリアスを置き換えます。これを確定するにはアウトプットログウィンドウにないシンボル名に注目してください。フォーマットは alias: symbol\_name となっているはずです。コンポーネントが追加された際にライブラリにあったエイリアスが反映されています。この変更を適用するには、DxDesigner を閉じ、再起動する必要があります。

解決策 3 : コンポーネントが追加元のライブラリにまだ存在するか確認してください。同様に、この変更を適用するには、DxDesigner を閉じ、再起動する必要があります。

## vdraw-E-1249

メッセージ : FUBs cannot be instantiated through add component or change component commands.

「コンポーネント追加」や「コンポーネント変更」コマンドから、FUB のインスタンスは作成できません。

原因 : FUB (機能ブロック) は作成中のシンボルで、SYMTYPE=FUB 属性で識別されます。FUB はシンボルでないため、インスタンスを作成することはできません。

解決策： FUB の設計を完了させ、次に SYMTYPE=FUB 属性を削除することでシンボルにしてください。

## vdraw-E-1256

メッセージ： Cannot copy label or attribute

ラベルまたは属性をコピーできません。

原因： 複数のネット線分に追加のネットラベルを加えてそれらの表示を個々に制御しようとしています。

解決策： ラベル付けされたネットの他の線分に追加ラベルを追加する場合、ネットラベルを選択してください。次に Ctrl-LMB を押し、他の線分にネットラベルのコピーをドラッグします。個々のネット線分ラベルの表示設定を行うには、ネットラベルを選択し、変換ツールバーの該当する表示アイコンを選択してください。

## vdraw-W-1261

メッセージ： Attribute <attribute> has a mixed case value. This is inconsistent with your viewdraw.ini settings.

属性 <attribute> に大文字と小文字が混在する値が入力されました。viewdraw.ini ファイル設定と一致しません。

原因： 以下のいずれかが起きた可能性があります。

- 属性が小文字、あるいは大文字・小文字混在の値を持ち、viewdraw.ini で PRESERVE\_CASE が有効になっていない
- 属性が小文字、あるいは大文字・小文字混在の値を持ち、viewdraw.ini 内の ALLOW\_VALUE\_MIXED リストに属性名がない

解決策 1： viewdraw.ini で上記の設定が正しいことを確認してください。詳細は「大・小文字混在の属性値を有効にする」をご覧ください。

### Note



VL\_CASE\_WARNING 環境変数を削除して、この警告を抑制することができます。以下の手順に従ってください。

解決策 2： 以下の手順で、VL\_CASE\_WARNING 環境変数を削除してこの警告を抑制することができます。

- a. デスクトップのスタートボタンから、設定 > コントロールパネルをクリックします。

- b. コントロールパネルでシステムアイコンをクリックします。  
システムプロパティダイアログボックスが開きます。
- c. **環境**タブをクリックして前面に表示させます。
- d. ユーザー変数リストから VL\_CASE\_WARNING を選択します。
- e. **削除**をクリックしてリストから変数を削除します。
- f. **OK** をクリックします。

## vdraw-W-1263

メッセージ : Attribute <attribute> was converted to upper case because it came from an old database

古いデータベースから読み込んだデータであるため、属性 <attribute> は大文字に変換されました。

原因 : このメッセージが生成された場合、以下のすべての項目が該当しています :

- バージョンが 5.3 以前のデータベースを開いている
- データベースに大小文字混在あるいは小文字の属性値が含まれている
- すべての小文字と、大小文字混在の属性値を大文字に変更する VL\_UPPER\_OLD\_DB 環境変数が設定されている
- メッセージを表示する VL\_CASE\_WARNING 環境変数が設定されている

### Note



デフォルトではユーザー環境にこれらの変数は含まれていないため、これらの変数は手動で追加・設定されています。

解決策 : 値を強制的に大文字に変更しても問題が起きないことが確認できるまで、データベースには書き込みを行わないでください。

以下のオプションがあります。

—属性を大文字のままにし、メッセージを生成する :  
操作は必要ありません。

—属性を大文字のままにし、メッセージを抑制する :

下記の手順で VL\_CASE\_WARNING 変数を削除してください。

- a. デスクトップのスタートボタンから、**設定 > コントロールパネル**をクリックします。

- b. コントロールパネルでシステムアイコンをクリックします。  
システムプロパティダイアログボックスが開きます。
- c. **環境**タブをクリックして前面に表示させます。
- d. **ユーザー変数**リストで VL\_CASE\_WARNING を選択します。
- e. **削除**をクリックしてリストから変数を削除します。
- f. **OK** をクリックします。  
—属性値の大文字への変更を許可しない :  
下記の手順で VL\_UPPER\_OLD\_DB 変数を削除します :
- g. デスクトップの**スタート**ボタンから、**設定 > コントロールパネル**をクリックします。
- h. コントロールパネルでシステムアイコンをクリックします。  
システムプロパティダイアログボックスが開きます。
- i. **環境**タブをクリックして前面に表示させます。
- j. **ユーザー変数**リストで VL\_UPPER\_OLD\_DB を選択します。
- k. **削除**をクリックしてリストから変数を削除します。
- l. **OK** をクリックします。  
VL\_UPPER\_OLD\_DB が削除されている限り、メッセージは表示されません。ただし、完全を期すために、上記手順に従い VL\_CASE\_WARNING 変数を削除することもできます。

## vdDraw-E-1264

メッセージ : Unable to locate borders.ini file for instantiating default border symbol.

デフォルトのボーダーシンボルのインスタンスを作成するために borders.ini ファイルを特定できません。

原因 : borders.ini ファイルが WDIR パスにありません。

解決策 : 標準ディレクトリから borders.ini ファイルをコピーするか、borders.ini を含むよう WDIR を変更してください。

## vdDraw-E-1267

メッセージ : Cannot open design <design name>.

設計 <design name> を開くことができません。

原因 : 問題があるため、「プロジェクト印刷」は設計を開くことができません。

解決策： 設計を開き、保存とチェックを実行し、問題を特定してください。

## vdraw-E-1268

メッセージ： Cannot assign a multi-width label to a net or component.

ネットまたはコンポーネントに、幅が 1 を越えたラベルを付けることはできません。

原因： 1 つのネットまたはコンポーネントに幅 > 1 のラベルを適用しようとしてしました。

解決策： オブジェクトに適切な幅のラベル (幅 =1) を指定してください。

## vdraw-E-1269

メッセージ： No border symbol is defined for <sheet size><orientation>.

<sheet size><orientation> に対して、ボーダーシンボルが定義されていません。

原因： このサイズと方向のボーダーシートを定義していません。

解決策： プロジェクト設定の Block/Borders タブで Configure Default Borders をクリックして、このシートサイズと方向のボーダーシンボルを設定してください。

## vdraw-E-1270

メッセージ： Unable to locate specified border symbol: <symbol name>

指定したボーダーシンボルが見つかりません： <symbol name>

原因： 指定したボーダーシンボルが存在しないか、それを含むライブラリが検索順序にありません。

解決策： シンボルを作成するか、検索順序にライブラリを追加してください

## vdraw-E-1274

メッセージ： Failed to contact central library

セントラルライブラリと通信できません。

原因： セントラルライブラリが壊れているか、アクセスできません。

解決策：  
— ライブラリマネージャを実行し、破損があれば修正してください  
— ネットワークアクセスを確認してください。  
— ファイルへのアクセス許可を確認してください。

## vdraw-E-1275

メッセージ : Central library is not specified. Cannot get pin numbers from PDB

セントラルライブラリが設定されていません。PDB からピン番号を取得できません。

原因 : セントラルライブラリが設定されていないか、パスが誤って設定されています。

解決策 : パスを確認するか、以下の手順でプロジェクトのセントラルライブラリを設定します。

- a. プロジェクトフローのツールバーで、セントラルライブラリを選択して、Project Flows ボタンをクリックします。
- b. Central Library チェックボックスを選択します。
- c. Central Library チェックボックスの横にあるプラス記号をクリックして、Path を選択します。
- d. セントラルライブラリへのパスを確認します。正しくない場合、パスを入力するか、参照ボタンでパスを指定して OK をクリックします。

## vdraw-W-1276

メッセージ : Component does not have DEVICE attribute. Cannot get pin numbers from PDB.

コンポーネントには DEVICE 属性がありません。PDB からピン番号を取得できません。

原因 : コンポーネントに DEVICE 属性を割当てていません。

解決策 : 回路図エディタで、コンポーネントに DEVICE 属性を割当てます。

## メッセージ 2000 から 2999

### vdraw-E-2204

メッセージ : Net [Net Number] is invalid

ネット [Net Number] が無効です。

原因 : 回路図上の他のオブジェクトに接続がない回路図ファイルにネットが組み込まれました。これは有効な状態ではなく、アプリケーション外で回路図ファイルを編集したときのみ作成されます。

解決策 : 以下のいずれかを実行してください。

- a. アプリケーションを閉じます。
- b. テキストエディタで回路図ファイルを開きます。"N[Net Number] で始まる行を探し、関連するものと一緒に削除します。
- c. アプリケーションと回路図を再度開きます。
- d. ネットを再度追加し、確実に接続を作成します。

## vdraw-E-2005

メッセージ : Library: does not exist.

ライブラリが存在しません。

原因 : プロジェクトにないライブラリからシンボルを回路図に追加しようとした。

解決策 : 以下の手順でプロジェクトにライブラリを追加してください。

- a. プロジェクトナビゲータのプロジェクトタブを選択します。
- b. ライブラリで右クリックしてメニューから「ライブラリを追加」を選択します。
- c. ライブラリダイアログボックスで、追加するライブラリを含むファイルを探します。
- d. ライブラリを選択して OK をクリックします。プロジェクトナビゲータで、アクティブなプロジェクトの下にライブラリが表示されます。

## vdraw-W-2005

メッセージ : Library: <libname> does not exist.

ライブラリ <libname> が存在しません。

原因 : 指定したライブラリは DxDesigner では使用できません。

解決策 : 指定したライブラリがファイルシステムの一部であるか調べます。

## vdraw-W-2206

メッセージ : Pin/Net disassociation at location (x,y)

ピンとネットは (x, y) 座標で対応していません。

原因 : このメッセージは、ネットの端がコンポーネントの外形 (境界ボックス) に侵入したときに表示されます。ピンがぶら下がりネットから、プロジェクトの現行グリッド間隔のグリッド 1 つ分以内にある



ときにも表示されます。グリッドが x 軸、y 軸のいずれの場合でも適用されます。

解決策： 未接続のコンポーネントからネットを離してください。

## vdraw-E-2209

メッセージ： Error reading Act027A

Act027A の読み込みエラーが起きました。

原因： 通常、このメッセージは、読み込み中のファイルが ( ファイルを開くのに使用した ) シンボルエディタまたは回路図エディタで認識できない場合に発生します。シンボルファイルや回路図ファイルには特有のファイル形式があるため、形式にずれがあるとエラーが発生し、DxD Designer はファイルが壊れていると想定します。ファイルが破損したと解釈される理由には以下があります：

- シンボルまたは回路図を手作業で編集し、正しいファイル形式を保持できなかった場合。
- WIR ファイルを誤って回路図エディタで開こうとした場合。
- 他のベンダーのアプリケーションから変換された無効な形式のシンボルや回路図の場合。

解決策 1： 破損したファイルの場合、bac ディレクトリに回路図 / シンボルの有効なコピーがある場合があります。bac ディレクトリにファイルが存在する場合、回路図エディタまたはシンボルエディタの復元コマンド (DxD Designer のメインメニューでファイル > 復元を選択) を使用して前のバージョンのファイルを復元してください。

解決策 2： 回路図ファイルと間違えて WIR ファイルを開いてしまった場合は、元の回路図ファイルを探してください。ファイルが実際 WIR ファイルで対応する回路図がない場合、ViewGen で WIR ファイルを読み込み、対応する回路図を作成する必要があります。

解決策 3： 回路図 / シンボルが手動で修正されており、DxD Designer でファイルを開こうとするとエラーが表示される場合は、元の回路図 / シンボルを開き、手動で行おうとした編集を DxD Designer で実行してください。DxD Designer での編集後もエラーが発生する場合はカスタマーサポートにご連絡ください。

解決策 4： 元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、その製品のベンダーに回路図 / シンボル作成プロセスに問題がある可能性をご報告ください。



## vdraw-W-2222

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid origin. Changing the origin [oldOrigin] to [newOrigin].*

*[Schematic|Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効な原点があります。原点 *[oldOrigin]* を *[newOrigin]* に変更します。

原因 : データベースで無効な原点が指定されました。次のような原因が考えられます。

- テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、
- ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : 原点は viewdraw.ini ファイルで指定されたデフォルトに自動的に変更されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2223

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has invalid visibility. Changing visibility [oldVisibility] to [newVisibility].*

*[Schematic|Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効な表示があります。表示 *[oldVisibility]* を *[newVisibility]* に変更します。

原因 : データベースで無効な表示設定が指定されました。次のような原因が考えられます。

- テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、
- ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不正に作成または修正した。

解決策 : 表示設定は viewdraw.ini ファイルで指定されたデフォルト (1) に自動的に変更されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2224

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has invalid scope. Changing scope [oldScope] to [newScope].*

- [Schematic|Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効なスコープがあります。スコープ *[oldScope]* を *[newScope]* に変更します。
- 原因 : データベースで無効な表示設定が指定されました。次のような原因が考えられます。
- テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、
  - ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不正に作成または修正した。
- 解決策 : スコープは *viewdraw.ini* ファイルで指定されたデフォルトに自動的に変更されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2225

- メッセージ : *[Schematic|Symbol]* file *[library][Filename][ext]* has invalid inversion. Changing inversion *[oldInversion]* to *[newInversion]*.
- [Schematic|Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効な反転があります。反転 *[oldInversion]* を *[newInversion]* に変更します。
- 原因 : データベースで無効な反転が指定されました。次のような原因が考えられます。
- テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、
  - ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不正に作成または修正した。
- 解決策 : 反転は自動的に「反転しない」に変更されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2226

- メッセージ : *[Schematic]* file *[library][Filename][ext]* has invalid scale. Changing scale *[oldScale]* to *[newScale]*.
- [Schematic]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効な縮尺変更があります。縮尺変更 *[oldScale]* を *[newScale]* に変更します。
- 原因 : データベースで無効な縮尺がコンポーネントに指定されました。次のような原因が考えられます。

—テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、  
 —ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不正に作成または修正した。

解決策： 縮尺は自動的に 1 に変更されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図が DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2227

メッセージ： *[[Schematic|Symbol]] file [[library]][Filename][ext] has invalid size. Changing size [oldSize] to [newSize].*

*[[Schematic|Symbol]]* ファイル *[[library]][Filename][ext]* に、無効なサイズがあります。サイズ *[oldSize]* を *[newSize]* に変更します。

原因： データベースで属性、ラベルまたはテキストオブジェクトに無効なサイズが指定されました。次のような原因が考えられます。

—テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、  
 —ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不正に作成または修正した。

解決策： サイズは viewdraw.ini ファイルで指定されたデフォルトに自動的に変更されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2228

メッセージ： *[[Schematic|Symbol]] file [[library]][Filename][ext] has invalid number of points on line [[lineNumber]]. Ignoring line with [num] points.*

*[[Schematic|Symbol]]* ファイル *[[library]][Filename][ext]* の、線 *[[lineNumber]]* 上に、無効なポイント数があります。*[num]* ポイントからなる線が無視します。

原因： データベースで無効な線が指定されました。次のような原因が考えられます。

—テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、  
 —ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不正に作成または修正した。

解決策 : 線は自動的に削除されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-W-2229

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has invalid coordinate. Changing coordinate [oldCoordinate] to [newCoordinate].*

*[Schematic|Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効な座標があります。座標 *[oldCoordinate]* を *[newCoordinate]* に変更します。

原因 : データベースで無効な座標が指定されました。次のような原因が考えられます。

- テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った。あるいは、
- ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不正に作成または修正した。

解決策 : 座標値は、通常 0 に自動的に変更されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-W-2230

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid label. Ignoring label due to invalid or no previous object.*

*[Schematic|Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効なラベルがあります。オブジェクトが無効、または存在していません。ラベルを無視します。

原因 : データベースで無効なラベルが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- c. ラベル付きオブジェクト ( ネットなど ) は設計データベースで無効となります。オブジェクトに付いているすべてのラベルは無視されます。

解決策 : ラベルは無視されます。したがって、ラベルはブロックの中にはありません。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2231

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid label. Ignoring label due to invalid object or no sub object.*

*[Schematic|Symbol] ファイル [library][Filename][ext] に、無効なラベルがあります。オブジェクトが無効、またはサブオブジェクトが存在していません。ラベルは無視します。*

原因 : データベースで無効なラベルが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- c. ラベル付きオブジェクト ( ネットなど ) は、設計データベースで無効となります。オブジェクトに付いているすべてのラベルは無視されます。

解決策 : ラベルは無視されます。したがって、ラベルはブロックの中にはありません。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2232

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid attribute. Ignoring attribute due to invalid or no previous object.*

*[Schematic|Symbol] ファイル [library][Filename][ext] に、無効な属性があります。オブジェクトが無効、またはオブジェクトが存在していません。属性は無視します。*

原因 : データベースで無効な属性が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

- c. ラベル付きオブジェクト ( ネットなど ) は、設計データベースで無効となります。オブジェクトに付いているすべてのラベルは無視されます。

解決策 : 属性は無視されます。したがって、属性はブロックの中にはありません。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-W-2233

メッセージ : *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid attribute. Ignoring attribute due to invalid object or no previous sub object.*

*[Schematic|Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効な属性があります。オブジェクトが無効、またはサブオブジェクトが存在していません。属性は無視します。

原因 : データベースで無効な属性が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- c. ラベル付きオブジェクト ( ネットなど ) は、設計データベースで無効となります。オブジェクトに付いているすべてのラベルは無視されます。

解決策 : 属性は無視されます。したがって、属性はブロックの中にはありません。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-W-2234

メッセージ : *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid sheet number. Changing the sheet number [oldSheetNumber] to [newSheetNumber].*

*[Schematic]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効なシート番号があります。シート番号 *[oldSheetNumber]* を *[newSheetNumber]* に変更します。

原因 : データベースでコンポーネントインスタンス ( シンボル ) に無効なシート番号が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。



- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : シート番号は 1 に変更されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2235

メッセージ : *[[Schematic|Symbol]] file [[library]][Filename][ext] has an invalid last id used. Changing last ID used [oldLastId] to [newLastId].*

*Schematic|Symbol* ファイル *[[library]][Filename][ext]* で、無効な最後の ID が使用されました。使用した最後の ID *[oldLastId]* を *[newLastId]* に変更します。

原因 : データベースで無効な最終 ID が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : 最終 ID は、データベースで最後に見つかったオブジェクトに変更されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2236

メッセージ : *[[Schematic|Symbol]] file [[library]][Filename][ext] has an invalid radius. Changing the radius [oldRadius] to [newRadius].*

*[[Schematic|Symbol]]* ファイル *[[library]][Filename][ext]* に、無効な半径があります。半径 *[oldRadius]* を *[newRadius]* に変更します。

原因 : データベースで無効な半径が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** 半径は 10 に変更されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-W-2237

**メッセージ：** *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid number of joints or segments on the net. Deleting corrupt net with ID [id].*

*[Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、ネットのジョイントやセグメントの無効な数があります。ID [id] でコラプト (崩壊) ネットを削除します。*

**原因：** データベースで無効なネットが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** ネットは削除されます。回路図を編集、再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-W-2238

**メッセージ：** *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid joint type. Changing joint type [oldJointType] to [newJointType].*

*[Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、無効なジョイントタイプがあります。ジョイントタイプ [oldJointType] を [newJointType] に変更します。*

**原因：** データベースで無効なジョイントタイプが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** ジョイントタイプは自動的に修正されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。



## vdraw-W-2239

メッセージ : *[Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid side. Changing side [oldSide] to [newSide].*

*[Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に無効な側面があります。側面 *[oldSide]* を *[newSide]* に変更します。

原因 : データベースで無効な側面が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : 側面は自動的に修正されます。シンボルを編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください

## vdraw-W-2240

メッセージ : Finish reading block *[name]* with *[num]* errors and *[num]* warnings.

*[num]* エラーと *[num]* 警告のあるブロック *[name]* の読み込みを終了します。

原因 : このメッセージはデータベース詳細読み込みモードがオフになっている場合のみ生成されます。モードがオフの場合、データベースにあるエラーや警告はカウントされ、最終集計がこのメッセージと共に作成されます。モードがオンの場合、警告またはエラーが生成され、集計は作成されません。モードは viewdraw.ini で "5.0 DB\_ERR\_VERBOSE" キーワードで切り替えることができます。モードは Props > モードダイアログボックスでも切り替えることができます。

解決策 : 「警告」は、何らかの問題が見つかり、解決のため処理が行われたことを示します。「エラー」は、より重大な問題が発生し、回復が不可能か、再調査が必要なことを示しています。実際の警告とメッセージを表示するには詳細表示をオンにしてデータベースを再ロードしてください。

## vdraw-W-2241

メッセージ : *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid joint. Ignoring joint with invalid or no previous net.*

[Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、無効なジョイントがあります。ネットが無効、または存在しません。ジョイントを無視します。

原因： データベースで無効なジョイントが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- c. 無効のネットやジョイントが無視された

解決策： ジョイントは無視されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdrawing-W-2242

メッセージ： [Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid segment. Ignoring segment with invalid or no previous net.

[Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、無効な線分があります。ネットが無効、または存在しません。線分を無視します。

原因： データベースで無効なネット線分が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図ファイルの編集を行った。
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- c. 無効なネットや線分が無視された

解決策： 線分は無視されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdrawing-W-2243

メッセージ： [Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid segment. Ignoring segment with invalid joint ID.

[Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、無効な線分があります。ジョイント ID が無効な線分を無視します。

- 原因 : データベースで無効な線分が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。
- テキストエディタで回路図ファイルの編集を行った。
  - ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
  - 無効なジョイントへの参照は無視されます。
- 解決策 : 線分は無視されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdw-W-2244

- メッセージ : *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid segment. Ignoring segment with low and high joints the same.*
- [Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、無効な線分があります。Low ジョイントと High ジョイントが同じ線分は無視します。*
- 原因 : データベースで無効な線分が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。
- テキストエディタで回路図の編集を行った。
  - ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- 解決策 : 線分は無視されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdw-W-2245

- メッセージ : *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid segment. Ignoring segment with low and high joints the same.*
- [Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、無効な線分があります。Low ジョイントと High ジョイントが同じ線分は無視します。*
- 原因 : データベースで無効な線分が指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。
- テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
  - ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** 線分は無視されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2246

**メッセージ：** *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid label string. Ignoring label with invalid string [labelString].*

*[Schematic|Symbol] ファイル [library][Filename][ext] に、無効なラベル文字列があります。無効な文字列 [labelString] を含んでいるラベルを無視します。*

**原因：** データベースで無効なラベルが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** ラベルは無視されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2247

**メッセージ：** *[Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid key. Ignoring line with invalid key [key].*

*[Schematic|Symbol] ファイル [library][Filename][ext] に、無効なキーがあります。無効なキー [key] を含んでいるラインを無視します。*

**原因：** データベースで無効なキーが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** ラインは無視されます。回路図 / シンボルは編集して再保存できます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2248

メッセージ : *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid net ID. Ignoring net with ID [id].*

*[Schematic]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効なネット ID があります。ID *[id]* を含んでいるネットを無視します。

原因 : データベースで無効な ID を持つネットが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : そのネットは無視されます。回路図を見直し、無視されたネットを再度作成してください。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2249

メッセージ : *[Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid pin ID. Ignoring pin with ID [id].*

*[Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、無効なピン ID があります。ID *[id]* の付いたピンを無視します。

原因 : データベースで無効な ID を持つピンが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : ピンは無視されます。シンボルを見直し、無視されたピンを再度作成してください。シンボルを編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2250

メッセージ : *[Schematic] file [library][Filename][ext] has an invalid component ID. Ignoring component with ID [id].*

[Schematic] ファイル [library][Filename][ext] に、無効なコンポーネント ID があります。ID [id] の付いたコンポーネントを無視します。

原因： データベースで無効な ID を持つコンポーネントが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策： コンポーネントは無視されます。回路図を見直し、無視されたコンポーネントを再度作成してください。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。元のシンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-E-2251

メッセージ： [Schematic|Symbol] file [library][Filename][ext] has an invalid version. Aborting reading of database file with version [num].

[Schematic|Symbol] ファイル [library][Filename][ext] に、無効なバージョンがあります。バージョン [num] を含んでいるデータベースファイルの読み込みを中止します。

原因： 以下のいずれかが起こりました。

- a. データベースで無効なデータベースバージョンが指定されました。以下のいずれかが原因として考えられます：
- b. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- c. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策： データベースパーサーが読み込みを中断しました。ファイル復元コマンドを実行してバックアップファイルを復元してください。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdDraw-W-2252

メッセージ： Missing integer on line [lineNumber]. Defaulting field to [number].

ライン [lineNumber] に整数がありません。フィールドを [number] にデフォルト設定します。



原因 : データベースでの期待値は整数です。データベースの読み込み中止されず、代わりにデフォルト値が割当てられました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : 値をデフォルト値に設定することにより回復が行われます。回路図 / シンボルを見直し、編集、保存してください。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-W-2253

メッセージ : Missing float. Defaulting field to *[number]*.

浮動小数点数が欠けています : フィールドを *[number]* にデフォルト設定します。

原因 : データベースでの期待値は浮動小数点数です。データベースの読み込みは中止されず、代わりにデフォルト値が割当てられました。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : 値をデフォルト値に設定することにより回復が行われます。回路図 / シンボルを見直し、編集、保存してください。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdraw-E-2254

メッセージ : *[Schematic/Symbol]* file *[library][fileName][ext]* has unknown format -- expecting version. Aborting reading of database file.

*[Schematic/Symbol]* ファイル *[library][Filename][ext]* に、バージョンの異なる認識されないフォーマットがあります。データベースファイルの読み込みを中止します。

原因 : データベースファイルが想定外の無効な形式です。データベースの読み込みは中止されます。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った

- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

解決策 : データベースパーサーが読み込みを中断しました。ファイル復元コマンドを実行してバックアップファイルを復元してください。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdwaw-E-2255

メッセージ : *[Schematic/Symbol] file [library][fileName][ext] has bad string. Aborting reading of database file.*

*[Schematic/Symbol] ファイル [library][Filename][ext] に、不正な文字列があります。データベースファイルの読み込みを中止します。*

原因 : データベースファイルが想定外の無効な文字列を含んでいます。データベースの読み込みは中止されます。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- c. ファイルが OS によって破損された。

解決策 : データベースパーサーが読み込みを中断しました。ファイル復元コマンドを実行してバックアップファイルを復元してください。元の回路図 / シンボルが DxD Designer 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdwaw-E-2256

メッセージ : *[Schematic/Symbol] file [library][fileName][ext] has K line on line [lineNumber]. Database versions [versionNum] cannot have K lines. Aborting reading of database file.*

*[Schematic/Symbol] ファイル [library][fileName][ext] の、ライン [lineNumber] に K ラインがあります。データベースバージョン [versionNum] は K ラインを持つことができません。データベースファイルの読み込みを中止します。*

原因 : データベースファイルにデータベースバージョンとして無効な K ラインが含まれています。データベースの読み込みは中止されます。以下のいずれかが原因として考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った



- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** データベースパーサーが読み込みを中断しました。ファイル復元コマンドを実行してバックアップファイルを復元してください。元の回路図 / シンボルが DxDesigner 以外のアプリケーションで作成されている場合、そのツールに問題がある可能性をベンダーにご報告ください。

## vdrawing-W-2257

**メッセージ：** Schematic file *[library][fileName][ext]* has rippers when rippers are not enabled.

回路図ファイル *[library][fileName][ext]* にリッパーがありますが、リッパーは有効になっていません。

**原因：** データベースファイルにリッパーが含まれていますが、リッパーモードが有効になっていません。読み込みステータスが不良です。

**解決策：** リッパーモードを有効にして回路図を再度読み込んでください。

## vdrawing-W-2258

**メッセージ：** *[Schematic]* file *[library][fileName][ext]* has an invalid segment. Ignoring segment. Maximum segments for joint read.

*[Schematic]* ファイル *[library][filename][ext]* に、無効な線分があります。線分を無視します。ジョイント読み込み用の最大線分。

**原因：** データベースで無効な線分が指定されました。ジョイント部分には最大 4 つまで線分を持つことができます。ジョイント上の 5 つ目以降の線分となっています。以下を始めとする原因が考えられます。

- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
- b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。

**解決策：** 線分は無視されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。

## vdrawing-W-2259

**メッセージ：** Missing string. Defaulting field to empty string.

文字列がありません。フィールドを空白文字列にデフォルト設定します。

- 原因 : ファイルのライン上に文字列が必要です。データベースの読み込みは中止されず、代わりに空の文字列が割当てられました。以下を始めとする原因が考えられます。
- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
  - b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- 解決策 : 値は無視されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。

## vdw-W-2260

- メッセージ : *[Schematic] file [library][fileName][ext] has an invalid joint type of pin for joint at (X,Y).*
- [Schematic] ファイル [library][fileName][ext] で、(X,Y) 座標上にあるジョイント用ピンのジョイントタイプが無効です。*
- 原因 : ジョイントがピンに接続済であると指定されていますが、実際は接続されていません。ジョイントのタイプはぶら下がりタイプに変更されます。以下を始めとする原因が考えられます。
- a. テキストエディタで回路図またはシンボルファイルの編集を行った
  - b. ユーティリティプログラムがデータベースファイルを不適切に作成または修正した。
- 解決策 : ジョイントのタイプがぶら下がりタイプに変更されます。回路図を編集、再保存することができます。回復の際に行われた修正も保存されます。

## vdw-W-2261

- メッセージ : *<file name> file may contain unlimited text length strings. This functionality is not supported by all FPGA, PLD, and CPLD flows.*
- ファイル <file name> に、テキスト長が無制限の文字列が含まれている可能性があります。この機能は、すべての FPGA、PLD、CPLD フローではサポートされていません。*
- 原因 : プロジェクトの viewdraw.ini ファイルで無制限テキスト長 (UTL) が有効になっています。
- 解決策 : 情報表示のみ。操作の必要はありません。

## vdraw-W-2262

メッセージ : Writing file <file name> with unlimited text length strings. This functionality is not supported by all FPGA, PLD and CPLD flows.

テキスト長が無制限の文字列が含まれているファイル <file name> の書き込みを行っています。この機能は、すべての FPGA、PLD、CPLD フローではサポートされていません。

原因 : プロジェクトの viewdraw.ini ファイルで無制限テキスト長 (UTL) が有効になっています。

解決策 : 情報表示のみ。操作の必要はありません。

## vdraw-W-2263

メッセージ : Writing wir file <file name> with unlimited text length support. This functionality may not be supported by all applications.

無制限テキスト長の対応が含まれている wir ファイル <file name> の書き込みを行っています。この機能はすべてのアプリケーションでサポートされるとは限りません。

原因 : プロジェクトの viewdraw.ini ファイルで無制限テキスト長 (UTL) が有効になっています。

解決策 : 情報表示のみ。操作の必要はありません。

## vdraw-E-2264

メッセージ : Sch\_Error - String <string> is greater than <n> characters.

Sch\_Error - 文字列 <string> が、<n> 文字よりも長くなっています。

原因 : 文字列 <string> は viewdraw.ini の LONG\_LINE\_ERRORS キーワードで設定された文字制限を越えています。

解決策 : <string> を短くするか、LONG\_LINE\_ERRORS の値を増やします。

## vdraw-W-2265

メッセージ : Writing oat file <file name> with unlimited text length support. This functionality may not be supported by all applications

無制限テキスト長への対応が含まれている oat ファイル <file name> の書き込みを行っています。この機能はすべてのアプリケーションにサポートされるとは限りません。

原因 : プロジェクトの viewdraw.ini ファイルで無制限テキスト長 (UTL) が有効になっています。

解決策： 情報表示のみ。操作の必要はありません。

## vdraw-E-2266

メッセージ： The design <design name> has had a sheet inserted or deleted, which is being referenced by your top level designs oats file.

設計 <design name> にシートが挿入または削除されました。このシートは、最上レベル設計 OAT ファイルによって参照されています。

原因： シートを挿入・削除すると、OAT ファイルの参照が相殺されます。

解決策： (まだ行っていないければ) 設計をバックアップし、Oatstools を実行して最上レベルの oats ファイルを同期させてください。Oatstools を既に実行している場合は、sch サブディレクトリから .oto ファイルを削除して、このメッセージを表示しないようにできます。

## vdraw-W-2267

メッセージ： Do not save design <design name> because schematic file <file name> has component # attrs removed due to missing symbols.

欠けているシンボルにより回路図ファイル <file name> はコンポーネント # 属性が除かれているので設計 <design name> を保存しないでください。

原因： 検索順序が正しくないか、シンボルがライブラリにありません。

解決策： 検索順序を修正してから再度操作を行ってください。

## メッセージ 5000 から 5999

### vdraw-E-5206

メッセージ： Incorrectly specified \$ARRAY attribute on component [component\_name].

コンポーネント [component\_name] の \$ARRAY 属性が、不正に指定されました。

原因： 対象コンポーネントの \$ARRAY 属性を解釈できません。構文に誤りがあります。

解決策： \$ARRAY 属性に正しい構文を使用してください。

### vdraw-W-5207

メッセージ： Two attributes with the same name [attr\_name] on pass-through pins [pin\_name] on component [component\_name].

コンポーネント *[component\_name]* 上のパススルーピン *[pin\_name]* に同じ名前 *[attr\_name]* の属性が 2 つあります。

原因： 対象コンポーネントの各パススルーピンが同じ名前の属性を持っています。パススルーピン属性の競合は許可されていません。

解決策： 属性が競合しないことを確認してください。競合する場合はコンポーネント上のコンポーネントピン属性を更新してください。

## vdrawing-E-5209

メッセージ：Label ? disallowed.

ラベル ? が拒否されました。

原因： オブジェクトにラベル "?" を付けることはできません。

解決策： 有効な名前でオブジェクトの名称変更を行ってください。

## vdrawing-E-5210

メッセージ：\$ARRAY attribute not allowed on schematic pin *[name]* at *[x,y]*.

*[x,y]* 上の回路図ピン *[name]* で、\$ARRAY 属性が拒否されました。

原因： 回路図ピンに \$ARRAY 属性は使用できません。

解決策： 対象コンポーネントから \$ARRAY を削除してください。

## vdrawing-E-5211

メッセージ：\$ARRAY attribute not allowed on the ripper *[name]* at *[x,y]*.

*[x,y]* 上のリッパー *[name]* で、\$ARRAY 属性が拒否されました。

原因： リッパーコンポーネントに \$ARRAY 属性は使用できません。

解決策： 対象リッパーコンポーネントから \$ARRAY を削除してください。

## vdrawing-E-5212

原因： Symbol *[symbol\_name]* (of type PIN) has no pins.

(PIN タイプの) シンボル *[symbol\_name]* にピンがありません。

原因： (PIN タイプの) シンボル *[symbol\_name]* にはピンが 1 本のみ必要です。

解決策： ピンタイプシンボルにピンを 1 本追加してください。

## vdraw-E-5213

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* (of type PIN) has >1pin.

(PIN タイプの) シンボル *[symbol\_name]* にピンが >1 あります。

原因 : (PIN タイプの) シンボル *[symbol\_name]* にはピンが 1 本のみ必要です。

解決策 : シンボル *[symbol\_name]* にピンが 1 本のみあることを確認してください。

## vdraw-E-5214

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* has an unnamed pin at (x,y). Naming it \$?

(x,y) 上に、シンボル *[symbol\_name]* に名前のないピンがあります。  
\$? と名づけます。

原因 : シンボル *[symbol\_name]* にラベル付けされていないピンがあります

解決策 : 該当するピンシンボルにラベルを付けてください。

## vdraw-E-5215

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* is expected to have pin *[pin\_name]* according to its pin order file *[filename]* .PIN.

シンボル *[symbol\_name]* が、ピン順序ファイル *[filename]*.PIN に従って、ピン *[pin\_name]* を持つことが想定されています。

原因 : ピン順序ファイルに、シンボルにないピン (ラベル) への参照が含まれています。

解決策 : ピン (ラベル) を作成・変更するか、ピン順序ファイルからピン (ラベル) 参照を削除してください。

## vdraw-E-5216

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* is expected to have pin *[pin\_name]* according to its PINORDER attribute.

シンボル *[symbol\_name]* は、PINORDER 属性に従って、ピン *[pin\_name]* を持つことが想定されています。

原因 : シンボル *[symbol\_name]* の PINORDER 属性に、シンボルにないピン (ラベル) への参照が含まれています。

解決策 : ピン (ラベル) を作成・変更するか、PINORDER 属性からピン (ラベル) 参照を削除してください。

## vdraw-E-5217

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* has a pin *[pin\_name]* that is not defined in its pin order file *[filename]* .PIN.

シンボル *[symbol\_name]* に、ピン順序ファイル *[filename]*.PIN 内で定義されていないピン *[pin\_name]* があります。

原因 : シンボルにピン順序ファイルにないピン (ラベル) が含まれています

解決策 : ピン順序ファイルにピン (ラベル) を追加するか、シンボル上のピン (ラベル) を変更・削除してください。

## vdraw-E-5218

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* has a pin *[pin\_name]* that is not defined in it's PINORDER attribute.

シンボル *[symbol\_name]* に、シンボルの PINORDER 属性にて定義されていないピン *[pin\_name]* があります。

原因 : シンボルに、PINORDER 属性にないピン (ラベル) があります。

解決策 : PINORDER 属性にピン (ラベル) を追加するか、シンボル上のピン (ラベル) を変更・削除してください。

## vdraw-E-5219

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* has a pin *[pin\_name]* that is not defined in pin *[pin\_name]*.

シンボル *[symbol\_name]* に、ピン *[pin\_name]* 内で定義されていないピン *[pin\_name]* があります。

原因 : 1 つのピン名がシンボル上の他のピン名のサブセットになっています

解決策 : どちらかのピンの名前を変更してください。

## vdraw-E-5220

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* not found or empty.

シンボル *[symbol\_name]* が見つかりません。または空です。

原因 : シンボルが見つからないか、データが含まれていません。見つからない場合、エラーは WIR ファイルに書き込まれ、ワイヤリストイングはできません。

解決策 : viewdraw.ini にシンボルの検索パスを入れてください。



## vdraw-W-5221

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* has a PINORDER with commas.

シンボル *[symbol\_name]* にカンマ付きの PINORDER があります。

原因 : これは問題ではない場合があります。カンマはピン順序ファイルか属性を持つバスピンの区切りにのみ使われることをユーザに指摘しているだけです。デフォルトの区切り文字はスペースです。

解決策 : 適切であれば、区切り文字をスペース文字に変えてください。

## vdraw-W-5222

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* -- character '\$' disallowed in label *[label]*.

シンボル *[symbol\_name]* -- "\$" 文字が、ラベル *[label]* 内で拒否されました。

原因 : ラベルのラベル名に予約文字が含まれています。

解決策 : ラベルに他の文字を使用してください。

## vdraw-W-5223

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* -- Character *[character]* disallowed in label *[label]*.

シンボル *[symbol\_name]* -- 文字 *[character]* が、ラベル *[label]* 内で拒否されました。

原因 : ラベルに文字 [,],=(,or) が含まれています。これらの文字は ViewSim では禁止されています。他のシミュレータでは使用可能な場合があります。

解決策 : ラベルに他の文字を使用してください。

## vdraw-W-5224

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]* has *[attr\_name]* attribute, but no *[attr\_name]* attribute.

シンボル *[symbol\_name]* に *[attr\_name]* 属性はありますが、*[attr\_name]* 属性がありません。

原因 : シンボルに DLYBIN 属性があって PLDMOD 属性がないか、JEDEC 属性があって PLDMOD 属性がないかのいずれかです。

解決策 : 適切な属性を追加してください。

## vdraw-W-5225

メッセージ : Component *[component\_name]* -- Symbol *[symbol\_name]* has *[attr\_name]* but *[attr\_name]* undefined.

コンポーネント *[component\_name]* -- シンボル *[symbol\_name]* に *[attr\_name]* がありますが *[attr\_name]* が定義されていません。

原因 : シンボルに PLDMOD 属性があつて DLYBIN 属性が未定義か、PLDMOD 属性があつて JEDEC 属性が未定義であるかのいずれかです。

解決策 : シンボルまたはコンポーネントに適切な属性を定義してください。

## vdraw-W-5226

メッセージ : Component *[component\_name]* has *[attr\_name]* attribute but symbol *[symbol\_name]* is missing *[attr\_name]*.

コンポーネント *[component\_name]* に *[attr\_name]* 属性はありますが、シンボル *[symbol\_name]* に *[attr\_name]* が入っていません。

原因 : コンポーネントに DLYBIN 属性があつてもそのシンボルに PLDMOD 属性がないか、コンポーネントに JEDEC 属性があつてもそのシンボルに PLDMOD 属性がないかのいずれかです。

解決策 : シンボルに適切な属性を定義してください。

## vdraw-E-5227

メッセージ : Net and/or Bus has 2 names -- *[name1]* and *[name2]*.

ネットとバスの両方、またはそのいずれかに 2 つの名前 *[name1]* と *[name2]* が付いています。

原因 : ネットラベルはバスラベルのサブセットではありません。

解決策 : ネットまたはバスの名前を変更してください。

## vdraw-E-5228

メッセージ : Net *[net\_name]* and net *[net\_name]* have different scopes.

ネット *[net\_name]* とネット *[net\_name]* が別々のスコープを持っています。

原因 : 同じネットの 2 つのラベルが異なるスコープを持っています。

解決策 : 適切なラベルのスコープを再設定してください。

## vdraw-E-5229

メッセージ : Invalid format in label *[label\_name]* at (X,Y).

(X,Y) 上のラベル *[label\_name]* のフォーマットが無効です。

原因 : 文字列が正しいフォーマットではありません。

解決策 : 文字列の構文を修正してください。文字列を展開しない場合、文字 [ and ] のオカレンスを削除してください。

## vdraw-E-5230

メッセージ : Invalid format in label *[label\_name]*.

ラベル *[label\_name]* のフォーマットが無効です。

原因 : 文字列が正しいフォーマットではありません。

解決策 : 文字列の構文を修正してください。文字列を展開しない場合、文字 [and ] のオカレンスを削除してください。

## vdraw-E-5231

メッセージ : Unnamed schematic pin at (X,Y).

(X,Y) の回路図ピンに名前が付いていません。

原因 : ラベルのないピンタイプのコンポーネントがあり、接続されているネットにもラベルがありません。

解決策 : シンボル上のピンに対応するように回路図ピンにラベルを付けてください。

## vdraw-E-5232

メッセージ : Bus segment *[name]* was not labeled.

バス線分 *[name]* にラベルが付いていません。

原因 : ラベルの付いていないバスが検出されました。

解決策 : バスにラベルを付けてください。

## vdraw-E-5233

メッセージ : Component at *[X,Y]* (Symbol *[symbol\_name]*) has *[number]* pins and *[number]* connections.

*[X,Y]* のコンポーネント ( シンボル *[symbol\_name]* ) に *[number]* のピンと *[number]* の接続があります。

- 原因 : データベースの不整合。
- 解決策 : 保存して再読み込みし、再チェックを行ってください。

## vdwaw-Z-5234

- メッセージ : Components at  $[X,Y]$  (Symbol  $[symbol\_name]$ ) has extra connection.
- $[X,Y]$  のコンポーネント ( シンボル  $[symbol\_name]$  ) に余分な接続があります。
- 原因 : データベースの不整合。
- 解決策 : 保存して再読み込みし、再チェックを行ってください。

## vdwaw-E-5237

- メッセージ : Schematic pin  $[pin\_name]$  at  $[X,Y]$  is in schematic but not in corresponding symbol.
- $[X,Y]$  上の回路図ピン  $[pin\_name]$  が回路図内にありますが、対応するシンボル内にありません。
- 原因 : 対応するシンボルのピンラベルと異なるラベル ( もしくはまだ付けられていない VDD や GND 、 NETNAME シンボル属性 ) を持つ回路図ピン  $[pin\_name]$  が見つかりました。
- 解決策 : 回路図ピンのラベルの名前を変更するか、シンボル上の付けられていない属性の名前を変更するか、対応するシンボルにピン ( ラベル ) を追加してください。

## vdwaw-W-5238

- メッセージ : The component at  $[X,Y]$  has the name  $[component\_name]$ , but also has the name  $[name]$  from the unattached attribute found on the symbol  $[name]$  (of type PIN). Assuming name  $[symbol\_name]$ .
- $[X,Y]$  上のコンポーネントが、名前  $[component\_name]$  と、(PIN タイプの) シンボル  $[name]$  上で見つかった未付随属性の名前  $[name]$  を持っています。名前は  $[symbol\_name]$  であると想定します。
- 原因 : 付けられていない NETNAME 属性または付けられていない属性の VDD か GND のいずれかがシンボル  $[symbol\_name]$  に表示されています。この属性は回路図ピンに付いているネットの名前を変更します。ネットにはシンボルの属性とは異なる名前が付きます。
- 解決策 : ネットの名前の変更を行うか、付けられていない NET\_NAME 属性を削除してください。

## vdraw-W-5239

メッセージ : The net named *[net\_name]* also has the name *[net\_name]* from the unattached attribute found on symbol *[symbol\_name]* (of type PIN). Assuming name *[net\_name]*.

*[net\_name]* の名前が付いたネットに、(PIN タイプの) シンボル *[symbol\_name]* で見つかった未付随の属性の名前 *[net\_name]* も付いています。名前は *[net\_name]* であると想定します。

原因 : 付けられていない NETNAME 属性または付けられていない属性の VDD か GND のいずれかがシンボル *[symbol\_name]* に表示されています。この属性は回路図ピンに付いているネットの名前を変更します。ネットにはシンボルの属性とは異なる名前が付きます。

解決策 : ネットの名前の変更を行うか、付けられていない NETNAME 属性を削除してください。

## vdraw-W-5240

メッセージ : The schematic *[schematic\_name]* and its corresponding symbol are being extracted from different directories.

回路図 *[schematic\_name]* と、それに対応するシンボルが、別々のディレクトリから抽出されています。

原因 : チェッカーは回路図と同じディレクトリ内で回路図の上位レベルシンボルを見つけられませんでした。これにより問題が発生する場合があります。

解決策 : 欠けているシンボルがないか確認してください。シンボルが欠けておらず、見つかったシンボルが正しいものと思われる場合はこのメッセージを無視してください。

## vdraw-E-5241

メッセージ : Symbol *[symbol\_name]*, pass-through pins *[pin\_name]* have conflicting attribute values.

シンボル *[symbol\_name]* と、パススルーピン *[pin\_name]* が、競合する属性値を持っています。

原因 : 挙げられた名前のパススルーピンに、異なる値の名前を持つ 2 つの属性があります。

解決策 : 値の競合はできません。同じ値を設定するか、誤った属性を削除して属性を修正してください。

## vdrow-W-5242

メッセージ : Output pin *[pin\_name]* shorted on component array *[component\_name]*.

アウトプットピン *[pin\_name]* がコンポーネントアレイ *[component\_name]* にてショートしています。

原因 : PINTYPE=OUT 属性のアウトプットピンが \$ARRAY 属性を持つコンポーネント上でショートされました。

解決策 : 意図的に行っているのではない場合、\$ARRAY 属性を削除するかコンポーネントに接続されているネットを確認してください。

## vdrow-W-5243

メッセージ : Label *[label\_name]* applied to first instance of component array *[component\_name]* only.

ラベル *[label\_name]* は、コンポーネントアレイ *[component\_name]* の最初のインスタンスにのみ適用されます。

原因 : \$ARRAY 属性により配列 (アレイ) されたコンポーネントにラベルが付けられました。ラベルが名前として適用されるのはアレイのコンポーネントの最初のインスタンスのみです。アレイの各コンポーネントにそれぞれラベルを付けることはできません。

解決策 : コンポーネントのラベルを削除するか、個々のコンポーネントインスタンスを使用してください。

## vdrow-W-5244

メッセージ : Attribute *[attribute\_name]* applied to first instance of the component array *[component\_name]* only.

属性 *[attribute\_name]* は、コンポーネントアレイ *[component\_name]* の最初のインスタンスにのみ適用されます。

原因 : 挙げられた名前の属性が配列 (アレイ) されたコンポーネントに割当てられました。この属性はアレイの最初のインスタンスのみに付けることができます。

解決策 : この処理が受け入れることができない場合、属性を削除するか個々のコンポーネントインスタンスを使用してください。

## vdrow-W-5245

メッセージ : Two components at *[X,Y]* and *[X,Y]* are named *[component\_name]*.

*[X,Y]* と *[X,Y]* の 2 つのコンポーネントの名前が *[component\_name]* になっています。

- 原因： 異なる 2 つのコンポーネントに同じラベルが付いています。
- 解決策： シミュレータで固有のコンポーネント名が必要な場合、再度コンポーネントにラベルを付けしてください。

## vdraw-W-5246

メッセージ： Component *[component\_name]*, Symbol = *[symbol\_name]* at *[X,Y]* is not connected.

*[X,Y]* にある、コンポーネント *[component\_name]*、シンボル *[symbol\_name]* は接続されていません。

- 原因： そのコンポーネントにはネットが付いていません。
- 解決策： コンポーネントにネットを付けるか、未使用のコンポーネントを削除してください。

## vdraw-W-5247

メッセージ： Component *[component\_name]* (REFDES), Symbol=*[symbol\_name]* at *[X,Y]* is not connected.

*[X,Y]* にある、コンポーネント *[component\_name]*(REFDES)、シンボル *[symbol\_name]* は接続されていません。

- 原因： その参照番号のコンポーネント *[component\_name]* にネットが付いていません。
- 解決策： コンポーネントにネットを付けるか、未使用のコンポーネントを削除してください。

## vdraw-W-5248

メッセージ： Pin *[pin\_name]* does not appear in *[SchematicName.sheetNumber]*.

ピン *[pin\_name]* が、*[SchematicName.sheetNumber]* に表示されません

- 原因： 対応するシンボルにピンはありますが、回路図シート上には見つかりません。
- 解決策： シンボル上のピン (ラベル) を削除するか、回路図上に対応するネットまたは回路図ピンを入力してください。

## vdraw-E-5249

メッセージ： Unlabeled net *[net\_name]* for this pin is connected to bus *[bus\_name]*. That is, assuming the net name *[net\_name]* can be determined.



このピンでは、ラベルのないネット *[net\_name]* がバス *[bus\_name]* に接続されています。つまり、仮定のネット名 *[net\_name]* を確定してください。

原因： ラベルのないネットにバスピンを接続しています。

解決策： ネットにラベルを付けてください。

## vdraw-W-5250

メッセージ： Character “\$” disallowed in label *[label\_name]*.

文字 “\$” がラベル *[label\_name]* 内で拒否されました。

原因： ラベルに使用できない文字 “\$” があります。

解決策： 該当のラベルから文字 “\$” を削除してください。

## vdraw-I-5254

メッセージ： *[Schname]* is in READ-ONLY directory and cannot be checked.

*[Schname]* が READ-ONLY ディレクトリ内にあり、チェックできません。

原因： *[Schname]* があるディレクトリ / ライブラリは、viewdraw.ini ファイルで読み取り専用と指定されています。

解決策： 設定を書き込み可に変更して、回路図を再度チェックしてください

## vdraw-E-5256

メッセージ： Trying to rip bit *[value of BIT=attribute]* from label *[bus label]*.

ビット *[value of BIT=attribute]* を、ラベル *[bus label]* から派生しようとした。

原因： 不正確なネットインデックス、ネット名、またはバス名を指定しました。

解決策： ネットインデックスまたはバス名を再度指定します。ネットインデックスがバスの範囲内であることを確認してください。また、ネット名が派生されるバスの一部であることも確認してください。

## vdraw-E-5257

メッセージ： Whichripped attribute specifies nonexistent pin *[value of WHICHRIPPED attribute on bus ripper symbol]*.

Whichripped 属性が、存在していないピン *[value of WHICHRIPPED attribute on bus ripper symbol]* を指定しています。

- 原因 : バスリッパースymbolをバスに接続するために指定したピンが正しくありません。
- 解決策 : 値をバスリッパースymbolの既存ピンラベルにしてください。

## vdraw-E-5258

メッセージ : Missing unattached WHICHRIPPER attribute on symbol *[bus ripper symbol name]*.

Symbol *[bus ripper symbol name]* のまだ付けられていない WHICHRIPPER 属性が欠けています。

- 原因 : バスリッパースymbolには、(ビットがそこからつながる)バスが接続されるピンとして指定されたピンが必要です。
- 解決策 : 付けられていない WHICHRIPPED 属性を追加することにより、リッパースymbolの供給ピンを指定して、その属性値をピンのラベルと同じにしてください。

## vdraw-E-5259

メッセージ : Missing or incorrect BIT attribute on symbol *[bus ripper symbol name]* pin *[label]* at *[X,Y]*.

*[x,y]* 上のSymbol *[bus ripper symbol name]* ピン *[label]* の BIT 属性が欠けているか不正です。

- 原因 : Symbolピンに BIT 属性が存在していないか、BIT 属性の値が無効です。
- 解決策 : 指定のピンに BIT 属性を設定し、またSymbolとコンポーネントの両方で有効な属性値を設定するようにしてください。

## vdraw-E-5260

メッセージ : Net *[net\_name]* and alias net *[net\_name]* have different widths.

ネット *[net\_name]* とエイリアスネット *[net\_name]* の幅が異なります

- 原因 : ネット名に含まれている信号数がエイリアス名に含まれている信号の数と一致しません。
- 解決策 : ネット / バスのラベルを BIT 属性値の幅に一致するように変更するか、BIT 属性値をネット / バスのラベルに一致するように変更してください。

## vdraw-E-5261

メッセージ : Trying to short symbol pins *[label]* and *[label]*.

シンボルピン *[label]* と *[label]* をショートしようとしています。

原因：        コンポジットシンボルの基になる回路図に、シンボルの I/O ピンのエイリアス化に使用されるバスリッパーがあります。

解決策：        このようなバスリッパーの使用は許可されていません。

## vdw-E-5262

メッセージ： Multiwidth BIT = attached to net at *[X,Y]*.

*[X,Y]* のネットに、Multiwidth BIT = が付けられました。

原因：        ネットに付けられたピンの BIT 属性の値は複数の信号があることを意味しています。

解決策：        BIT 属性値の幅を 1 に変更するか、ネットをバスに置き換えてください。

## vdw-E-5263

メッセージ： Net *[primary net name]* is unlabeled and connected to a bus ripper.

ネット *[primary net name]* にラベルがないままバスリッパーに接続しています。

原因：        ラベルのないネットにバスピンを接続しています。

解決策：        ネットにラベルを付けてください。

## vdw-W-5264

メッセージ： User attribute NET\_ALIAS=*[value]* on net *[net\_name]* not supported for aliasing.

ネット *[net\_name]* のユーザ属性 NET\_ALIAS=*[value]* が、エイリアス化に対応されていません。

原因：        回路図上のネットに NET\_ALIAS 属性が見つかりました。NET\_ALIAS 属性はバスリッパーを使用してネットのエイリアスを確定するのに使われます。NET\_ALIAS 属性を使用するネットのエイリアス化は許可されていません。

解決策：        NET\_ALIAS 属性を回路図ネットから削除してください。

## vdw-E-5265

メッセージ： Pass-through pin *[pinname]* on component *[component name]* attached to the nets *[netname1]* and *[netname2]*.

コンポーネント *[component name]* のパススルーピン *[pinname]* が、ネット *[netname1]* と *[netname2]* に付けられています。

原因：パススルーピンが異なる名前の別々のネットに接続されています。

解決策：ネットの名前が同じになるよう変更してください。

## vddraw-E-5268

メッセージ：Missing BIT attribute on pin %s of ripper symbol

リッパースymbol上のピン %s に対して、BIT 属性が見つかりません。

原因：おそらく属性はどこにも付けられないまま配置されているか、完全に欠けています。

解決策：リッパーには、入ってくるバスのどのビットをリッパーから "ripped out" するかを指示する bit= 属性が必要です。たとえば、a[0:10] 上の bit = 2 は、ピンは (名前が付けられている場合) 付随するネットのいずれの名前にも a2 をエイリアス化されることを意味します。その他の場合、付けられたネットは a2 と命名されます。このエラーは、リッパーにこの属性が必要であり、実際は持っていないことを意味します。

## vddraw-E-5269

メッセージ：\$ARRAY attribute not allowed on FUB <FUB name> at x,y.

[x,y] 上の FUB<FUB name> で、\$ARRAY 属性が許可されませんでした。

原因：FUB をコピーしたか複数のオブジェクトとして表しています。

解決策：\$ARRAY 属性を指定する前に SYMTYPE=FUB 属性を削除してください。

## vddraw-W-5270

メッセージ：Symbol <symbol name> has changed since component <UID> was instantiated.

コンポーネント <UID> がインスタンス化されたため、シンボル <symbol name> が変更されました。

原因：シンボルに変更が加えられましたが、対応するコンポーネントがその変更を反映するように更新されていません。

解決策：コンポーネントの更新を行ってください。詳細についてはこちらをクリックしてください。

## vdraw-W-5271

メッセージ : Label on annotate component will not label the attached net.

アノテートされたコンポーネントにラベルを付けても、付与されたネットにはラベルは付けられません。

原因 : アノテートされたコンポーネントには電氣的接続は表示されません

解決策 : 接続されたネットにラベルを移動またはコピーします。

## vdraw-E-5272

メッセージ : Symbol <symbol name> Pin <pin name> - Nicknames not supported for pin labels.

シンボル <symbol name> ピン <pin name> - ピンラベルでは、ニックネームはサポートされていません。

原因 : シンボルピンにニックネームを適用しました。

解決策 : シンボルピンからニックネームを削除してください。

## メッセージ 6000 から 6999

### vdraw-E-6000

メッセージ : Internal Error in function [function\_name].

ファンクション [function\_name] の内部エラーです。

原因 : 重大な内部エラーです。

解決策 : カスタマーサポートにご連絡ください。

### vdraw-E-6001

メッセージ : Error loading [block].

[block] のロード時にエラーが発生しました。

原因 : 必要とされる名前が付いていないか、名前のテキスト文字列に不正な文字が含まれていたため、ブロックを開けませんでした。

解決策 : ブロックに正しい名前を付けてください。

### vdraw-E-6003

メッセージ : Illegal visibility value for a label.

ラベルの可視性の値が不正です。

原因： ラベルは表示 / 非表示のどちらかの値しか持つことができません。  
名前のみ表示や値のみ表示に指定することはできません。

解決策： ラベルの Vis プロパティの値を表示か非表示に変更してください

## vdraw-E-6004

メッセージ： Symbol was not found.

シンボルが見つかりません。

原因： viewdraw.ini ファイルで指定したライブラリにシンボルがありません

解決策： viewdraw.ini ファイルに適切なライブラリを追加してください。

## vdraw-E-6005

メッセージ： Unable to place component at [x,y].

コンポーネントを [X,Y] に配置できません。

原因： 有効な範囲外の座標が指定されたか、別のコンポーネントの上に  
コンポーネントを配置しようとしています。

解決策： コンポーネントの座標を変更してください。

## vdraw-E-6007

メッセージ： Coordinates are out of range.

座標が範囲外です。

原因： 有効な範囲外の座標を指定しました。

解決策： 座標を変更してください。

## vdraw-E-6008

メッセージ： Unable to add component to a symbol block.

コンポーネントをシンボルブロックに追加できません。

原因： シンボルにはコンポーネントを含むことはできません。

解決策： シンボルにコンポーネントを追加しないでください。

## vdraw-E-6009

メッセージ： Unable to change text string.

テキスト文字列の変更ができません。

原因： 不正な文字を使用しているか、アルファベットと日本語の文字列が混在しています。

解決策： 不正な文字がないかテキスト文字列を確認してください。

## vdraw-E-6010

メッセージ： Illegal object transformation.

不正なオブジェクトの変換です。

原因： メモリが足りないか、変換できないオブジェクトです。

解決策： 変換可能なオブジェクトであるか確認してください。

## vdraw-E-6011

メッセージ： Unable to move object to X=, Y=.

オブジェクトを X=,Y= に移動できません。

原因： 有効な範囲外の座標を指定しました。

解決策： オブジェクトの座標を変更してください。

## vdraw-E-6012

メッセージ： Unable to create arc.

円弧を作成できません。

原因： メモリが足りません。

解決策： システムメモリをチェックしてください。

## vdraw-E-6013

メッセージ： Unable to create text.

テキストを作成できません。

原因： メモリが足りません。

解決策： システムメモリをチェックしてください。

## vdraw-E-6014

メッセージ： Unable to add [name] attribute.

[name] 属性を追加できません。

原因： メモリが足りません。



解決策： システムメモリをチェックしてください。

### vdraw-E-6015

メッセージ： Unable to create pin.

ピンを作成できません。

原因： メモリが足りません。

解決策： システムメモリをチェックしてください。

### vdraw-E-6016

メッセージ： Illegal to add pin to schematic.

回路図へのピンの追加は不正です。

原因： 回路図にピンは追加できません。

解決策： シンボルにピンを追加してから、そのシンボルを回路図に追加してください。

### vdraw-E-6017

メッセージ： Unable to create label.

ラベルを作成できません。

原因： メモリが足りません。

解決策： システムメモリをチェックしてください。

### vdraw-E-6018

メッセージ： Error creating *[string]*.

*[string]* 作成エラー。

原因： メモリが足りません。

解決策： システムメモリをチェックしてください。

### vdraw-E-6021

メッセージ： Unable to create reference designator REFDEF=*[string]*.

参照番号 REFDEF=*[string]* を作成できません。

原因： オブジェクトに参照番号がありません。

解決策 : ObjAddAttr を使用して、コンポーネントに参照番号を属性として追加してください。

## vdraw-E-6024

メッセージ : Illegal point value, expecting an integer.  
ポイント値が不正です。整数が想定されています。

原因 : リストにある数値が整数ではありません。

解決策 : 数値を整数に変更してください。

## vdraw-E-6025

メッセージ : Illegal line must have at least two points.  
少なくとも 2 つのポイントを入れてください。

原因 : 1 点のみから成る線を作成しようとしています。線には最低 2 点が必要です。

解決策 : 線に 2 つの点を指定してください。

## vdraw-E-6026

メッセージ : Unable to create a line.  
線を作成できません。

原因 : メモリが足りません。

解決策 : システムメモリをチェックしてください。

## vdraw-E-6029

メッセージ : Unable to start a net at x=[coordinate], y=[coordinate].  
ネットを、x=[coordinate]、y=[coordinate] で開始できません。

原因 : ネットはコンポーネントピン上、または回路図上の座標にしか配置できません。ネットを別のコンポーネントか不正な座標に配置しようとしています。

解決策 : 適正な場所にネットを再配置してください。

## vdraw-E-6030

メッセージ : Unable to add net joint at x=[coordinate], y=[coordinate].

ネットジョイントを、 $x=[coordinate]$ 、 $y=[coordinate]$  に追加できません。

原因： ネットジョイントは回路図上の有効な座標にしか配置できません。不正な座標にネットジョイントを配置しようとしています。

解決策： ネットを有効な位置に再配置してください。

### vdraw-E-6031

メッセージ： Unable to finish net at  $x=[coordinate]$ ,  $y=[coordinate]$ .

ネットを、 $x=[coordinate]$ 、 $y=[coordinate]$  で終了できません。

原因： ネットはコンポーネントピン上または回路図上の座標にしか配置できません。既にネットに接続されたピンか不正な座標にネットを配置しようとしています。

解決策： ネットを有効な位置に再配置してください。

### vdraw-E-6032

メッセージ： Both component pins are already connected.

コンポーネントピンの両方が、既に接続されています。

原因： 1本のコンポーネントピンには1つのネットしか配置できません。ネットが既に接続されているピンにネットを配置しようとしています。

解決策： ネットを他のピンに接続するか既存のネットに接続してください。

### vdraw-E-6033

メッセージ： Illegal bus string  $[string]$ .

バス文字列  $[string]$  が不正です。

原因： 不正なバス表記を指定しようとしています。

解決策： バス表記に不正な文字や構文を使用していないことを確認してください。

### vdraw-E-6034

メッセージ： Unable to create net attribute.

ネット属性を作成できません。

原因： メモリが足りません。

解決策 : システムメモリをチェックしてください。

## vdraw-E-6035

メッセージ : Net already labeled.

既にネットにラベルが付いています。

原因 : ネットには 1 つのラベルしか指定できません。

解決策 : 既存のラベルを削除するか、ネットに他のラベルを追加しないでください。

## vdraw-E-6037

メッセージ : No pinnumber found on component pin.

コンポーネントピンにピン番号が見つかりません。

原因 : ピン番号属性 (#=) がないピンに、ピン番号を設定しようとしています。

解決策 : ObjAddAttr を使ってピンにピン番号を追加してください。

## vdraw-E-6038

メッセージ : Unable to obtain class for object string.

オブジェクト文字列のクラスを得ることができません。

原因 : vp520.bdb ファイルが不正です。

解決策 : WDIR をチェックしてください。

## vdraw-E-6039

メッセージ : Unable to make reference to for object *[string]*.

オブジェクト *[string]* への参照を作成できません。

原因 : vp520j.bdb ファイルが不正です。

解決策 : WDIR をチェックしてください。

## vdraw-E-6040

メッセージ : *[string]* object with class *[string]* library: *[string]*,*[string]*,*[string]* does not exist.

クラス *[string]* ライブラリのオブジェクト *[string]* : *[string]*, *[string]*, *[string]* が存在していません。

原因 : DataObjGetPath を使用して存在しないオブジェクトのパスを取得しようとしています。

解決策 : パラメータ値をチェックしてください。

### vdraw-E-6041

メッセージ : Diagonal pins are not supported.  
斜めピンはサポートされていません。

原因 : 斜めピンを作成するピン座標を設定しようとしています。

解決策 : 直交座標に変更してください。

### vdraw-E-6042

メッセージ : Data object is not a megafile.  
データオブジェクトがメガファイルではありません。

原因 : メガファイルではないオブジェクトを開こうとしています。

解決策 : ファイルを表示するにはテキストエディタを使用してください。

### vdraw-E-6043

メッセージ : ViewProject Error: *[string]*  
ViewProject エラーです : *[string]*

原因 : 読み取り許可のないファイルを開こうとしています。

解決策 : アクセス許可を確認してください。

### vdraw-E-6047

メッセージ : Unable to push into component.  
コンポーネントにプッシュできません。

原因 : メモリが足りないか、コンポーネントが viewdraw.ini ファイルで参照されているライブラリに存在しません。

解決策 : viewdraw.ini ファイルをチェックしてください。

### vdraw-E-6049

メッセージ : Unable to pop block.  
ブロックを上位層へ移動できません。

原因：           メモリが足りません。  
解決策：       システムメモリをチェックしてください。

## vdraw-E-6050

メッセージ： Illegal sheet size value z-size.

シートサイズ値が不正で、Z サイズになっています。

原因：           BlockSetSheetSize を使用して Z サイズのシート寸法を設定しようとしています。

解決策：       ユーザー指定のシートサイズ設定には BlockSetSheetSizeZ を使用してください。





## Chapter 2

# 回路図チェッカーのエラーメッセージ

---

この章では、回路図チェッカーのエラーメッセージを以下のセクションに分けて説明します。

- [記述的メッセージ](#)
- [メッセージ 5200-5210](#)
- [メッセージ 5211-5220](#)
- [メッセージ 5221-5230](#)
- [メッセージ 5231-5240](#)
- [メッセージ 5241-5250](#)
- [メッセージ 5251-5260](#)
- [メッセージ 5261-5299](#)

エラーメッセージには以下の重大度識別子のいずれかがつきます。

- [I] 情報 (Basic タブで Verbose Processing オプションが有効になっている場合のみ表示)
- [W] 警告 (常に表示)
- [E] エラー (常に表示)

## 記述的メッセージ

以下の記述的 (テキストのみの) エラーメッセージは、回路図チェッカーの処理において生成されます。

### 回路図シートをロードできません -[sch]

- 原因：            回路図が存在していないか、検索順序外にあります。
- 解決策：        回路図が存在し、そのディレクトリが検索順序内にあることを確認してください。

### ライブラリ :[lib] 書き込み可能なディレクトリがありません。

- 原因：           ライブラリ内のディレクトリは読み取り専用設定されています。
- 解決策：       ディレクトリのプロパティを書き込み可に変更してください。

### ライブラリ :[lib] 存在しません。

- 原因：           ライブラリが存在していないか、検索順序外にあります。
- 解決策：       ライブラリが存在し、そのディレクトリが検索順序内にあることを確認してください。

### 回路図 :[sch] 読み取り専用ディレクトリからのみです。

- 原因：           回路図を含むディレクトリが読み取り専用設定されています。
- 解決策：       ディレクトリのプロパティを書き込み可に変更してください。

### 回路図 :[sch] ロックされています。

- 原因：           回路図に対してアクティブなロックファイルがあります。
- 解決策：       回路図への変更を保存するか、ロックファイルを削除してください。

### 回路図 :[sch] 読み取り専用です。

- 原因：           回路図ファイルが読み取り専用設定されています。
- 解決策：       ファイルのプロパティを書き込み可に変更してください。

### 回路図がチェックされていません。

- 原因：           上記のエラーのいずれかによりチェックが行えませんでした。
- 解決策：       上記のエラーを解決してから、再度実行してください。

## メッセージ 5200-5210

エラーメッセージ 5200-5210 については、以下をご覧ください。

### 5201 [I]

メッセージ : Checking Block sch, Sheet n ..." \*/  
ブロック sch、シート n をチェック中です…  
原因 : 情報表示のみ  
解決策 : なし

### 5202 [I]

メッセージ : Checking ...  
チェック中です…  
原因 : 情報表示のみ  
解決策 : なし

### 5203 [I]

メッセージ : Check complete.  
チェック完了  
原因 : 完了情報  
解決策 : なし

### 5204 [I]

メッセージ : n errors and n warnings on schematic sch.  
回路図 sch にエラーが n 個と警告が n 個あります。  
原因 : 概要情報  
解決策 : なし

### 5205 [I]

メッセージ : Wirelist created using version 4.09.  
バージョン 4.09 を使用してワイヤリストを作成しました。  
原因 : 情報表示のみ

解決策： なし

## 5206 [E]

メッセージ： Incorrectly specified \$ARRAY attribute on component [compname].

コンポーネント [compname] の \$ARRAY 属性が、不正に指定されました。

原因： \$ARRAY 属性に不正な VALUE フィールドが含まれています。

解決策： 指定された属性を修正してください。

## 5207 [W]

メッセージ： Two attributes with same name [attrname] on pass-thru pins [pinname] on component [compname].

コンポーネント [compname] 上のパススルーピン [pinname] 上の属性 2 つが同じ名前 [attrname] になっています。

原因： パススルーピン上の属性が不適切か、いずれかのピンの属性が重複しています。

解決策： 実際のピンにのみ属性を指定してください。パススルーピンにはラベル以外は付けられません。

## 5208 [I]

メッセージ： Wirelist for sch cancelled.

sch 用のワイヤリストがキャンセルされました。

原因： キャンセル情報

解決策： チェックによりリストアップされたエラーメッセージを修正してから再実行を行ってください。

## 5209 [E]

メッセージ： Label [?] disallowed.

ラベル [?] は許可されていません。

原因： 文字 '?' はラベルには使用できません。

解決策： ラベルを更新してください。

## 5210 [E]

メッセージ : \$ARRAY attribute not allowed on schematic pin pinname at (xcoord, ycoord).

(x 座標、y 座標) 上の回路図ピン [pinname] では \$ARRAY 属性は許可されていません。

原因 : 指定された x/y 座標のピンの \$ARRAY 属性の使用が正しくありません。

解決策 : 指定されたピンの \$ARRAY 属性を削除してください。

## メッセージ 5211-5220

エラーメッセージ 5211-5220 については、以下をご覧ください。

### 5211 [E]

メッセージ : \$ARRAY attribute not allowed on ripper compname at (xcoord, ycoord).

(x 座標、y 座標) 上のリッパー compname では \$ARRAY 属性は許可されていません。

原因 : 指定された x-y 座標のリッパーの \$ARRAY 属性の使用が正しくありません。

解決策 : 指定されたリッパーの \$ARRAY 属性を削除してください。

### 5212 [E]

メッセージ : Symbol symbolname (of type PIN) has no pins.

(PIN タイプの) シンボル symbolname にピンがありません。

原因 : 不正に作成されたピンタイプのシンボルです。

解決策 : シンボルにピンを 1 本追加するか、ブロックタイプを PIN から正しいタイプへ変更してください。

### 5213 [E]

メッセージ : Symbol symbolname (of type PIN) has 1 pin.

(PIN タイプの) シンボル symbolname にピンが 1 つあります。

原因 : 不正に作成されたピンタイプのシンボルです。

解決策 : シンボルからピンを 1 本だけ残してすべて削除するか、ブロックタイプを PIN から正しいタイプへ変更してください。

## 5214 [E]

メッセージ : Symbol symbolname has an unnamed pin at (xcoord,ycoord).Naming it \$?.  
シンボル symbolname に名前のないピンが (x 座標、y 座標) にあります。\$ と名づけますか？

原因 : 指定されたピンのシンボルにラベルがありません。

解決策 : シンボルピンにラベルを追加してください。

## 5215 [E]

メッセージ : Symbol symbolname is expected to have pin pinname according to its pin order file symbolname.PIN.

その symbolname.PIN ピン順序ファイルによるとシンボル symbolname に、ピン pinname があることが想定されています。

原因 : シンボル上に存在しない symbolname.PIN ファイルでピンラベルが指定されています。

解決策 : シンボルまたは symbolname.PIN ファイルを修正して一致させてください。

## 5216 [E]

メッセージ : Symbol symbolname is expected to have pin pinname according to its PINORDER attribute.

その PINORDER 属性によるとシンボル symbolname に、ピン pinname があることが想定されています。

原因 : シンボル上に存在しない PINORDER 属性でピンラベルが指定されています。

解決策 : シンボルまたは PINORDER 属性を修正して一致させてください。

## 5217 [E]

メッセージ : Symbol symbolname has a pin pinname that is not defined in its pin order file symbolname.PIN.

シンボル symbolname に symbolname.PIN ピン順序ファイルに定義されていないピン pinname があります。

- 原因 : symbolname.PIN ファイルに存在しないシンボル上でピンラベルが指定されています。
- 解決策 : シンボルまたは symbolname.PIN ファイルを修正して一致させてください。

## 5218 [E]

- メッセージ : Symbol symbolname has a pin pinname that is not defined in its PINORDER attribute.
- シンボル symbolname に、PINORDER 属性に定義されていないピン pinname があります。
- 原因 : PINORDER 属性に存在しないシンボル上でピンラベルが指定されています。
- 解決策 : シンボルまたは PINORDER 属性を修正して一致させてください。

## 5219 [E]

- メッセージ : Symbol symbolname has pin pinname which is contained in pin busname.
- シンボル symbolname にピン busname に含まれるピン pinname があります。
- 原因 : 指定されたピン名は、指定されたバス名の一部として既に存在します。
- 解決策 : 競合しているピンを削除するか、名前を変更してください。

## 5220 [E]

- メッセージ : Symbol symbolname not found or empty.
- シンボル symbolname が見つかりません。あるいは空です。
- 原因 : 指定されたシンボルまたはライブラリは検索順序内にありません。
- 解決策 : 検索順序を修正するか、既存の検索順序のシンボルを置き換えてください。

## メッセージ 5221-5230

エラーメッセージ 5221-5230 については、以下をご覧ください。

## 5221 [W]

- メッセージ : Symbol symbolname has a PINORDER with commas.

- シンボル symbolname にカンマ付きの PINORDER があります。
- 原因 : PINORDER 属性ではカンマは使用できません。
- 解決策 : 区切り文字にはスペースを使用して PINORDER 属性を修正してください。

## 5222 [W]

- メッセージ : Symbol symbolname - Character '\$' disallowed in label labelname.
- シンボル symbolname - ラベル labelname では文字 '\$' は許可されていません。
- 原因 : 文字 '\$' はラベルには使用できません。
- 解決策 : ラベルを更新してください。

---

### Note



(NETNAME HIER\_NAMES\_ALLOWED が設定されている場合、この警告は無効になります。)

---

## 5223 [W]

- メッセージ : Symbol symbolname - Character badchar disallowed in label labelname.
- シンボル symbolname - ラベル labelname では文字 badchar は許可されていません。
- 原因 : 指定された文字はラベルでは使用できません。
- 解決策 : ラベル内の不正な文字を削除するか、他の文字と置き換えてください。

## 5224 [W]

- メッセージ : Symbol symbolname has DLYBIN/JEDEC attribute but no PLDMOD attribute.
- シンボル symbolname に DLYBIN?JEDEC 属性がありますが PLDMOD 属性がありません。
- 原因 : DLYBIN および JEDEC 属性には PLDMOD 属性が必要です。
- 解決策 : PLDMOD 属性を追加してください。

## 5225 [W]

- メッセージ : Component compname - Symbol symbolname has PLDMOD attribute but DLYBIN/JEDEC undefined.



- コンポーネント compname - シンボル symbolname に PLDMOD 属性がありますが DLYBIN/JEDEC が定義されていません。
- 原因 : PLDMOD 属性には DLYBIN または JEDEC 属性のいずれかが必要です。
- 解決策 : DLYBIN 属性または JEDEC 属性を追加してください。

## 5226 [W]

- メッセージ : Component compname has DLYBIN or JEDEC attribute but symbol symbolname is missing PLDMOD.
- コンポーネント compname に DLYBIN や JEDEC 属性がありますがシンボル symbolname に PLDMOD が足りません。
- 原因 : DLYBIN または JEDEC 属性が非 PLD コンポーネント上で不正に使用されています。
- 解決策 : DLYBIN または JEDEC 属性をコンポーネントから削除してください

## 5227 [E]

- メッセージ : Net and/or Bus has 2 names -- name1 and name2.
- ネットおよび / もしくはバスに名前が 2 つ付いています - name1 と name2 です。
- 原因 : ネットにラベルが 2 つあるか、バスに正しくラベルがついていません。
- 解決策 : 過剰なネットラベルを削除するか、バスラベルを修正してください

## 5228 [E]

- メッセージ : Net netname1 and net netname2 have different scopes.
- ネット netname1 とネット netname2 はそれぞれ別のスコープを持っています。
- 原因 : エイリアス化された 2 つのネットのスコープが異なります。
- 解決策 : 両方のネットを LOCAL スコープもしくは GLOBAL スコープに設定してください。

## 5229 [E]

- メッセージ : Invalid format in label 'busname' at (xcoord,ycoord).
- (x 座標、y 座標) でラベル 'busname' に無効なフォーマットがあります。

原因 : バスのラベルの幅が 0 になっています。

解決策 : バスのラベルを修正してください。

## 5230 [E]

メッセージ : Invalid format in label 'busname'.

ラベル 'busname' に無効なフォーマットがあります。

原因 : バス幅が、バスの付いているピンの幅と異なります。

解決策 : バスのラベルもしくはピンのラベルを修正して、幅が一致するようにしてください。

## メッセージ 5231-5240

エラーメッセージ 5231-5240 については、以下をご覧ください。

## 5231 [E]

メッセージ : Unnamed schematic pin at (xcoord,ycoord).

(x 座標、y 座標) で名づけられていない回路図ピンがあります。

原因 : 指定された回路図ピンにはラベルが付いていません。

解決策 : ピンにラベルを追加してください。

## 5232 [E]

メッセージ : Bus segment busname was not labeled.

バスセグメント busname にラベルが付いていません。

原因 : バスのラベルが見つかりません。

解決策 : バスにラベルを追加してください。

## 5233 [E]

メッセージ : Component at (xcoord,ycoord) (Symbol symbolname) has n pins and m connections.

(x 座標、y 座標) のコンポーネントの (シンボル symbolname) にピンが n 個、接続が m 個あります。

原因 : 接続の数がシンボル上のピンの数を超過しています。シンボルからピンが削除されたことが原因と考えられます。

解決策 : シンボルを修正するか、回路図内のコンポーネントを新たなコピーと置き換えてください。

## 5234 [E]

メッセージ : Component at (xcoord,ycoord) (Symbol symbolname) has extra connection.  
(x 座標、y 座標) のコンポーネントの (シンボル symbolname) に余分な接続があります。

原因 : コンポーネント上でシンボルピンが見つかりませんでした。

解決策 : シンボルを修正するか、回路図内のコンポーネントを新たなコピーと置き換えてください。

## 5237 [E]

メッセージ : Schematic pin pinname at (xcoord,ycoord) is in schematic but not in corresponding symbol.

(x 座標、y 座標) の回路図ピン pinname は回路図にありますが対応するシンボルにはありません。

原因 : (PIN タイプの) シンボル上で回路図ピンが見つかりませんでした。

解決策 : シンボルを修正するか、回路図内のコンポーネントを新たなコピーと置き換えてください。

## 5238 [W]

メッセージ : The component at (xcoord,ycoord) has the name compname1, but also has the name compname2 from the unattached attribute found on symbol symbolname (of type PIN). Assuming name compname2.

(x 座標、y 座標) のコンポーネントに名前 compname1 が付いていますが、(PIN タイプの) シンボル symbolname にある未付与の属性からくる compname2 という名前も更に付いています。名前は compname2 であると想定します。

原因 : コンポーネントのラベルがピンタイプシンボルの NETNAME 属性と競合しています。

解決策 : コンポーネントのラベルを削除するか、NETNAME 属性と一致するよう修正してください。

## 5239 [W]

メッセージ : The net named netname1 also has the name netname2 from the unattached attribute found on symbol symbolname (of type PIN). Assuming name netname2.

netname1 というネットに、(PIN タイプの) シンボル symbolname にある未付与の属性からくる名前 netname2 が更に付いています。名前は netname2 であると想定します。

原因 : ネットに付いているピンタイプシンボルの NETNAME 属性にあります。

解決策 : ネットのラベルを削除するか、NETNAME 属性と一致するよう修正してください。

## 5240 [W]

メッセージ : The schematic schematicname and its corresponding symbol are being extracted from different directories.

回路図 schematicname と、それに対応するシンボルが、別々のディレクトリから抽出されています。

原因 : 回路図と同じ名前のシンボルが検索順序内の別のディレクトリに存在します。

解決策 : シンボルと回路図を同じディレクトリに移動するか、警告を無視してください。

## メッセージ 5241-5250

エラーメッセージ 5241-5250 については、以下をご覧ください。

### 5241 [E]

メッセージ : Symbol symbolname, pass-through pins pinname have conflicting attribute values.

シンボル symbolname と、パススルーピン pinname が、競合する属性値を持っています。

原因 : パススルーピン上にあります。

解決策 : 実際のピンにのみ属性を指定してください。パススルーピンにはラベル以外は付ません。

## 5242 [W]

メッセージ : Output pin pinname shorted on component array arrayname.

アウトプットピン pinname がコンポーネントアレイ arrayname 上でショートされています。

原因 : コンポーネントアレイの 2 本以上のアウトプットピンが一緒にショートされています。

解決策 : コンポーネントアレイの接続性を修正してください。

## 5243 [W]

メッセージ : Label labelname applied to first instance of component array arrayname only.

ラベル labelname はコンポーネントアレイ arrayname の最初のインスタンスにのみ適用されています。

原因 : コンポーネントアレイの最初のインスタンスにのみラベルが付けられます。

解決策 : 複数のラベルを付けたい場合、コンポーネントアレイではなく個々のコンポーネントを使用してください。

## 5244 [W]

メッセージ : Attribute attrname applied to first instance of component array arrayname only.

属性 attrname はコンポーネントアレイ arrayname の最初のインスタンスにのみ適用されています。

原因 : コンポーネントアレイの最初のインスタンスにのみ属性を設定できます。

解決策 : 複数の属性を設定したい場合、コンポーネントアレイではなく個々のコンポーネントを使用してください。

## 5245 [W]

メッセージ : Two components at (xcoord1,ycoord1) and (xcoord2,ycoord2) are named compname.

(x 座標 1 、 y 座標 1) と (x 座標 2 、 y 座標 2) の 2 つのコンポーネントに compname という名前が付いています。

原因 : 同じラベルを持つコンポーネントが 2 つあります。

解決策 : 固有のラベルとなるように修正してください。

## 5246 [W]

メッセージ : Component compname, Symbol=symbolname at (xcoord,ycoord), is not connected.

(x 座標、y 座標) のコンポーネント compname、シンボル=symbolname が接続されていません。

原因 : ラベルの付いていないコンポーネントのいずれのピンにも接続がされていません。

解決策 : コンポーネントには必ず 1 つ以上の接続を追加してください。

## 5247 [W]

メッセージ : Component complabel (compname), Symbol=symbolname at (xcoord,ycoord), is not connected.

(x 座標、y 座標) のコンポーネント complabel(compname)、シンボル=symbolname が接続されていません。

原因 : ラベルの付いたコンポーネントのいずれのピンにも接続がされていません。

解決策 : コンポーネントには必ず 1 つ以上の接続を追加してください。

## 5248 [W]

メッセージ : Pin pinname does not appear in schematicname.sheetnum.

schematicname.sheetnum にピン pinname が表示されません。

原因 : 回路図シート内にピンが見つかりません。回路図シートが壊れている可能性があります。

解決策 : ピンの削除と再追加のいずれか、または両方を行ってください。

## 5249 [W]

メッセージ : Incompatible ranges for pin pinname (of component compname at (xcoord,ycoord)) and net netname.

((x 座標、y 座標) でのコンポーネント compname) のピン pinname とネット netname の範囲の適合性がありません。

原因 : 指定されたピン幅がネットまたはバスの幅と一致していません。

解決策 : ピンの幅と一致するよう、ネットまたはバスを変更してください。

## 5250 [W]

メッセージ : Character '\$' disallowed in label labelname.

ラベル labelname には文字 '\$' は使用できません。

原因 : 文字 '\$' はピンラベルには使用できません。

解決策 : ピンラベルを更新してください。

## メッセージ 5251-5260

エラーメッセージ 5251-5260 については、以下をご覧ください。

## 5251 [E]

メッセージ : Pin joint on schematic pin does not have one segment.

回路図ピンのピンジョイントには 1 つもセグメントがありません。

原因 : 回路図ファイル。

解決策 : ネットセグメントの削除と再追加のいずれか、または両方を行ってください。

## 5252

メッセージ : Net netname has no segments.

ネット netname にはセグメントがありません。

原因 : 回路図ファイルが壊れている可能性があります。

解決策 : ネットの削除と再追加のいずれか、または両方を行ってください。

## 5253 [E]

メッセージ : For attribute attrname, net netname.

属性 attrname にはネット netname 。

原因 : 回路図ファイルが壊れている可能性があります。

解決策 : ネットと属性の削除と再追加のいずれか、または両方を行ってください。

## 5254 [I]

メッセージ : Schematicname is in READ-ONLY directory and cannot be checked.

回路図名が READ-ONLY ディレクトリ内にあり、チェックできません。

原因： ディレクトリが読み取り専用保護されているか、検索順序内で読み取り専用と指定されています。

解決策： ディレクトリのプロパティを修正するか、検索順序を修正してください。

## 5255 [I]

メッセージ： Check complete. n errors and m warnings in project projname.

チェック完了。プロジェクト projname にエラー n 個と警告 m 個がありました。

原因： 概要情報のみ。

解決策： なし

## 5256 [E]

メッセージ： Trying to rip bit bitnum from label busname.

ラベル busname からビット bitnum をつなげようとしています。

原因： 指定されたビットがバスの範囲内に存在しません。

解決策： BIT 属性またはバスの範囲を修正してください。

## 5257 [E]

メッセージ： WHICHRIPPED attribute specifies non existent pin pinname.

WHICHRIPPED 属性が存在しないピン pinname を指定しています。

原因： WHICHRIPPED 属性で指定されたピンはシンボル上には存在しません。

解決策： WHICHRIPPED 属性を修正するか、シンボルにそのピンを追加してください。

## 5258 [E]

メッセージ： Missing unattached WHICHRIPPED attribute on symbol symbolname.

付与されていない WHICHRIPPED 属性がシンボル symbolname 上にありません。

原因： リッパースymbol上に WHICHRIPPED 属性がありません。



解決策 : リッパースymbolに必要な WHICHRIPPED 属性を追加してください

## 5259 [E]

メッセージ : Missing or incorrect BIT attribute on symbol symbolname pin pinname at (xcoord,ycoord).

(x 座標、y 座標) のSymbol symbolname ピン pinname の BIT 属性がないか、不正です。

原因 : BIT 属性がないか、不正な値が設定されています。

解決策 : リッパースymbolの BIT 属性を追加または修正してください。

## 5260 [E]

メッセージ : Net netname1 and alias net netname2 have different widths.

ネット netname1 とエイリアスネット netname2 は幅が異なります。

原因 : エイリアス化された 2 つのネットの幅が一致していません。

解決策 : 幅が同じになるようにネットを修正してください。

## メッセージ 5261-5299

エラーメッセージ 5261-5299 については、以下をご覧ください。

## 5261 [E]

メッセージ : Trying to short symbol pins pinname1 and pinname2.

Symbolピン pinname1 と pinname2 をショートさせようとしています。

原因 : 2 つのラベルを 1 本のピンに展開しようとしてしました。

解決策 : いずれのSymbolピンにもラベルは 1 つのみ設定するようにしてください。

## 5262 [E]

メッセージ : Multiwidth BIT= attached to net at (xcoord, ycoord).

[X,Y] でネットに、Multiwidth BIT = が付けられました。

原因 : 範囲 1 の BIT 属性が 1 つのネットに接続されたピン上にあります。

解決策 : BIT 属性を修正するか、正しい幅のバスに接続してください。

## 5263 [I]

メッセージ : Net netname1 has alias of netname2.

ネット netname1 に netname2 のエイリアスが付いています。

原因 :           エイリアス情報メッセージ

解決策 :       なし

## 5264 [W]

メッセージ : User attribute NET\_ALIAS on net netname not supported for aliasing.

ネット netname 上のユーザー属性 NET\_ALIAS はエイリアス化に対応していません。

原因 :           NET\_ALIAS 属性はサポートされていません。

解決策 :       エイリアスを行うにはリッパーを使用してください。

## 5265 [E]

メッセージ : Pass-through pin pinname on component compname attached to nets netname1 and netname2.

コンポーネント compname 上のパススルーピン pinname がネット netname1 と netname2 に付いています。

原因 :           2つのネットがパススルーピンを介して一緒にショートされています

解決策 :       パススルーピンの両面で同じネットラベルが使用されていることを確認してください。

## 5266 [I]

メッセージ : Cannot open WIR file for schematic schematicname.

回路図 schematicname の WIR ファイルを開けません。

原因 :           回路図またはワイヤファイルにエラーがあります。

解決策 :       viewbase エラーメッセージについては、ワイヤファイルまたは schematicname.err ファイルをご確認ください。

## 5267 [E]

メッセージ : Multiple instances of the FUB fubname found.

FUB fubname の複数インスタンスが見つかりました。

原因 :           FUB は重複することはできません。

解決策： 重複している FUB を削除するか、SYMTYPE=FUB 属性を削除してください。

## 5268 [E]

メッセージ： Missing BIT attribute on pin pinname of ripper symbol symbolname.

リッパースymbol symbolname 上のピン pinname に対して、BIT 属性が見つかりません。

原因： すべてのリッパースymbolに BIT 属性が必要です。

解決策： 不足している BIT 属性を追加してください。

## 5269 [E]

メッセージ： \$ARRAY attribute not allowed on FUB fubname at (xcoord, ycoord).

(x 座標、y 座標) 上の FUB fubname では \$ARRAY 属性は許可されていません。

原因： FUB は重複することはできません。

解決策： \$ARRAY または SYMTYPE=FUB 属性を削除してください。

## 5273 [E]

メッセージ： Unlabeled net for pin %s of component %s connected to bus %s. You must label the net.

コンポーネント %s のピン %s に未ラベルのネットがバス %s に接続されています。ネットにラベルをつけてください。

原因： ラベルの付いていないネットをバスに接続しました。

解決策： ラベルの付いていないネットを探し、有効な名前をつけてください



## Chapter 3

# Scout および xref のエラーメッセージ

---

この章では、Scout および xref コマンドのエラーメッセージについて説明します。これらの 2 つのコマンドは Cross Reference ( 相互参照 ) というグローバル名のもとにまとめられていますが、エラーメッセージについては元のコマンド名を反映しています。

## Scout のエラーメッセージ

Scout メッセージは以下のセクションに分かれています：

- [メッセージ 100 から 149](#)
- [メッセージ 150 から 200](#)

エラーメッセージには以下の重大度識別子のいずれかがつきます。

- [Z] Mentor カスタマーサポートへ報告
- [W] 警告 ( 常に表示 )
- [E] エラー ( 常に表示 )

ここに記載するメッセージでは、メッセージ上に表示される実際の内容に対して以下のプレースホルダーが使用されています：

- %s = 英数字の文字列 ( ファイル名など )
- %d = 整数

## メッセージ 100 から 149

### scout-E-100

メッセージ : Unterminated string '%s'.

終了していない文字列 '%s' があります。

原因 : 初期設定ファイルの解析中に、引用符が足りない引用文文字列が見つかりました。

解決策 文字列の最後に引用符を追加してください。

## scout-E-101

メッセージ : Couldn't find config file %s. Set WDIR?

設定ファイルの %s が見つかりませんでした。WDIR を設定しますか？

原因 : Scout は scout.ini file を見つけられませんでした。

解決策 : scout.ini ファイルがあるディレクトリを含むように WDIR 環境変数を修正するか、scout.ini ファイルをプロジェクトディレクトリにコピーしてください。

## scout-E-102

メッセージ : Couldn't open config file %s.

設定ファイルの %s が開けませんでした。

原因 : Scout は scout.ini file を開いて読み込むことができませんでした。

解決策 : scout.ini ファイルに適切な許可を設定してください。

## scout-E-103

メッセージ : Error at or near '%s'.

'%s' の場所か付近でエラーが発生しました。

原因 : scout.ini ファイルに不正なフォーマットのコマンドが含まれていました。

解決策 : 正しいコマンド構文については、*Cross-Referencing Designs with Scout and xref* の Chapter 3 の Configuration Command Reference をご参照ください。

## scout-E-105

メッセージ : Need %d %s names for this %s size sheet - only %d provided.

この %s 用紙サイズには %d %s 名が必要です。( %d のみ提供 )

原因 : 指定された zone 名が十分ではありません。

解決策 : zone サイズを増やすか、zone 名をさらに追加してください。

## scout-W-106

メッセージ : Can't determine direction for a non-orthogonal net.

非直交ネットの方向が未決定です。

原因 : 回路図内で 45 度方向のネットが見つかりました。  
解決策 : ネットを 90 度方向に変更してください。

## scout-E-107

メッセージ : Can't find any schematics for sym %s. Use 'stop\_at'?  
                  %s シンボルの回路図が見つかりませんでした。'stop\_at' を使用しますか？  
原因 : 基になる回路図のないコンポジットシンボルが見つかりました。  
解決策 : シンボルタイプを Module に変更するか、シンボルに LEVEL 属性を追加し、対応するレベル引数で scout を呼び出してください。

## scout-E-108

メッセージ : Can't find this schematic.  
                  回路図が見つかりませんでした。  
原因 : Scout はコマンドラインで指定された回路図を見つけられませんでした。  
解決策 : 既存の回路図の名前を指定してください。

## scout-W-109

メッセージ : Ignoring object outside of bounding box.  
                  境界ボックスの外側にあるオブジェクトは無視されます。  
原因 : 回路図の境界ボックスの外側でコンポーネントまたはネットが見つかりました。  
解決策 : オブジェクトを境界ボックス内に移動してください。

## scout-E-110

メッセージ : Format prefix string must not be empty.  
                  prefix 文字列フォーマットが空欄です。  
原因 : scout.ini ファイル内の format\_prefix コマンドに空の値が指定されています。  
解決策 : format\_prefix に空の文字列以外の値を指定してください。

## scout-W-111

メッセージ : All Scopes disabled; no cross referencing will be done.

全ての scope は無効です ; 相互参照は出来ません。

原因 : すべての scope コマンドが false に設定されています。

解決策 : 相互参照を有効にするには 1 つ以上の scope コマンドを true に設定してください。

## scout-W-112

メッセージ : No %s cmds found; no cross referencing will be done.

%s cmds は見つかりませんでした ; 相互参照は出来ません。

原因 : scout.ini ファイル内に 'record' および 'place' コマンドが見つかりませんでした。

解決策 : scout.ini ファイルで record および place コマンドを使用して、相互参照を行うオブジェクトを指定してください。

## scout-W-113

メッセージ : No \$variables in %s string; no cross referencing can be done.

%s の文字列に \$ 変数は存在しません ; 相互参照は出来ません。

原因 : format\_entry コマンドに代用可能な変数が含まれていません。

解決策 : format\_entry コマンドに 1 つ以上の \$variable 値を追加してください。

## scout-Z-114

メッセージ : [Z]Please report this error to customer support.

[Z] カスタマーサポートへエラーを報告してください。

原因 : 内部エラーが発生しました。

解決策 : 設計のコピーと scout.ini ファイルを Mentor Graphics カスタマーサポートまでご送付ください。

## scout-W-116

メッセージ : Ignoring malformed attr %s.

不正な形式の属性 %s は無視されました。

原因 : 回路図から読み込まれたか削除された属性が、期待値を持っていませんでした。



解決策 : SCOUT\_META 属性の属性値はユーザー側では変更しないでください。以前のアノテーションを元に戻している際にこのエラーが scout から出た場合は、属性を手動で削除してください。

## scout-W-119

メッセージ : This %s is currently locked by another process.

他プロセスによって %s は現在ロックされています。

原因 : 回路図またはシンボルの変更しようとした際に、scout はファイルが他のユーザーによって編集中であることを検知しました。

解決策 : いずれの他ユーザーもこのプロジェクトで作業していないことを確認してください。

## scout-W-120

メッセージ : This %s is read-only.

%s は読み取り専用です。

原因 : 回路図またはシンボルを変更しようとした際に、scout は書き込み用にファイルを開くことができませんでした。

解決策 : ファイルの許可を変更し、ファイルが書き込み可能な検索順序内にあることを確認してください。

## scout-E-121

メッセージ : Couldn't write %s back to disk.

%s をディスクへ書き戻す事は出来ませんでした。

原因 : 変更された回路図またはシンボルを保存できませんでした。

解決策 : 回路図を保存するのに十分なディスク容量があることを確認してください。

## scout-E-124

メッセージ : No design name supplied.(Name must precede cmd line options.)

設計名が提供されていません。(cmd ラインオプションより名前を優先)

原因 : scout コマンドラインのフォーマットが正しくありません。

解決策 : プログラムを以下のように呼び出してください :

scout<design\_name> [options]

‘options’ は scout.ini ファイル内での設定をオーバーライドします。

## scout-E-125

メッセージ : Couldn't make temp file name %s

テンポラリファイル名 %s を作成出来ませんでした。

原因 : 追加のコマンドライン引数を扱うためのテンポラリファイルが作成できませんでした。

解決策 : 十分なディスク容量があることと、プロジェクトディレクトリが書き込み可に設定されていることを確認してください。 scout.ini ファイル内のすべてのコマンドラインオプションを指定することによりこのテンポラリファイルを作成しないようにすることもできます。

## scout-E-126

メッセージ : Couldn't open temp file %s

テンポラリファイルの %s を開けませんでした。

原因 : 追加のコマンドライン引数を扱うためのテンポラリファイルを書き込み用に開くことができませんでした。

解決策 : 十分なディスク容量があることと、プロジェクトディレクトリが書き込み可に設定されていることを確認してください。 scout.ini ファイル内のすべてのコマンドラインオプションを指定することによりこのテンポラリファイルを作成しないようにすることもできます。

## scout-E-127

メッセージ : Couldn't delete temp file %s

テンポラリファイルの %s を削除出来ませんでした。

原因 : 追加のコマンドライン引数を扱うためのテンポラリファイルが削除できませんでした。

解決策 : 十分なディスク容量があることと、プロジェクトディレクトリが書き込み可に設定されていることを確認してください。 scout.ini ファイル内のすべてのコマンドラインオプションを指定することによりこのテンポラリファイルを作成しないようにすることもできます。

## scout-W-128

メッセージ : Duplicate %s zone name '%s'

%szone 名の '%s' が重複しています。

原因 : scout.ini ファイルで重複する zone 名が指定されています。  
解決策 : zone\_names コマンドを修正して重複を削除してください。

## scout-W-132

メッセージ : Net annotation truncated - %d entries were discarded.

ネットアノテーションが不完全です。 %d のエントリは破棄されました。

原因 : アノテーションの長さ合計が format\_attr\_length 値を超え、アノテーションのラッピングが無効になりました。

解決策 : format\_attr\_length を増やすか、1 つの長い属性ではなく複数の属性が作成されるように format\_overflow コマンドを reformat\_and\_wrap に変更してください。

## scout-W-133

メッセージ : Page annotation string truncated.

ページアノテーション文字列が不完全です。

原因 : アノテーションの長さ合計が format\_attr\_length 値を超え、アノテーションのラッピングが無効になりました。

解決策 : format\_attr\_length を増やすか、1 つの長い属性ではなく複数の属性が作成されるように format\_overflow コマンドを reformat\_and\_wrap に変更してください。

## scout-W-134

メッセージ : Symbol annotation string truncated.

シンボルアノテーション文字列が不完全です。

原因 : アノテーションの長さ合計が format\_attr\_length 値を超え、アノテーションのラッピングが無効になりました。

解決策 : format\_attr\_length を増やすか、1 つの長い属性ではなく複数の属性が作成されるように format\_overflow コマンドを reformat\_and\_wrap に変更してください。

## scout-W-138

メッセージ : %s %s does not exist.

%s %s は見つかりませんでした。

- 原因 : この設計に参照されているシンボルまたは回路図ファイルが存在しません。
- 解決策 : すべての設計要素が検索されるよう、DxDsigner の検索順序が正しく設定されていることを確認してください。

### scout-W-139

- メッセージ : This release only supports commands for version %d or lower.  
このリリースはバージョン %d 以前のみのコマンドをサポートしています。
- 原因 : scout.ini ファイルに、プログラムで対応されているバージョン以降のバージョンコマンドが含まれています。
- 解決策 : 最新バージョンの scout を実行するか、scout.ini ファイル内の version 値を修正してください。

### scout-W-141

- メッセージ : No page number attribute '%s' found.  
ページ番号属性の '%s' は見つかりませんでした。
- 原因 : scout.ini ファイル内の page\_number\_attr コマンドで指定された属性名が、この回路図シートでは見つかりませんでした。
- 解決策 : その属性を回路図シートに追加するか、page\_number\_file コマンドを使用して該当のページ番号を含むファイルを指定してください。

### scout-W-142

- メッセージ : Couldn't add (duplicate?) attr:'%s'.  
属性の '%s' を追加 (複製) 出来ませんでした。
- 原因 : Scout はコンポーネント、ネットもしくは回路図上に既に存在する属性を追加しようとしてしました。
- 解決策 : DxDsigner と scout.ini ファイルの OAT 設定が一致しているか確認してください。

一致している場合、scout コマンドラインで '-undo true' を指定して前回のアノテーションを削除するようにしてください。

### scout-W-143

- メッセージ : No page file entry '%s' found.  
ページファイルエントリの '%s' は見つかりませんでした。

- 原因 : page\_number\_file コマンドが指定されましたが、この回路図ページのためのエントリがファイル内にありませんでした。
- 解決策 : page\_number\_file にこの回路図のためのエントリを追加してください

### scout-W-145

- メッセージ : No page file entry '%s' found.  
ページファイルエントリの '%s' は見つかりませんでした。
- 原因 : page\_number\_file 内のエントリの形式が正しくありません。
- 解決策 : page\_number\_file で回路図名とページ番号の両方を指定してください

### scout-W-146

- メッセージ : Can't find page file '%s'.  
ページファイルの '%s' が見つかりませんでした。
- 原因 : page\_number\_file コマンドで指定されたファイルが見つかりませんでした。
- 解決策 : プロジェクトディレクトリまたは WDIR 環境変数に含まれるディレクトリにそのファイルが存在することを確認してください。

### scout-W-147

- メッセージ : Duplicate page file entry '%s'.  
ページファイルエントリの '%s' が重複しています。
- 原因 : ページファイル内で同じ回路図名が 2 回見つかりました。
- 解決策 : 重複するページファイルのエントリを削除してください。

### scout-W-148

- メッセージ : Empty %s argument string.  
引数の文字列 %s が空欄です。
- 原因 : scout.ini で見つかったコマンドに値が必要です。
- 解決策 : このコマンドの属性またはファイル名を指定してください。

### scout-W-149

- メッセージ : Subcircuit reuse detected, but oats disabled.  
支回路の再使用が検知されました。OAT は無効です。

- 原因： 設計内で同じコンポジットシンボルが 2 回以上見つかりました。
- 解決策： disable\_oats コマンドを false に設定して、OAT の使用を有効にしてください。

## メッセージ 150 から 200

### scout-W-150

- メッセージ： Duplicate %s name '%s' found.  
              %s 名の '%s' が重複しています。
- 原因： 相互参照ブロックに指定された名前は既に使用されています。
- 解決策： 相互参照名を修正するか scout.ini ファイルから削除してください。

### scout-W-158

- メッセージ： The combination '%s %s' will never match.  
              '%s %s' の組み合わせは使用できません。
- 原因： scout.ini ファイルで指定されたピン側面は使用できません。
- 解決策： 別の pin\_side 値を指定してください。

### scout-W-159

- メッセージ： No %s cmds found; no direct reference handling will be done.  
              %s cmds は見つかりませんでした。直接参照は使用できません。
- 原因： scout.ini ファイルに direct\_reference および place コマンドがありませんでした。
- 解決策： direct\_reference コマンドを追加するか、直接参照アノテーションを実行したくない場合はこの警告を抑制してください。

### scout-W-160

- メッセージ： No \$variables in %s string; no direct reference handling can be done.  
              %s の文字列に \$ 変数が存在しません；直接参照する事はできません
- 原因： format\_entry コマンドに代用可能な変数が含まれていません。
- 解決策： format\_entry コマンドに 1 つ以上の \$variable 値を追加してください。

## scout-W-161

メッセージ : Minimum required Xref items not found

必要な最小値 Xref が見つかりませんでした。

原因 : format\_min\_items コマンドで指定された数より少ない相互参照が見つかりました。

解決策 : format\_min\_items 値を減らすか、scout.ini ファイルからコマンドを削除してください。

## scout-W-162

メッセージ : Maximum Xref items exceeded

最大値 Xref を超えました。

原因 : format\_max\_items コマンドで指定された数を超える相互参照が見つかりました。

解決策 : format\_max\_items 値を増やすか、scout.ini ファイルからコマンドを削除してください。

## scout-W-163

メッセージ : Could not add special annotation box %s

特定アノテーション box の %s を追加できませんでした。

原因 : cross\_reference ブロック内の move コマンドで、回路図に追加できないコンポーネントが指定されました。

解決策 : シンボルが存在することを確認し、配置が回路図上に存在する他のコンポーネントと重ならないことを確認してください。

## scout-W-164

メッセージ : Ignoring page\_string command since OATs are enabled.

OAT が有効になった為 page\_string コマンドが無視されました。

原因 : OAT が有効な状態で page\_string コマンドが指定されました。

解決策 : page\_string コマンドは disable\_oats が true の場合のみ使用できます。

このコマンドは回路図属性を作成しますが、複製された階層がある場合には競合を起こします。複製された階層がない場合は OAT を無効にしてください。または、発生レベルでアノテーションを作成する direct\_reference コマンドを使用してください。

## xref コマンドのエラーメッセージ

以下のファイルには xref コマンドによる設計内の、エラーのタイプと数値識別子を含むエラー情報が含まれています。(以下の例をご参照ください)。

- XREF.ERR – xref エラーメッセージが含まれています。
- BAF2VL.ERR – BAF2VL.EXEによるバックアノテーションエラーが含まれています。

### 例

以下の BAF2VL.ERR 例にはバックアノテーションエラー、警告、情報が含まれています。

```
pcb:Note 5829:Attribute (XREF=2/A1) was added to net ($1N3) on schematic (TANWORK.1).  
pcb:Note 5829:Attribute (XREF=2/A1) was added to net ($1N4) on schematic (TANWORK.1).
```

## BAF2VL エラーメッセージ

以下は BAF2VL エラーメッセージのリストです。

- [エラー 5848](#)
- [エラー 6367](#)
- [致命的なエラー](#)

### エラー 5848

メッセージ : Sheet 0 already exists.Unable to update new instances from baf file.

既にシート 0 が存在します。baf ファイルから新しいインスタンスを更新できませんでした。

解決策 : 無効なエラーのため無視してください。

### エラー 6367

メッセージ : File xxx.baf, line xxxx:baf Parse error at column 2.

xxx.baf ファイル、ライン xxxx:baf column 2 でパースエラー発生

解決策 : このエラーは xref 属性の長さが 128 文字を超えた時に発生します。



## 致命的なエラー

メッセージ : The number of vertical zone names in VER\_ZONE\_NAMES does not match the number specified in NUM\_VER\_ZONES.

VER\_ZONE\_NAMES の縦 zone 名の数値が NUM\_VER\_ZONES で指定した数値と一致していませんでした。

解決策 : スペルミスによるエラーメッセージです。NUM\_VER\_ZONES が正しいキーワードで、VER\_ZONE\_NAMES は有効なキーワードではありません。



# Chapter 4

## PCB インターフェイスのエラーメッセージ

---

この章には PCB インターフェイスのエラーメッセージの番号順リストが記載されています。

- [メッセージ番号 5000-5999](#)
- [メッセージ番号 6000-6999](#)
- [メッセージ番号 7000-7999](#)

pcb.err ファイルには、**pcb fwd** コマンドにより検知される設計上の全エラーがエラータイプと番号識別子とともに記載されます。(下記の例を参照)

### エラーファイルのサンプル (pcb.err)

```
pcb>Error:6035: Illegal length 0
pcb>Note:6057: cmp $1I64, VALUE=:Bad attribute value
pcb>Note:6050: cmp $2I1:Repacking (net conflict)
pcb>Note:6050: cmp $2I1:Repacking (net conflict)
pcb>Note:6082: pkg R100:Extra shape pin 12
pcb>Note:6082: pkg R100:Extra shape pin 10
pcb>Note:6085: pkg U2:3 empty slot(s), device 74LSCOM
pcb:Warning:6094: cmp $2I9, pin C:Pin not connected
Status 1, Notes 6, Warnings 1
Errors 1, Failures 0, FataIs 0, Internals 0
```

## メッセージ番号 5000-5999

### PCB-5617

メッセージ : not parsable - missing token

解析できません -- トークンが失われています。

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルに、スペルミスのキーワードや無効なデリミタ、間違った構文等の無効なトークンがあります。

解決策 : キーワード、デリミタ、空白類のエラーの有無を確認してください [PCB-5621](#) 参照。

### PCB-5619

メッセージ : unable to open file [filename]

[filename] ファイルを開けません

原因 : 現在のワーキングディレクトリまたは WDIR パスにファイルが存在しません。

解決策 : [filename] ファイルをワーキングディレクトリか WDIR 変数に指定される場所にコピーしてください。WDIR 変数を [filename] の場所に指定してください。

### PCB-5621

メッセージ : unrecognized token [token]

トークン [token] が認識できません。

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルに、サポートされていないキーワードなどの認識不能なトークンがあります。

解決策 : ミススペルされたキーワードがないか確認してください。この PCB インターフェイスにインストールされたオリジナルのコンフィギュレーションファイルが変更された場合、キーワードのスペルの確認には他の PCB インターフェイスのコンフィギュレーションファイルのいずれかを参照してください。

### PCB-5625

メッセージ : unable to open file [filename]

[filename] ファイルを開けません

原因 : ファイルに読み取り許可がありません。

解決策： ファイルのアクセス許可を確認して、必要に応じて修正してください。

## PCB-5629

メッセージ： [value] not in yes-no table  
[value] が yes/no テーブルにありません  
原因： トークンの値が yes でも no でもありません。  
解決策： yes か no のいずれかのみを使用してください。

## PCB-5669

メッセージ： [string] not status word  
[string] はステータスワードではありません  
原因： Exclude キーワードの値が次のいずれでもありません：  
Error, Note, Warning  
解決策： Exclude キーワードの値を修正してください。

## PCB-5670

メッセージ： error exclusions in effect  
結果表示におけるエラーの除外。  
原因： Warning, Error, Note の一部が表示項目から除外されています。  
解決策： PCB コンフィギュレーションファイルの ExcludeNums キーワードをチェックしてください。

## PCB-5693

メッセージ： Wrong number of tokens  
トークン数が間違っています  
原因： PCB コンフィギュレーションファイル中のキーワードにトークンが欠けています。  
解決策： ミススペルされたキーワードがないか確認してください。

## PCB-5701

メッセージ： Invalid input for [function\_name] operation  
[function\_name] 操作の入力が無効です。

- 原因： 内部ファンクションへの入力が間違っています。必要な PCB 属性がシンボルに欠けているからかもしれません。
- 解決策： シンボルに必要な属性をチェックし、必要に応じて修正してください。

## PCB-5705

メッセージ： Error adding object %s of type %s to object %s of type %s

タイプ %s のオブジェクト %s に、タイプ %s のオブジェクト %s を追加するときのエラーが発生しました。

- 原因： オブジェクトタイプの不一致。
- 解決策： オブジェクトに不正確な、あるいは欠けている属性がないか確認してください。

## PCB-5708

メッセージ： Could not open file %s for %s access

%s アクセス権でファイル %s を開くことができませんでした。

- 原因： 指定ファイルを指定のアクセスで開くことができません。
- 解決策： 指定ファイルに適切な書き込み許可があることを確認してください

## PCB-5709

メッセージ： Could not find ViewPlace database for [object]

[object] の ViewPlace データベースが見つかりません

- 原因： 指定されたオブジェクトに必要な ViewPlace データベースが見つかりません。
- 解決策： オブジェクトが基板である場合、brd ディレクトリに design.brd ファイルはありません。基板データベースを作成するのにコマンドラインの「配置データ作成」オプションを使用してください。
- オブジェクトが形状である場合、シンボル形状を viewplac.ini 検索順序に見つけることができません。viewplac.ini ファイルを確認してください。

## PCB-5711

メッセージ： Could not load ViewBase for %s%s

%s %s のために ViewBase をロードできませんでした

原因： 以下によるワイヤファイルの不正や欠如：

- 基となる回路図のないコンポジットシンボル。
- ワイヤファイル内のエラー

解決策： 以下のいずれかを行ってください：

- 基となる回路図がない場合、DxD Designer でシンボルブロックタイプをモジュールに変更してください。
- ワイヤファイルをテキストエディタで開き、"error" という文字列を検索してください。見つかった問題は、(ワイヤファイルで直接ではなく)回路図中で修正してください。

## PCB-5714

メッセージ： Object type %s not valid for %s operation on object type %s

オブジェクトタイプ %s は、オブジェクトタイプ %s の %s 操作には無効です。

原因： オブジェクトタイプの不一致。

解決策： オブジェクトに不正確な、あるいは欠けている属性がないか確認してください。

## PCB-5716

メッセージ： Could not set %s for object %d of type %s

タイプ %s のオブジェクト %d に %s を設定できませんでした。

原因： オブジェクトタイプの不一致。

解決策： オブジェクトに不正確な、あるいは欠けている属性がないか確認してください。

## PCB-5727

メッセージ： Global net %s on subcircuit %s is being ignored

サブ回路 %s のグローバルネット %s が無効になっています。

原因： グローバルネットは名前付きネットとして暗黙的なエイリアスがあります。

解決策： グローバルネットを他の名前付きネットとしてエイリアス参照するにはバスリッパを使用してください。

## PCB-5728

メッセージ : Using signal name from level above

上のレベルから信号名を使用しています

原因 : 設計の他の箇所で使用されているローカルネット名と競合するグローバルネットの使用

解決策 : 特定ネット名のすべての発生がローカルかグローバルかのいずれかであり、混在していないことを確認してください。

## PCB-5736

メッセージ : Could not find object %s of type %s on schematic %s

回路図 %s 上でタイプ %s のオブジェクト %s を見つけることができません。

原因 : オブジェクトがもう既に回路図上にありません。これは PCB ネットリストの配置・配線ツールへの転送後に回路図になされた編集のためであるかもしれません。

解決策 : 回路図か PCB データベース、あるいはその両方を修正し、再度バックアノテーションを試みてください。

## PCB-5758

メッセージ : Error while loading object of type %s

タイプ %s のオブジェクトのロード中にエラーが発生しました

原因 : オブジェクトに問題があります。

解決策 : オブジェクトに不正確な、あるいは欠けている属性がないか確認してください。

## PCB-5773

メッセージ : Manually disconnect net

手動でネットを接続解除してください。

原因 : PCB レイアウトでネットを削除したため、回路図へのバックアノテーションの際、この変更は自動的に対応されません

解決策 : 回路図上でこの問題を手動で修正してください。

## PCB-5774

メッセージ : Manually connect to old net %s



元のネット %s に手動で接続してください。

原因： PCB レイアウトでネットが接続されましたが、回路図へのバックアノテーションの際、この変更は自動的に対応されません。

解決策： 回路図上でこの問題を手動で修正してください。

## PCB-5775

メッセージ： Manually connect to new net %s

手動で新しいネット %s に接続してください

原因： PCB レイアウトでネットが接続されましたが、回路図へのバックアノテーションの際、この変更は自動的に対応されません。

解決策： 回路図上でこの問題を手動で修正してください。

## PCB-5776

メッセージ： Manually delete component

手動でコンポーネントを削除してください

原因： PCB レイアウトでコンポーネントが削除されましたが、回路図へバックアノテーションの際、この変更は自動的に対応されません。

解決策： 回路図上でこの問題を手動で修正してください。

## PCB-5784

メッセージ： backannotation out of sync

バックアノテーションが同期していません

原因： リストから / へのバックアノテーションが回路図の現在のバージョンのオブジェクト識別子と一致していません。

解決策： 現在の PCB ネットリストを生成するのに使用したバージョンにバックアノテーションしてください。

## PCB-5791

メッセージ： Bad %s dictionary file at line %d

%s ディクショナリファイルの %d 行が正しくありません。

原因： ディクショナリファイルと回路図の現在のバージョンとの間に相違があります。

解決策： 現在の PCB ネットリストを生成するのに使用したバージョンにバックアノテートしてください。

## PCB-5792

メッセージ： %s dictionary entry %s at line %d was deleted

%s ディクショナリの行 %d のエントリ %s が削除されました。

原因： 回路図からオブジェクトが削除されたため、ディクショナリファイルが更新されたことをこの警告により通知しています。

解決策： 必要な処置なし。

## PCB-5793

メッセージ： Attribute %s found in both Aliasing and Translation configuration

エイリアス設定と変換設定の両方で属性 %s が見つかりました。

原因： 属性のエイリアス化と変換は相互排他的でありながら、PCB コンフィギュレーションファイルのこれら両方のセクションに存在する属性が見つかりました。

解決策： PCB コンフィギュレーションファイルを修正してください。属性はこれらセクションの片方にしか存在できません。

## PCB-5795

メッセージ： No shape specified

形状が指定されていません。

原因： PCB ライブラリにはコンポーネントの PKG\_TYPE 属性のために指定された形状がありません。

解決策： PCB ライブラリか PKG\_TYPE 属性値のいずれかを修正してください

## PCB-5800

メッセージ： Gpi Initialization Failed. Aborting run

Gpi の初期化が失敗しました。実行を中止します。

原因： 回路図データベースの初期化とロードをできませんでした。

解決策： ワイヤファイルを削除し、DxD designer で「プロジェクトのチェック」を実行して新規のワイヤファイルを再度生成してください。

## PCB-5801

メッセージ : vbLsuInit() already Initialized. Returning old handle

vbLsuInit() は既に初期化されています。古いハンドルを返します。

原因 : 回路図データベースの再初期化。

解決策 : 必要な処置なし。

## PCB-5802

メッセージ : Error allocating memory for object of type object\_type

object\_type タイプのオブジェクトのメモリ割り当てでエラーが発生しました

原因 : メモリ容量が足りません。

解決策 : アプリケーションをいくつか閉じ、インターフェイスを再度実行してください。

## PCB-5810

メッセージ : No schematic sheet in memory

メモリ内に回路図シートがありません。

原因 : メモリ内に現在のシートが見つかりません。

解決策 : 回路図シートが存在することを確認してください。回路図が削除されている場合、対応するワイヤファイルも削除してください。

## PCB-5816

メッセージ : Unable to initialize LSU for null design name

設計名が空であるため、LSU を初期化することができません。

原因 : バックアノテーションを行うために渡された設計名が空文字列です

解決策 : 回路図名と一致するようにバックアノテーションのファイル名を修正してください。

## PCB-5817

メッセージ : Unable to open filename.baf for writing.

filename.baf を書き込みが可能な状態で開けません。

原因 : 書き込み権限がありません。

解決策 : 現在のワーキングディレクトリで書き込み権限があるか確認してください。

## PCB-5818

メッセージ : Could not load schematic schematic\_name, missing or bad data.

データが失われたか正しくないために回路図名 schematic\_name をロードできません。

原因 : このプロジェクト用の回路図ファイルが存在しないか、読み込み・書き込み権限に誤りがあります。

解決策 : DxDesigner でプロジェクトをチェックすることにより回路図ファイルを再度生成し、読み込み・書き込み権限があることを確認してください。

## PCB-5819

メッセージ :

原因 : コマンドラインで指定されている baf ファイルは現在のワーキングディレクトリに存在しません。

解決策 : 現在のワーキングディレクトリに指定された baf ファイルをコピーしてください。

## PCB-5822

メッセージ : Could not find component/net instance (id).

コンポーネント / ネットのインスタンス (id) が見つかりません。

原因 : 回路図に存在しないネットやコンポーネントへの属性のバックアノテーションを行っています。

解決策 : 指定の回路図にコンポーネントやネットインスタンス (id) が存在するか確認してください。変更が行われた場合、回路図がディスクに書き込まれたことを確認してください。問題が続く場合、論理データベースと物理的データベースが同期していないことが考えられます。

## PCB-5823

メッセージ : Pin (pin\_name) of instance (instance\_name) on schematic (schematic\_name) was not found.

回路図 (pin\_name) のインスタンス (instance\_name) のピン (pin\_name) が見つかりません。

- 原因 : ピンにラベルが欠けています。
- 解決策 : シンボル上のすべてのピンが適正にラベル付けされているか確認してください。

## PCB-5826

メッセージ : Segment number (#) of net (net\_name) on schematic (schematic\_name) was not found.

回路図 (schematic\_name) のネット (net\_name) のセグメント番号 (#) が見つかりません。

- 原因 : 存在していないセグメントに属性のバックアノテーションを行おうとしています。
- 解決策 : 論理データベースと物理的データベースが同期しているか確認してください。

## PCB-5834

メッセージ : Instance id on Schematic schematic\_name does not exist. Check uid string uid - sheet\_name.

回路図 schematic\_name 上のインスタンス id が存在しません。uid 文字列 uid - sheet\_name をチェックしてください。

- 原因 : 回路図に存在しないコンポーネントへのバックアノテーションが行われようとしていました。
- 解決策 : 指定の回路図にコンポーネント (id) があるか確認してください。変更が行われた場合、回路図がディスクに書き込まれることを確認してください。現行の PCB レイアウトネットリストの作成に使用した回路図のバージョンへバックアノテーションされることを確認してください。

## PCB-5840

メッセージ :

- 原因 : 更新された回路図はもう存在しないか、この回路図への書き込み権限がありません。
- 解決策 : 回路図が存在することを確認し、ファイルに書き込み権限があることを確認してください。

## PCB-5841

メッセージ :

原因： PCB インターフェイスツールを実行したことによる回路図の変更により、今更新されている属性はこのインスタンスにはもう存在しません。

解決策：

## PCB-5842

メッセージ：

原因： シート # への書き込み許可がありません。

解決策： バックアノテーションが行えるよう、シート # の書き込み許可を変更してください。

## PCB-5848

メッセージ：

原因： 既に存在しているシート # を新規作成しようとしています。

解決策： .baf ファイルを再作成してから再度バックアノテーションを行ってください。

## PCB-5855

メッセージ： OATs settings in the viewdraw.ini and PCB configuration files are inconsistent.

viewdraw.ini にある OAT 設定 と PCB コンフィギュレーションファイルの整合性がありません。

原因： viewdraw.ini と PCB コンフィギュレーションファイルに異なる OAT 設定が行われています。

解決策： ユーザーインターフェイスを使用中であれば、viewdraw.ini ファイルの OAT 設定を変更できるダイアログボックスが表示されます。それ以外の場合は不具合が起こり、viewdraw.ini ファイルか PCB コンフィギュレーションファイルのいずれかの OAT 設定を変更する必要があります。

## PCB\_5856

メッセージ： Unable to save schematic %s. Check if it is locked.”

回路図 %s を保存できません。ロックされていないか確認してください。

- 原因 : この回路図は現在他のプロセスによりロックされて変更されていません。sch sub-dir のロックディレクトリのロックファイルに必要な情報があります。
- 解決策 : 回路図上でハイライトされているものがないことを確認してください。

## PCB-5958

メッセージ : Bad Detach for F2038

F2038 の切り離しが不正です。

- 原因 : DxDesigner とレイアウトシステム間でのピンラベルの相違が原因の可能性あります。
- 解決策 : 回路図シンボルのピンラベルと配置図形のピンの間の相違をすべて修正してください。

## PCB-5961

メッセージ : No slot for [F#]

[F#] のスロットがありません。

- 原因 : ソケットシンボルの # 属性には英数字の名前 (#=nc1) が付いていますが、バックアノテーションファイルのピン番号は N1 となっています。機能回路図とレイアウト回路図が同期していないため、ViewPCB はこのコンポーネントにスロットを割り当てられません。

解決策 : 次の手順に注意を払い、設計サイクルを見直してください :

1. 回路図を作図します。
2. ViewPCB を実行してネットリストを生成します。
3. レイアウトシステムにネットリストを読み込み、変更を加えます。
4. ViewPCB を実行して、変更を DxDesigner にバックアノテーションします。

設計がレイアウトにある場合、レイアウトの変更を DxDesigner にバックアノテートする前に決して回路図の変更を行わないでください。

## メッセージ番号 6000-6999

### PCB-6000

メッセージ : Could not open file [filename]

ファイル [filename] を開けません

- 原因： 指定されたファイルを読み取れません / 書き込めません。
- 解決策： メッセージの重大性によって、メッセージを無視するか、ディレクトリの有無と、ファイルの有無および / もしくは適正なアクセスモードが設定されているかを確認してください。

## PCB-6001

- メッセージ： vpbGet [variables] failed
- vpbGet [variables] が失敗しました。
- 原因： PCB コンフィギュレーションファイルの中のライン (PKG CLASS=LAB) がコメントアウトされています；ラインの最初に垂直バー (|) があります。
- 解決策： ラインを有効にするため、コメント用文字を取り除いてください。

## PCB-6002

- メッセージ： SEC: Required license not found
- SEC：必要なライセンスが見つかりません。
- 原因： 指示された製品の有効なライセンスが見つかりませんでした。
- 解決策： ライセンスファイルやライセンスサーバーに、使用されている製品の有効なライセンスがあることを確認してください。

## PCB-6004

- メッセージ： Could not write file [filename]
- ファイル [filename] に書き込めませんでした。
- 原因： 書き込み権限で .baf ファイルを開けません。
- 解決策： 現在のディレクトリの書き込み許可を確認してください。

## PCB-6005

- メッセージ： Illegal regular expression: Code: [n]
- 不正な正規表現：コード： [n]
- 原因： PCB コンフィギュレーションファイル中の指示されたラインの正規表現チェックに不正な構文があります。
- 解決策： 構文を修正してください。
- PCB コンフィギュレーションファイル： CHKVAL \_REG\_EXP



## PCB-6006

メッセージ : Component signal pin # not on symbol

シンボルにコンポーネント信号ピン # がありません。

原因 : DxDesigner コンポーネントに SIGNAL あるいは NC 属性が追加されましたが、対応する SIGNAL あるいは NC 属性が DxDesigner シンボルの方に表れません。ピンは追加されません。

解決策 : シンボルに属性を追加するか自動修正機能を有効にしてください。  
PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_BAD\_SIG\_NUM

原因 : 設計をパッケージした後で NC 属性が追加・削除されました。設計が一度パッケージされると PCB インターフェイスはコンポーネントレベル属性を変更することはできません。

解決策 : NC 属性を削除して、`pcb fwd` を実行して設計を再パッケージしてください。

## PCB-6007

メッセージ : Component signal pin added

コンポーネント信号ピンが追加されました

原因 : DxDesigner コンポーネントに SIGNAL あるいは NC 属性が追加されましたが、対応する SIGNAL あるいは NC 属性が DxDesigner シンボルの方に表れません。ピンは追加されます。

解決策 : シンボルに属性を追加するかメッセージを無視するか無効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_BAD\_SIG\_NUM

## PCB-6009

メッセージ : vbChkAttGen: Multiple generators for attribute [name]

vbChkAttGen : 属性 [name] にジェネレータの重複

原因 : PCB コンフィギュレーションファイル中に、同一属性の GENVAL キーワードが複数存在します。

解決策 : 問題の GENVAL ラインのいずれかを削除してください。  
PCB コンフィギュレーションファイル : GENVAL

## PCB-6013

メッセージ : Unknown procedure: [procedure]

- 不明な手順 : [procedure]
- 原因 : 不明のプロシージャ名が CHKVAL あるいは GENVAL 、CHKBRD キーワードの後に続いています。
- 解決策 : 標準のコンフィギュレーションファイルを参照して記載されているプロシージャ名のみを使用してください。  
PCB コンフィギュレーションファイル : CHKVAL, GENVAL, CHKBRD

## PCB-6016

- メッセージ : Too many arguments on line
- ライン上の引数が多すぎます
- 原因 : 指示されている PCB コンフィギュレーションファイルのライン上の引数が多すぎます。いくつかの引数は無視されます。
- 解決策 : ライン上の引数の数を減らしてください。

## PCB-6017

- メッセージ : Ambiguous keyword: [keyword]
- キーワード : [keyword] が認識できません。
- 原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたキーワードが不明瞭です。
- 解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して、記載されているキーワードのみを使用してください。

## PCB-6018

- メッセージ : Ambiguous object type: [type]
- オブジェクトタイプ : [type] が認識できません。
- 原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたオブジェクトタイプが不明瞭です。
- 解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して、記載されているオブジェクトタイプキーワードのみを使用してください。

## PCB-6019

- メッセージ : Ambiguous attribute name: [name]
- 属性名 : [name] が適切ではありません。

- 原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションで指示されている属性が不明瞭です。
- 解決策： 標準の PCB コンフィギュレーションファイルを参照して、記載されている属性のみを使用してください。

## PCB-6020

メッセージ： Ambiguous severity: [severity]

重大性： [severity] が認識できません。

- 原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたエラーの重大性が不明瞭です。
- 解決策： 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して、記載されているエラー重大性のキーワードのみを使用してください。

## PCB-6021

メッセージ： Unrecognized keyword: [keyword]

キーワード： [keyword] が認識できません。

- 原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたキーワードは認識されません。
- 解決策： 標準の PCB コンフィギュレーションファイルを参照して、記載されているキーワードのみを使用してください。

## PCB-6022

メッセージ： Unrecognized object type: [type]

オブジェクトタイプ： [type] が認識できません。

- 原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたオブジェクトタイプが認識できません。
- 解決策： 標準の コンフィギュレーションコンフィギュレーションファイルを参照して、記載されているオブジェクトタイプキーワードのみを使用してください。

## PCB-6023

メッセージ： Unrecognized attribute name: [name]

属性名： [name] が適切ではありません。

- 原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示された属性が不明瞭です。

解決策： 標準のコンフィギュレーションコンフィギュレーションファイルを参照して、記載されている属性のみを使用してください。

## PCB-6024

メッセージ： Unrecognized severity: [severity]

重大性： [severity] が認識できません。

原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたエラー重大性が認識できません。

解決策： 標準のコンフィギュレーションファイルを参照して、記載されているエラー重大性のキーワードのみを使用してください。

## PCB-6025

メッセージ： Missing attribute name

属性名がありません。

原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインで属性名が欠けています。

解決策： 適切な属性名をつけてください。

## PCB-6026

メッセージ： Missing routine name

ルーチン名がありません。

原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインでルーチン名が欠けています。

解決策： 標準のコンフィギュレーションファイルを参照して適切なプロシージャ名を与えてください。

## PCB-6027

メッセージ： Missing object type

オブジェクトタイプがありません。

原因： PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインにオブジェクトタイプが欠けています。

解決策： 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して適切なオブジェクトタイプキーワードを与えてください。

## PCB-6028

メッセージ : Missing severity

重大性がありません。

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインにエラー重大性が欠けています。

解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して適切なエラー重大性キーワードを与えてください。

## PCB-6029

メッセージ : Missing fixcode

フィックスコードがありません。

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインに修正コードが欠けています。

解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して適切な修正コードを与えてください。

## PCB-6030

メッセージ : Missing number

番号がありません。

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインに整数の引数が欠けています。

解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して適切な番号を与えてください。

## PCB-6031

メッセージ : Bad fixcode: [fixcode]

フィックスコードが不正です。 [fixcode]

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインの修正コードが正しくありません。

解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して記載されている修正コードのみを使用してください。

## PCB-6032

メッセージ : Bad number: [number]

番号 : [number] が正しくありません。

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインに不適正な番号があります。

解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して適切な値を使用してください。

## PCB-6033

メッセージ : Incorrect number of arguments

引数の数が不正です。

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルの BeginChkRules セクションにある指示されたラインの引数の数が間違っています。

解決策 : 標準 PCB コンフィギュレーションファイルを参照して適切な引数を与えてください。

## PCB-6034

メッセージ : Illegal character [character]

不正な文字 [character] があります。

原因 : 続くメッセージで指示されている属性値は、表示されている不正な文字を含んでいます。

解決策 : 属性値を修正するか、自動修正機能を有効にするか、GENVAL 修正を追加するか、あるいはこの文字を許可するために PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKVAL \_NAME\_CHK, CHKVAL \_LIST\_CHK, GENVAL

## PCB-6035

メッセージ : Illegal length [length]

長さ [length] が正しくありません。

原因 : 続くメッセージで指示されている属性値は、不適正な長さになっています。

解決策 : 属性値を修正するか、自動修正機能を有効にするか、GENVAL 修正を追加するか、あるいはこの長さを許可するために PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKVAL \_NAME\_CHK, CHKVAL \_LIST\_CHK, GENVAL

## PCB-6036

メッセージ : Replacement character conflict

置換文字が競合しています。

原因 : CHKVAL PCB コンフィギュレーションファイルのラインで指定された置換文字が不正な文字です。

解決策 : 別の置換文字を指定してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKVAL \_NAME\_CHK, CHKVAL \_LIST\_CHK

## PCB-6037

メッセージ : Min length, max length conflict

最小長さと最大長が矛盾しています。

原因 : CHKVAL PCB コンフィギュレーションファイルのラインで指定されている最小および最大長さが矛盾しています。

解決策 : 矛盾しない長さを指定してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKVAL \_NAME\_CHK, CHKVAL \_LIST\_CHK, CHKVAL \_REG\_EXP

## PCB-6038

メッセージ : Expansion error n for string value

文字列値の展開エラー n

原因 : 続くメッセージに指示されている属性値はリストとして正しく展開できません。

解決策 : 属性値を修正するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。  
PCB コンフィギュレーションファイル : CHKVAL \_LIST\_CHK

## PCB-6039

メッセージ : Illegal value [value]

値 [value] が正しくありません。

原因 : 続くメッセージで指示されている属性値は不適正です。

解決策 : 属性値を修正するか、GENVAL 修正を追加するか、あるいはこの値を許可するために PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKVAL \_ENUM\_CHK, GENVAL

## PCB-6040

メッセージ : Missing character [character]

文字 [character] が見つかりません。

原因 : 続くメッセージで指示されている属性値は、指定された文字が欠けています。

解決策 : 属性値を修正するか、自動修正機能を有効にするか、GENVAL 修正を追加するか、あるいは PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKVAL\_FND\_CHAR, GENVAL

## PCB-6041

メッセージ : Bad signal value [value]

信号値 [value] が不正です。

原因 : 続くメッセージで指示されている SIGNAL 属性値は、構文が正しくありません。

解決策 : 属性値を修正してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKVAL\_SIG\_CHK

## PCB-6043

メッセージ : [second attribute]

Always used following PCB-6066, where PCB-6066 specifies the first attribute in a conflict and PCB-6043 specifies the second attribute in the conflict.

[second attribute]

このメッセージ PCB-6043 は、常に PCB-6066 メッセージの後に使用されます。PCB-6066 は競合している最初の属性を示し、PCB-6043 は競合する 2 番目の属性を示します。

原因 : 同一のパッケージまたはパッケージピンの DxDesigner 属性が競合しています。

解決策 : 属性を修正するか、自動修正機能を有効にするか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKBRD\_COMM\_PIN3, CHKBRD\_REF\_CONFL, CHKBRD\_VDVP\_ATT



## PCB-6044

メッセージ : [no attribute]

Always used following PCB-6066, where PCB-6066 specifies the first attribute in a conflict and PCB-6044 specifies the second attribute in the conflict. In this case, the conflict arises because the second attribute is missing.

[no attribute]

このメッセージ PCB-6044 は、常に PCB-6066 メッセージの後に使用されます。PCB-6066 は競合している最初の属性を示し、PCB-6044 は競合する 2 番目の属性を示します。この場合、2 番目の属性が欠けているために競合が発生しています。

原因 : 同一のパッケージあるいはパッケージピン用の DxDesigner 属性が競合しています。

解決策 : 属性を修正するか、自動修正機能を有効にするか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_COMM\_PIN3, CHKBRD\_REF\_CONFL, CHKBRD\_VDVP\_ATT

## PCB-6045

メッセージ : Repacking (attribute conflict)

再パッキング (属性の競合)

原因 : 同一パッケージの他のコンポーネントやコモンピンとの属性の競合があるため自動修正機能が指示された DxDesigner コンポーネントを再パッケージしています。

解決策 : メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_REF\_CONFL, CHKBRD\_COMM\_PIN3

## PCB-6046

メッセージ : Repacking (device conflict)

再パッキング (デバイスの競合)

原因 : 同一パッケージの他のコンポーネントと指定されたデバイスが競合するので自動修正機能が指示された DxDesigner コンポーネントを再パッケージしています。

解決策 : メッセージを無視してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_DEV\_CONFL

## PCB-6047

メッセージ : Repacking (pin # not on symbol)

再パッキング (シンボルにピン # がありません)

原因 : ピン番号が有効なスロットのいずれとも一致しないため自動修正機能は指示された DxDesigner コンポーネントを再パッケージしています。

解決策 : メッセージを無視してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_BAD\_PIN\_NUM

## PCB-6048

メッセージ : Repacking (pins from different slots)

再パッキング (異なるスロットからのピン)

原因 : 2 つ以上のスロットからのピン番号が同一ゲートで混同されているので自動修正機能は指示された DxDesigner コンポーネントを再パッケージしています。

解決策 : メッセージを無視してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_MIXED\_SLOT

## PCB-6049

メッセージ : Repacking (duplicate slot)

再パッキング (重複スロット)。

原因 : 違うゲートが既に同一のスロットにパッケージされているので自動修正機能は指示された DxDesigner コンポーネントを再パッケージしています。

解決策 : メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_DUPL\_SLOT

## PCB-6050

メッセージ : Repacking (net conflict)

再パッキング (ネット競合)

原因 : コモンピンのネット接続が同一パッケージの異なるゲートにある同じピンの接続と異なるので自動修正機能は指示された DxDesigner コンポーネントを再パッケージしています。

解決策 :      メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKBRD \_COMM\_PIN1, CHKBRD \_COMM\_PIN2, CHKBRD  
\_COMM\_PIN4

## PCB-6051

メッセージ : Duplicate pin number

ピン番号が重複しています。

原因 :          # 、 SIGNAL 、および NC 属性に基づいて、同じゲートの異なるピンに重複ピン番号が存在します。

解決策 :      ピン番号を修正するか、意図的なデフォルト SIGNAL のオーバーライドである場合はメッセージを無視してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD \_DUPL\_PIN

## PCB-6052

メッセージ : Duplicate name: [name]

名前 : [name] が適切ではありません。

原因 :          重複するネット名、ゲート名、あるいは参照番号が存在します。

解決策 :      重複項目を削除するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD  
\_DUPL\_FNAME1, CHKBRD \_DUPL\_FNAME2, CHKBRD  
\_DUPL\_NNAME, CHKBRD \_DUPL\_RNAME

## PCB-6053

メッセージ : Duplicate attribute

属性が重複しています。

原因 :          重複する属性が存在します。

解決策 :      重複項目を削除するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD  
\_DUPL\_ATTR, ALLOW\_DUPL.

あるいは、DxDesigner から「プロジェクトのチェック」を実行してから ViewPCB を再度実行してください。

## PCB-6054

メッセージ : Duplicate slot -n

## スロットの重複 - n

- 原因： 同一パッケージの同じスロットに 2 つ以上の DxDesigner コンポーネントがパッケージされています。
- 解決策： ゲートを再パッケージするか、自動修正機能を有効にするか、あるいは重複するスロットが許可される場合はメッセージを無視してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_DUPL\_SLOT

**PCB-6055**

メッセージ：Bad name: [name]

名前：[name] が適切ではありません。

- 原因： 指示された名前は前述のメッセージで明記されている理由により不適切です。
- 解決策： 名前を修正するか、自動修正機能を有効にするか、GENVAL 修正を追加するか、あるいはこの長さを許可するために PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKVAL, GENVAL

**PCB-6056**

メッセージ：Bad attribute name

属性名が不正です。

- 原因： 指示された属性名は前述のメッセージで明記されている理由により不正です。
- 解決策： 属性名を修正するか、自動修正機能を有効にするか、GENVAL 修正を追加するか、あるいはこの長さを許可するために PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKVAL, GENVAL

**PCB-6057**

メッセージ：Bad attribute value

属性値が不正です。

- 原因： 指示された属性値は前述のメッセージで明記されている理由により不正です。
- 解決策： 属性値を修正するか、自動修正機能を有効にするか、GENVAL 修正を追加するか、あるいはこの属性値を許可するために PCB コンフィ

ギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKVAL, GENVAL

## PCB-6058

メッセージ：DxDsigner attribute overriding

DxDsigner 属性をオーバーライドします。

原因： DxDsigner と整合性がとれるよう、自動修正機能が ViewPlace 属性を更新しています。

解決策： メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_VDVP\_ATT

## PCB-6059

メッセージ：[ViewPlace attribute]

Always used following PCB-6066, where PCB-6066 specifies the DxDsigner attribute in a conflict and PCB-6059 specifies the ViewPlace attribute in the conflict.

[ViewPlace attribute]

このメッセージ PCB-6059 は、常に PCB-6066 メッセージの後に使用されます。PCB-6066 は、競合している DxDsigner 属性を示し、PCB-6059 は競合する ViewPlace 属性を示します。

原因： 同一のパッケージあるいはパッケージピン用の DxDsigner 属性が競合しています。

解決策： 属性を修正するか、自動修正機能を有効にするか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_COMM\_PIN3, CHKBRD\_REF\_CONFL, CHKBRD\_VDVP\_ATT

## PCB-6060

メッセージ：Changing name old name to new name

古い名前を新しい名前に変更しています。

原因： 自動修正機能が不正な名前を有効な新規名称に更新しています。

解決策： メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKVAL, GENVAL

## PCB-6061

メッセージ : Changing attribute name to new name

属性名を新しい名前に変更します。

原因 : 自動修正機能は不正な属性名を有効な新規名称に更新しています。

解決策 : メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKVAL, GENVAL

## PCB-6062

メッセージ : Changing attribute value to new value

属性値を新しい値に変更しています。

原因 : 自動修正機能は不正な属性値を有効な新規名称に更新しています。

解決策 : メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKVAL, GENVAL

## PCB-6063

メッセージ : Changing shape to shape

形状を形状へ変更しています

原因 : 自動修正機能は同じパッケージの DxDesigner PKG\_TYPE と整合性がとれるよう、ViewPlace パッケージ形状を更新しています。

解決策 : メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKBRD\_VDVP\_SHP

## PCB-6064

メッセージ : Changing device to device

デバイスをデバイスへ変更しています。

原因 : 自動修正機能は同じパッケージの DxDesigner デバイス名と整合性がとれるよう、ViewPlace パッケージデバイス名を更新しています。

解決策 : メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル :  
CHKBRD\_VDVP\_ATT

## PCB-6065

メッセージ : Changing ViewPlace net net to net

ViewPlace ネットを、ネットからネットへ変更しています。

原因 : 自動修正機能は DxDesigner の同じ接続と整合性がとれるよう、ViewPlace ネット接続を更新しています。

解決策 : メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_VDVP\_NET

## PCB-6066

メッセージ : Attribute conflicts with [attribute]

属性が [attribute] と競合しています。

原因 : 同一のパッケージまたはパッケージピンの DxDesigner 属性が競合しています。

解決策 : 属性を修正するか、自動修正機能を有効にするか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。  
PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_COMM\_PIN3, CHKBRD\_REF\_CONFL, CHKBRD\_VDVP\_ATT

## PCB-6067

メッセージ : Refdes [refdes], device [device] conflicts with device [device]

参照番号 [refdes] において、デバイス [device] がデバイス [device] と競合しています。

原因 : 指示された DxDesigner コンポーネントに同じ参照番号に指定された競合するデバイス属性があります。

解決策 : デバイス属性を修正するか、ゲートを再パッケージするか自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_DEV\_CONFL

## PCB-6069

メッセージ : Net [net] conflicts with Net [net]

ネット [net] はネット [net] と競合しています。

原因 : 指示された DxDesigner ピン—ネット接続は同一パッケージの同じピンの、続くメッセージに指示されているピン—ネット接続と競合しています。

解決策： 接続を修正するか、ゲートを再パッケージするか、自動修正機能を有効にするか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD \_COMM\_PIN1, CHKBRD \_COMM\_PIN2, CHKBRD \_COMM\_PIN4, CHKBRD \_VDVP\_NET

## PCB-6070

メッセージ：test pin \$1I4.GND27:Net DGND-RED

テストピン \$1I4.GND27：ネット DGND-RED

原因： (一般的にヘテロデバイスのコンポーネントのような)ピン数の多い部品がある場合、同じピン番号のピンが複数ある場合があります。

解決策： ヘテロデバイスの各コンポーネントのピン番号を確認してください。ヘテロ属性が存在する場合でも、pcbnetlister は異なるコンポーネントのピン番号の重複をチェックしないことにご注意ください。あるコンポーネントのピン番号のみチェックします。

## PCB-6071

メッセージ：ViewPlace shape conflict

ViewPlace 形状が競合しています。

原因： 指示された ViewPlace パッケージに同一パッケージの DxDesigner PKG\_TYPE と競合する形状があります。

解決策： 自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD \_VDVP\_SHP

## PCB-6072

メッセージ：ViewPlace device conflict

ViewPlace デバイスが競合しています。

原因： 指示された ViewPlace パッケージに同一パッケージの DxDesigner デバイス名と競合するデバイスがあります。

解決策： 自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD \_VDVP\_ATT

## PCB-6073

メッセージ：ViewPlace net [net] not connected in DxDesigner

ViewPlace ネット [net] が DxDesigner 内で接続されていません。



- 原因： 指示された ViewPlace ピン-ネット接続は DxDesigner 回路図上に存在しません。
- 解決策： 自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル： CHKBRD\_VDVP\_NET

## PCB-6074

- メッセージ： Attribute added  
属性を追加しました。
- 原因： 自動修正機能が必要な属性を追加しています。
- 解決策： メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル： REQUIRE, CHKBRD\_ILL\_PINSWAP

## PCB-6075

- メッセージ： ViewPlace package added  
ViewPlace パッケージを追加しました。
- 原因： 自動修正機能は DxDesigner でのパッケージ、あるいは参照番号の追加に対応する新しい ViewPlace パッケージを追加しています。
- 解決策： メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル： CHKBRD\_VDVP\_PKG

## PCB-6076

- メッセージ： Missing [name] attribute  
属性 [name] がありません。
- 原因： 指示された必要な属性が欠けています。
- 解決策： 属性を追加するか、自動修正機能を有効にするか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル： REQUIRE

## PCB-6077

- メッセージ： Missing shape pin  
形状ピンがありません。

- 原因： 指示されたパッケージピンがこのパッケージの DxDesigner シンボルに定義されていますが、同じ PKG\_TYPE の他の DxDesigner シンボルに同じピンが欠けています。
- 解決策： 同じ PKG\_TYPE のシンボルを検査してシンボルに欠けているピンを追加するか、あるいはメッセージを無視するか無効にしてください。  
。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_MISSING\_PIN

## PCB-6078

- メッセージ：Missing ViewPlace package [REFDES]  
[REFDES] のための ViewPlace パッケージがありません。
- 原因： 指示されている、割り当てられた DxDesigner 参照番号に対応するパッケージが ViewPlace にありません。
- 解決策： 自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_VDVP\_PKG

## PCB-6079

- メッセージ：Hetero device attribute conflict  
ヘテロデバイスの属性が競合しています。
- 原因： ヘテロデバイスのあるセクションの属性が同じヘテロデバイスの別セクションの類似した属性と競合しています。
- 解決策： ヘテロデバイスの全セクションの属性をチェックし、必要に応じて修正してください。

## PCB-6080

- メッセージ：ViewPlace net deleted  
ViewPlace ネットを削除しました。
- 原因： DxDesigner に既に存在しないので、自動修正機能が指示された ViewPlace のネットを削除します。
- 解決策： メッセージを無視するか PCB コンフィギュレーションファイルを変更してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_VDVP\_NET

## PCB-6081

- メッセージ：Extra ViewPlace package  
ViewPlace パッケージが余分です。

- 原因： 指示された ViewPlace パッケージはどの割り当てられた DxDesigner 参照番号にも対応しません。
- 解決策： 自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_VDVP\_PKG

## PCB-6082

メッセージ：Extra shape pin [pin]

形状ピン [pin] が余分です。

- 原因： 指示されたパッケージピンはこのパッケージの DxDesigner シンボルに定義されていませんが、同じ PKG\_TYPE の他の DxDesigner シンボルがこのピンを定義しています。
- 解決策： DxDesigner シンボルに欠けているピンを追加するか、メッセージを無視するか無効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_EXTRA\_PIN

## PCB-6083

メッセージ：Single pin net: [net]

シングルピンネット：[net]

- 原因： 指示されているピンのネットが他のピンと接続されていないので更なる接続情報なしにレイアウトシステムによって配線することができません。
- 解決策： ネットを適切に接続するか、自動修正機能を有効にするか、あるいはメッセージを無視するか無効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_SGL\_PIN\_NET

また、非接続ピンを特定するために NC 属性を使用した結果としてこのメッセージが表示されている場合、PCB コンフィギュレーションファイルの AttPassList セクションの General で NET NC と指定することによりこのメッセージを回避できます。

## PCB-6084

メッセージ：Bus pin on symbol

シンボル上にバスピンがあります。

- 原因： DxDesigner シンボル上のバスピンがネットリストされる前に個別のピンに展開されていません。

解決策： PCB コンフィギュレーションファイルに BusExpansion Yes と入れてください。これがデフォルト設定であり、通常は変更しないでください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_BUS\_PIN

## PCB-6085

メッセージ：n empty slot(s), device [device]

デバイス [device] に n 個の空のスロットがあります。

原因： 指定デバイスタイプの指示されたパッケージに数個の未使用のスロットが表示されています。

解決策： メッセージを無視し、空のスロットを埋めるか PCB コンフィギュレーションファイルの CreateSpareGates オプションを使用してスペアのゲートを新規の最上レベル回路図シートに作成しデフォルトのインプット接続をしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_UNUSED\_SLOT

## PCB-6086

メッセージ：Not packaged

パッケージされていません。

原因： 指示された DxDesigner コンポーネントは前のメッセージで報告されたエラーによりパッケージできません。

解決策： 報告されたエラーを解決してください。

## PCB-6087

メッセージ：Pins have conflicting numbers of slots

ピンとスロット数が一致していません。

原因： 指示された DxDesigner シンボル上の一部のピンはスロットでピン番号が欠けていたり余計に定義されています。

解決策： ピン番号属性を修正してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_BAD\_SLOTCNT

## PCB-6088

メッセージ：Component pin # not on symbol

シンボル上にコンポーネントピン # がありません。

原因： 指示された DxDesigner コンポーネントピンのピン番号は DxDesigner シンボル上で定義されているいずれのピン番号とも一致しません。

解決策：     ピン番号を修正するか自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_BAD\_PIN\_NUM

## PCB-6089

メッセージ： Pins from different slots on one component

1つのコンポーネントに異なったスロットからのピンがあります。

原因：          指示された DxDesigner コンポーネントのピン番号は複数のゲートからのものが混在しています。

解決策：     ピン番号を修正するか自動修正機能を有効にしてください。  
PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_MIXED\_SLOT

## PCB-6090

メッセージ： Illegal pinswap

無効なピンスワップです。

原因：          指示された DxDesigner コンポーネントのピンがスワップされましたがこのスワップが適正なものであることを示す PINSWAP 属性がありません。

解決策：     メッセージを無視するか無効にし、ピン番号を照合・修正するか自動修正機能を有効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_ILL\_PINSWAP

## PCB-6091

メッセージ： Symbol [symbol] missing for hetero device [device]

ヘテロデバイス [device] のシンボル [symbol] がありません。

原因：          指示された DxDesigner コンポーネントは、見つからない他の DxDesigner シンボルを含むヘテロデバイスの一部です。

解決策：     コンポーネントのヘテロ属性が正しいことを確認し、必要な場合回路図の他の箇所に現れない、リストにある DxDesigner シンボル用のスペアゲートをインスタンス生成してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_BAD\_HETERO

## PCB-6092

メッセージ： Bad hetero device [device], symbol [symbol]

ヘテロデバイス [device] 、シンボル [symbol] が正しくありません。

- 原因： 指示された DxDesigner コンポーネントは異なるシンボルを含みますがデバイス属性が同種であり、ヘテロ属性が適切に指定されていないかデバイスライブラリがエイリアス化されています。
- 解決策： 不適正なデバイス属性を修正するかライブラリエイリアスを削除してください。これが確かにヘテロデバイスである場合、DxDesigner シンボルやコンポーネントのヘテロ属性を追加・修正し、デバイスを構成する全ての DxDesigner シンボルの名前を含めてください。  
PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_BAD\_HETERO
- 原因： 設計をパッケージした後でヘテロ属性が追加・削除されました。設計が一度パッケージされると PCB インターフェイスはコンポーネントレベル属性を変更することはできません。
- 解決策： ヘテロ属性を削除して、**pcb fwd** を実行して設計を再パッケージしてください。

## PCB-6093

メッセージ：Pin shorted

ピンがショートしています。

- 原因： 指示された DxDesigner コンポーネントピンは同じゲートの他のピンを直接接続されています。
- 解決策： メッセージを無視・無効にするか指示された回路図上の問題を解決してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_PIN\_SHORTED

## PCB-6094

メッセージ：Pin not connected

ピンが接続されていません。

- 原因： 指示された DxDesigner コンポーネントピンは何にも接続されていません。
- 解決策： メッセージを無視するか無効にし、ピンを適切に接続するか、NC 属性を使用して意図的に接続していないピンを指示してください。  
PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_UNCON\_PIN

## PCB-6097

メッセージ：Line too long

ラインが長すぎます。

- 原因 : PowerPCB ASC や ECO ファイルで指示されているラインが長すぎます。
- 解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、PowerPCB により正しく生成されたことを確認してください。

## PCB-6098

メッセージ : Missing keyword [keyword]

キーワード [keyword] がありません。

- 原因 : 表示されている予想されるキーワードが、PowerPCB あるいは ECO ファイルの指示されているラインから欠けています。
- 解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、PowerPCB により正しく生成されたことを確認してください。

## PCB-6099

メッセージ : Ambiguous keyword [keyword]

キーワード [keyword] が不適切です。

- 原因 : PowerPCB DS ASC あるいは ECO ファイルの指示されているライン上のキーワードが不明瞭です。
- 解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、PowerPCB により正しく生成されたことを確認してください。

## PCB-6100

メッセージ : Unexpected keyword [keyword]

想定外のキーワード [keyword] です。

- 原因 : 予期せぬキーワードが、PowerPCB ASC または ECO ファイルの指示されたライン上にあります。
- 解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、PowerPCB により正しく生成されたことを確認してください。

## PCB-6101

メッセージ : [refdes.pin] is already connected to net [net]

[refdes.pin] は既にネット [net] に接続されています。

- 原因 : PowerPCB ECO ファイルの指示されたラインの ECO レコードがネットにピンを接続しようとしていますが、そのピンには既に別のネッ

トが接続されています。ECO ファイルが古いか、間違っているか、未完成の可能性があります。

**解決策：** ECO ファイルを修正するかこの ECO レコードを削除し、残りの ECO で回路図を更新し、PowerPCB ECOGEN プログラムか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使って新規のフォワードインターフェイス ASC アウトプットファイルと既存の PowerPCB ASC データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6102

**メッセージ：** [refdes.pin] was not connected to net [net]

[refdes.pin] はネット [net] に接続されませんでした。

**原因：** PowerPCB ECO ファイルの指示されたラインの ECO レコードがネットからピンを遮断しようとしています、そのピンは既に接続遮断されています。ECO ファイルが古いか、間違っているか、未完成の可能性があります。

**解決策：** ECO ファイルを修正するか ECO ファイルで回路図を更新し、次に PowerPCB ECOGEN プログラムか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使って新規のフォワードインターフェイス ASC アウトプットファイルと既存の PowerPCB ASC データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6103

**メッセージ：** Net [net] already exists

ネット [net] は既に存在しています。

**原因：** PowerPCB ECO ファイルの指示されたラインにある ECO レコードがネットの名前を変えようとしています、他のネットに既に同じ名前が付けられています。ECO ファイルが古いか、間違っているか、未完成の可能性があります。

**解決策：** ECO ファイルを修正するかこの ECO レコードを削除し、残りの ECO で回路図を更新し、PowerPCB ECOGEN プログラムか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使って新規のフォワードインターフェイス ASC アウトプットファイルと既存の PowerPCB ASC データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6104

**メッセージ：** Package refdes already exists



パッケージ参照番号は既に存在します。

原因 : PowerPCB ECO ファイルの指示されたラインにある ECO レコードがパッケージの名前を変えようとしています、他のパッケージに既に同じ参照番号が付けられています。ECO ファイルが古いか、間違っているか、未完成の可能性があります。

解決策 : ECO ファイルを修正するかこの ECO レコードを削除し、残りの ECO で回路図を更新し、PowerPCB ECOGEN プログラムか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使って新規のフォワードインターフェイス ASC アウトプットファイルと既存の PowerPCB ASC データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6105

メッセージ : Incomplete data

データが不完全です。

原因 : PowerPCB ASC あるいは ECO ファイルの指示されたラインに必要とされる数の引数がありません。

解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、PowerPCB により正しく生成されたことを確認してください。

## PCB-6106

メッセージ : Net [net] not found

ネット [net] が見つかりません。

原因 : ECO ファイルの指示されたラインで参照されるネットは回路図に存在しません。ファイルが古いか、間違っているか、未完成の可能性があります。

解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、レイアウトから正しく生成されたことを確認してください。ファイルを修正するかこの ECO レコードを削除し、残りの ECO で回路図を更新し、(PowerPCB ECOGEN コマンドか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使った場合のように) 新規のフォワードインターフェイスアウトプットファイルと既存の データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6107

メッセージ : Package [refdes] not found

パッケージ [refdes] が見つかりません。

- 原因 : ECO ファイルかデータベースの指示されたラインで参照されるパッケージは回路図に存在しません。ファイルが古いか、間違っているか、未完成の可能性があります。
- 解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、レイアウトから正しく生成されたことを確認してください。ファイルを修正するかこの ECO レコードを削除し、残りの ECO で回路図を更新し、(PowerPCB ECOGEN コマンドか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使った場合のように) 新規のフォワードインターフェイスアウトプットファイルと既存の データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6108

メッセージ : Pin [refdes, pin] not found

ピン [refdes, pin] が見つかりません。

- 原因 : PowerPCB ECO ファイルの指示されたラインで参照されるパッケージピンは回路図に存在しません。ファイルが古いか、間違っているか、未完成の可能性があります。
- 解決策 : ファイルを修正するか ECO レコードを削除し、残りの ECO で回路図を更新し、PowerPCB ECOGEN プログラムか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使って新規のフォワードインターフェイス ASC アウトプットファイルと既存の PowerPCB ASC データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6109

メッセージ : Slot [refdes.slot] not found

スロット [refdes.slot] が見つかりません。

- 原因 : PowerPCB ECO ファイルの指示されたラインで参照されるパッケージ、あるいは (または) スロットは PowerPCB ASC ファイルに存在しないか対応するシンボルに定義されているスロットに対応していません。
- 解決策 : ファイルのフォーマットが適正であり、POWERPCB により正しく生成されたことを確認してください。ファイルを修正するか ECO レコードを削除し、残りの ECO で回路図を更新し、PowerPCB ECOGEN プログラムか PowerPCB チェック ASCII ファンクションを使って新規のフォワードインターフェイス ASC アウトプットファイルと既存の PowerPCB ASC データベースファイルを比較して新規の ECO ファイルを生成してください。

## PCB-6110

メッセージ : Could not write file [filename]

ファイル [filename] に書き込めませんでした。

原因 : 指示されたファイルに書き込めません。

解決策 : ディレクトリが存在することを確認し、アクセスモードが正しく設定されていることを確認してください。

## PCB-6112

メッセージ : Could not create new [device] package [refdes]

新規 [device] パッケージ [refdes] を作成できませんでした。

原因 : PowerPCB ECO ファイルの指示されたラインの ECO レコードが新規のパッケージを作成しようとしています、適切な DxDesigner シンボルが確定もしくはロードできません。

解決策 : 適切な DxDesigner シンボルがアクセス可能な DxDesigner ライブラリディレクトリにある事を確認し、そして (もしくは) このデバイスのマッピングか PCB コンフィギュレーションファイルの BeginNewSymRules セクションにある適切な DxDesigner シンボルへの参照番号を規定してください。

## PCB-6113

メッセージ : Device [device] has [n] shapes

デバイス [device] には [n] 個の形状があります。

原因 : PowerPCB ASCII PARTTYPE ライブラリファイル形式で PowerPCB のデバイス説明を生成しようとしたますが、指示されたデバイスには DxDesigner の関連 PKG\_TYPE 属性が多すぎて PowerPCB ソフトウェアが処理できないか、DxDesigner でこのデバイス用の関連 PKG\_TYPE がありません。

解決策 : デバイスの PKG\_TYPE 数を減らすか、PARTTYPE を生成しないか、足りない PKG\_TYPE 属性を特定するのに REQUIRE PCB コンフィギュレーションファイルキーワードを使用してください。

## PCB-6114

メッセージ : Extra pin in package pin order: [pin]

パッケージピン順序 : [pin] におけるピンが余分です。

- 原因： PKGORDER 属性で指示されたピンは DxDesigner シンボルやシンボルピンで指定されたピン番号のいずれにも対応していません。
- 解決策： PKGORDER 属性からピンを除外してください。

## PCB-6115

- メッセージ： Pin missing in package pin order: [pin]  
パッケージピン順序の中にピン [pin] がありません。
- 原因： 指示されたピンが PKGORDER 属性から欠けています。
- 解決策： PKGORDER 属性にピンを追加してください。

## PCB-6116

- メッセージ： Ignoring single pin net: [net]  
シングルピンネット： [net] を無視します。
- 原因： 指示されたピンのネットが他のピンに接続されていないため、自動修正機能はそのピンを接続されていないものとして扱っています。ネットはネットリストには表れません。
- 解決策： ネットを適切に接続するか、あるいはメッセージを無視するか無効にしてください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_SGL\_PIN\_NET

## PCB-6117

- メッセージ： Bad pinswap definition  
ピンスワップ定義が不正です。
- 原因： 指示された PINSWAP 属性に不正な構文があります。
- 解決策： 属性の構文を修正してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_BAD\_PINSWAP

## PCB-6118

- メッセージ： Unmatched parenthesis  
一致しない括弧があります。
- 原因： 指示された PINSWAP 属性に一致しない丸括弧があります。
- 解決策： 属性の構文を修正してください。PCB コンフィギュレーションファイル：CHKBRD\_BAD\_PINSWAP

## PCB-6119

メッセージ : Mismatched parenthesis

丸括弧の不一致があります。

原因 : 指示された PINSWAP 属性に丸括弧の不一致があります。

解決策 : 属性の構文を修正してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_BAD\_PINSWAP

## PCB-6120

メッセージ : Bad pin name: [pin]

ピン名 : [pin] が正しくありません。

原因 : PINSWAP 属性での指示されたピン名は、その名前の DxDesigner シンボルピンが存在しないので無効です。

解決策 : PINSWAP 属性を修正してください。PCB コンフィギュレーションファイル : CHKBRD\_BAD\_PINSWAP

## PCB-6130

メッセージ : Duplicate pin number [#] in hetero 3 device

ヘテロ 3 デバイスに重複ピン番号 [#] があります。

原因 : ヘテロタイプ 3 デバイスの 2 つ以上のシンボル間でピン番号が重複しています。

解決策 : シンボルから重複ピンを削除してください。

## PCB-6132

メッセージ : REFDES assignment required in REUSE\_BLOCK

REUSE\_BLOCK には REFDES の割り当てが必要です。

原因 : コンポーネントに REUSE\_BLOCK 属性を割り当てることにより REUSE\_BLOCK が作成されましたが、ブロックに REFDES が割り当てられてません。REFDES が保存されるには REUSE\_BLOCK がブレイパッケージされる必要があります。

解決策 : REFDES を割り当てるか REUSE\_BLOCK 属性を削除してください。

## PCB-6133

メッセージ : Pin # assignment required in REUSE\_BLOCK

REUSE\_BLOCK にはピン番号の割り当てが必要です。

原因：        コンポーネントに REUSE\_BLOCK 属性を割り当てることにより REUSE\_BLOCK が作成されましたが、ブロックに最低 1 つのピン番号も割り当てられてません。ピン番号が保存されるには REUSE\_BLOCK がプレパッケージされる必要があります。

解決策：        最低ひとつのピン番号を割り当てるか REUSE\_BLOCK 属性を削除してください。

## PCB-6134

メッセージ： PCB Gate or Pin swap violates REUSE\_BLOCK packaging

PCB ゲートまたはピンスワップが REUSE\_BLOCK パッケージングに違反しています。

原因：        PCB バックは REUSE\_BLOCKS でのゲート & ピンスワップに対応していません。

解決策：        コンポーネントから REUSE\_BLOCK 属性を削除してください。

## PCB-6135

メッセージ： Remove REUSE\_BLOCK definition from component ID to apply these changes

これらの変更を適用するため、コンポーネント ID から REUSE\_BLOCK の定義を削除してください。

原因：

解決策：

## PCB-6138

メッセージ： Multiple Symbols <symname> device <devicename> are inconsistent.

複数シンボル <symname> デバイス <devicename> に整合性がありません。

原因：        このエラーは同じデバイス名を持つ整合性のないシンボルの複数インスタンス生成があると発生します。

解決策：        同じデバイス名を持つ整合性のないシンボルには適合するピンがあることを確認してください。

## PCB-6265

メッセージ : File <design>.baf, line 6037: Skipping record for F176 during change processing bad lwr processing.

ファイル <design>.baf 、ライン 6037 : 不適正な lwr 処理中の変更中の F176 用のレコードを飛ばします。

原因 :

解決策 :

## PCB-6284

メッセージ : Design attribute PKG\_TYPE being changed from <type1> to <type2> double check.

設計属性 PKG\_TYPE が <type1> から <type2> の二重チェックへ変更されます。

原因 :

解決策 :

## PCB-6521

メッセージ : Parse error

解析エラー

原因 : comps や inst 、ネットファイルを読み込み中に解析エラーが発生しました。

解決策 : 考えられるエラーについてこれらのファイルをチェックしてください。

## PCB-6523

メッセージ : Could not rename refdes of gate %s to %s, lwrStat = %d

ゲート %s の参照番号を %s 、lwrStat = %d に変更できませんでした

原因 : コンポーネントの名前変更ができません。

解決策 : バックアノテーションファイルで正しい名前変更情報があることを確認してください。

## PCB-6524

メッセージ : File BACK\_inst\_file.gts, line 1234: Could not update internal data for a pin GND1.

ファイル BACK\_inst\_file.gts 、ライン 1234 : ピン GND1 の内部データを更新できません。

原因 : このエラーは DxDesigner シンボルと基板ステーション部品形状間のピンの不一致に関係している可能性があります。

解決策 : 回路図シンボルのピンラベルを、基板ステーション部品形状に一致するように変更してください。

## PCB-6525

メッセージ : Could not update internal data for a pin DGND, net GND1.

ピン DGND 、ネット GND1 の内部データを更新できません。

原因 : これはヘテロタイプ 2 の問題です。ファンクションディクショナリには時々ヘテロデバイスの異なるコンポーネントを表している同一ファンクションの複数インスタンスがあり、インスタンスが表れる順序が違ふこともありえ、その場合バックアノテーションに影響があります。PCB ネットリスターがどのインスタンスを対象とするべきか正しく規定できないこともあります。

解決策 : エラーメッセージを利用して、問題とされているファンクションを識別し、そのファンクションに複数インスタンスが存在するか確定してください。そうである場合、PCB レイアウトから情報をバックアノテーションするときにネットリスターが正しいインスタンスを定められるようにファンクションディクショナリのインスタンス番号順序を整理してください。たとえば、ファンクションディクショナリに次のエントリーがあります :

```
$8I133 F81  
$8I120 F81
```

次のようにエントリーを整理してください :

```
$8I120 F81  
$8I133 F81
```

## PCB-6530

メッセージ : Could not update component <#>

コンポーネント <#> を更新できません

原因 : ピン番号の大文字と小文字の区別 : pcbfwd からのゲートファイルのピン番号の英数字は大文字になっていますが、基板ステーションからのゲートファイルのピン番号は英数字が小文字になっています。基板ステーションアウトプットゲートファイルが基板ステーションライブラリのジオメトリファイルより導出されるため、基板ステー



ションライブラリのジオメトリファイルのピン番号・名前は大文字になっている必要があります。

解決策： 大文字の英数字ピン番号を含むように基板ステーションジオメトリがゲートファイルを変更してください。

## PCB-6531

メッセージ： Could not find refdes [refdes#] in schematic database

回路図データベースに参照番号「[refdes#]」が見つかりません。

原因： 回路図に指定のパッケージが見つかりませんでした。

解決策： 指定のパッケージが存在することを確認するために回路図をチェックしてください。

## PCB-6532

メッセージ： Could not find component %s in schematic database

回路図データベースにコンポーネント %s が見つかりません。

原因： 回路図に指定のコンポーネントが見つかりませんでした。

解決策： 指定のコンポーネントが存在することを確認するために回路図をチェックしてください。

## PCB-6577

メッセージ： Signal pin on device not specified in POWERS or GROUNDS.

デバイスの信号ピンは POWERS にも GROUNDS にも指定されていません。

原因： 信号はコンポーネントの SIGNAL として指定されていると想定されます。pcb コンフィギュレーションファイルの POWERS や GROUND として指定されていません。

解決策： この信号を pcb コンフィギュレーションファイルで電源かグラウンドとして指定してください。

## PCB-6631

メッセージ： Writing partslist file [filename]

パーツリストファイル [filename] を書き込んでいます。

原因： パーツリストアウトプットファイルが書き込まれています。

解決策： なし。情報の提供のみ。

## PCB-6632

メッセージ : Attribute [attribute\_name] has conflicting values on same PKG [pkg\_name]

同じ PKG 上 [pkg\_name] に属性 [attribute\_name] で競合する値があります。

原因 : ひとつのパッケージ中の 1 つの属性に 2 つ以上の値が割り当てられています。

解決策 : 対応が必要でない場合もあります。MULTIPLE あるいは ITEMIZER キーワードが、パッケージメーカーのような、属性について複数の可能な値をリストアップしている場合はこのメッセージを無視してください。属性の 2 つ以上の値が無視される場合、使いたい 1 つの値以外はパッケージから削除してください。

## PCB-6633

メッセージ : More than one MULTIPLE\_KEY [value] chosen for same pkg [pkg\_name]

1 つの pkg [pkg\_name] に複数の MULTIPLE\_KEY[value] が選択されました。

原因 : シングルパッケージの MULTIPLE\_KEY に 2 つ以上の値が割り当てられています。

解決策 : MULTIPLE\_KEY の 1 つの値以外を削除するかコメント化してください。

## PCB-6634

メッセージ : Pagination ignored, exceeds allowable line width

ページ番号付けは無視されました。許容ライン幅を超えています。

原因 : 日付、設計名あるいはページ数スタンプが許容ライン幅を超えています。

解決策 : 最後のフィールドの幅を増やしてください。

## PCB-6635

メッセージ : No REV# Attributes found on BOARD

BOARD に REV# 属性が見つかりません

原因 : REVISION\_ON キーワードが yes に設定され、基板には REV# 属性が見つかりません。

解決策 : この問題の解決には 2 つの方法があります :

1. 基板に 1 つ以上の REV# 属性を付ける。
2. REVISION\_ON キーワード設定を no に変更する。

## PCB-6636

メッセージ : No BAN# Attributes found on BOARD

BOARD に BAN# 属性が見つかりませんでした。

原因 : BANNER\_ON キーワードが yes に設定され、基板には BAN# 属性が見つかりません。

解決策 : この問題の解決には 2 つの方法があります :

1. 基板に 1 つ以上の BAN# 属性を付ける。
2. BANNER\_ON キーワード設定を no に変更する。

## PCB-6637

メッセージ : Internal Error: List - Table out of sync

内部エラー : リストとテーブルが同期していません。

原因 : 内部障害が発生しました。

解決策 : エンドユーザーに対しては発生しない内部エラーです。発生した場合は、エラー発生以前の動作を記録してテクニカルサポートまでご連絡ください。

## PCB-6638

メッセージ : Header line count exceeded 3-lines. Ignored field label: [field\_label]

ヘッダーのライン数が 3 行を超えました。フィールドラベル : [field\_label] は無視されました。

原因 : 標準ヘッダーの最大ライン数は 3 ですが、これを超えています。

解決策 : ヘッダーに 3 行より多くを使う場合、ALT\_HEADER を使用してください。

## PCB-6639

メッセージ : Internal Warning: UNKNOWN special data field

内部警告 : UNKNOWN な特殊データフィールド

原因 : 内部障害が発生しました。

解決策： エンドユーザーに対しては発生しない内部エラーです。発生した場合は、エラー発生以前の動作を記録してテクニカルサポートまでご連絡ください。

PCB-6640

メッセージ： Value [string] truncated to fit the data field defined

定義されたデータフィールドにフィットするように、値 [string] が切り詰められました。

原因： 値の文字列の文字数が許容フィールド幅を超えています。

解決策： 指定の値のフィールド幅を増やしてください。

## PCB-6641

メッセージ： SUM [number] truncated to fit the data field defined

定義されたデータフィールドにフィットするように SUM[number] が切り詰められました。

原因： 合計値の桁数が許容フィールド幅を超えています。

解決策： SUM 値のフィールド幅を増やしてください。

## PCB-6642

メッセージ： .Unbalanced double quotes in .ini file for field: [field\_label]

ini ファイルのフィールド： [field\_label] は無視されました。

原因： 指定されたフィールドラベルの二重引用符が抜けています。

解決策： 抜けている箇所に二重引用符を加えてください。

## PCB-6643

メッセージ： Bad FIELD\_DEF type [value] Changed to SINGULAR

FIELD\_DEF タイプ [value] が不正です。SINGULAR に変更されました。

原因： .ini ファイルが SINGULAR、ITEMIZER または MULTIPLE 以外のフィールド定義モードを指定しているか構文が間違っています。

解決策： フィールド定義の構文が正確であることをチェックし、キーワードが SINGULAR、ITEMIZER または MULTIPLE 以外のものでないことを確認してください。

## PCB-6644

メッセージ : Label exceeds allowable line width. Ignored field label: [field\_label]

ラベルが許容ライン幅を超えています。フィールドラベル : [field\_label] は無視されました。

原因 : 最終列ラベルが標準ヘッダーの許容ライン幅を超えています。

解決策 : ALT\_HEADER を使用するか、ラベル文字列かフィールド幅を変更してください。

## PCB-6645

メッセージ : Adjusted ITEM/QTY value [value] to allowable width

ITEM/QTY 値 [value] を許容幅に調整しました。

原因 : ITEM/QTY 値が許容フィールド幅を超えています。

解決策 : フィールドの幅を増やしてください。

## PCB-6646

メッセージ : .No Standard or Field definition found in the .ini file.

ini ファイル内に標準定義、もしくはフィールド定義が見つかりません。

原因 : partlist.ini ファイルの標準定義かフィールド定義のセクションが欠けています。

解決策 : パーツリストを適正に生成するには標準定義とフィールド定義が必要です。これらの定義セクションを適切に追加してください。

## PCB-6647

メッセージ : Unable to open file\_name for writing

書き込むために file\_name を開けません。

原因 : 指定されたファイルがないか、適切な許可がありません。

解決策 : 指定されたファイルが適切な場所に正しい名前と適切な許可をもって存在していることを確認してください。

## PCB-6802

メッセージ : File %s not found

ファイル %s が見つかりません。

- 原因 : pkgid.xrf ファイルがプロジェクトエリアにありません。
- 解決策 : プロジェクトエリアにこのファイルが存在することを確認してから ViewPCB を再実行してください。

## PCB-6803

- メッセージ : Line %d in file %s has wrong number of arguments.  
ファイル %s のライン %d に、誤った数の引数があります。
- 原因 : pkgid.xrf ファイルから読み込まれた指定のラインのフォーマットが間違っています。
- 解決策 : 指定されたラインのフォーマットエラーを見直してください。

## PCB-6805

- メッセージ : Illegal value for attribute PCAD\_SECTNUM on symbol %s.  
シンボル %s の属性 PCAD\_SECTNUM の値が不正です。
- 原因 : PCAD\_SECTNUM 属性に不正な値が指定されました。
- 解決策 : この属性の値を適正なものに変更してください。

## PCB-6822

- メッセージ : Could not swap net %s with %s. Manually fix!  
%s ネットを %s とスワップできませんでした。手動で修正してください！
- 原因 : 名前の変更が予定されていた 2 つのネットが回路図上で見つかりません。
- 解決策 : 手動で、これらのネット名を見つけて変更してください。

## メッセージ番号 7000-7999

### PCB-7100

メッセージ : Unable to graphically represent the gate swap between package [package1] and package [package2].

パッケージ [package1] とパッケージ [package2] の間のゲートスワップをグラフィック表示できません。

原因 : 個別に各ゲートを作図するのではなく、回路図上にパッケージ全体が作図されています。pcb fwd コマンドは個別にゲートが作図されていない限りゲートスワップできません。

解決策 : パッケージを構成するゲートの可能な最小表示をインスタンス生成してください。

### PCB-7108

メッセージ : Pinswap attribute requires at least two pins.

ピンスワップ属性には最低でも 2 本のピンが必要です。

原因 : 次の形式でピンスワップ属性が割り当てられました :  
PINSWAP=[Pin#m]

解決策 : 少なくとも 2 本のピンが含まれるように属性の値を修正してください。例 : PINSWAP=[Pin#m,Pin#n]

### PCB-7127

メッセージ : The schematic units are inconsistent with the ASCII file units.

回路図で使用されている単位が ASCII ファイルの単位と一致しません。

原因 : このメッセージはバックアノテーション中に表示されます。単位がレイアウトで変更されているため、バックアノテーションファイルにある単位が回路図の単位と一致しなくなりました。

解決策 : レイアウトハウスは一致する単位を持つ ASCII ファイルを転送する必要があります。

### PCB-7128

メッセージ : Unsupported Version.

サポートしていないバージョンです。

原因 : POWERPCB Perform 、PADS2000 または PowerPCB 1 用の PCB コンフィギュレーションファイルを使用して、**pcb fwd** または **pcb bck** コマンドを実行しようとしています。

解決策 : ネットリストヘッダーラインを更新するとこれらのいずれのバージョンの PCB コンフィギュレーションファイルも使い続けることができます。PCB コンフィギュレーションファイルの最初のラインで、次のようになります :

NetFileHeader !PADS-POWERPCB-V2.0

または

NetFileHeader !PADS-POWERPCB-V3.0

## PCB-7129

メッセージ : Warning: Attribute on [Object] is not in AttPassList

警告 : [Object] 上の属性が AttPassList にありません

原因 : PCB コンフィギュレーションファイルに標準 AttPassList にない属性が配置されました。

解決策 : PCB コンフィギュレーションファイルの AttPassList に属性を追加し、PowerPCB.CFG ファイルで ExcludeName 7129 と設定するか警告を無視してください。

## PCB-7131

メッセージ : Space not allowed in value field for attribute [attribute].

[attribute] 属性の値フィールドではスペースは許可されていません。

原因 : スペースを含む属性値がバックアノテーションされようとしていました。

解決策 : スペースをアンダーバーか他の適切な文字に替えるか POWERPCB ECO ファイルから属性を削除してください。

## PCB-7139

メッセージ : Error: device attribute has conflicting values

エラー : デバイス属性に競合する値があります。

原因 : デバイスの属性は DxDesigner とレイアウトシステムとでは値が異なります。シンボル属性値がコンポーネントの値と一致しません。



解決策 : DxDesigner とレイアウトシステムで属性値が同じになるよう変更してください。

## PCB-7202 [mg63094]

メッセージ : Warning: rpack\_tst net VDD:NC attribute attached to multi-pin net

警告 : rpack\_tst net VDD:NC 属性がマルチピンネットに付けられています

原因 : NC

解決策 :

## PCB-7206

メッセージ : Hetero symbol missing from hetero package on device <devicename>

デバイス <devicename> のヘテロパッケージからヘテロシンボルが欠けています。

原因 : 一部にデバイス属性がありながら他方にはありません。

解決策 : ヘテロパッケージの全てのシンボルに同じ属性が指定されていることを確認してください。

## PCB-7300

メッセージ : Component [component] not found in schematic <schematic>

コンポーネント [component] が回路図 <schematic> 上に見つかりません。

原因 : バックアノテーションで、回路図に存在しないコンポーネントが参照されています。レイアウト中の回路図の変更が原因として考えられます。

解決策 : DxDesigner とレイアウト間の不一致を解消してください。

## PCB-7307

メッセージ : Net Props Write Error

ネット Props 書き込みエラー

原因 : MATCH\_TOLERANCE 属性が適用されていないネットのグループに MATCH\_GROUP 属性が与えられると、Expedition からのバックアノテーションが実行される時にこのエラーが起こります。これはサポートされていない属性です。

解決策 : MATCH\_GROUP 属性を使用しないでください。

## PCB-7463

メッセージ : CES database update failed.

CES データベースの更新に失敗しました。

原因 :

解決策 :

## PCB-7456

メッセージ : Error loading %s interface.

%s インターフェイスをロード中にエラーが発生しました。

原因 : システムレベルのエラーです。インターフェイスの dll がロードできません。

解決策 : ePD インストールのバージョン競合と WDIR ディレクトリ位置により、DLL ファイルが誤って配置されることもあります。

## PCB-7600

メッセージ : Symbol '%s' Attribute '%s=%s' was ignored.

シンボル '%s' 属性 '%s=%s' が無視されました。

原因 : シンボル属性が PDB 属性によりオーバーライドされました。

解決策 : シンボル上の属性を削除してください。

## PCB-7601

メッセージ : Could not add attribute %s on object %s.

オブジェクト %s に属性 %s を追加できませんでした。

原因 : 属性を追加しようとして問題が発生しました。この属性はオブジェクトに追加されません。

解決策 : 内部エラー

## PCB-7602

メッセージ : Pin '%s' is not defined in PDB Part '%s'."

PDB パーツ '%s' でピン '%s' が定義されていません。

原因 : PDB パーツ定義において DxDesigner シンボルピンラベルが見つかりません。

解決策 : DxDesigner シンボルからのすべてのピンラベルを PDB パーツ用に定義されたピンラベルと一致させてください。

## PCB-7603

メッセージ : Inconsistencied found between Dx and PDB No Connect definitions for Parts Number %s.

パーツ番号 %s について Dx と PDB の間で非接続の定義についての不一致が見つかりました。

原因 : DxDesigner と PDB のパーツ間で非接続ピンに違いがあります。

解決策 : DxDesigner と PDB のパーツ間の相違を解消してください。

## PCB-7604

メッセージ : Initializing PDB Partition

PDB のパーティションを初期化しています。

原因 : セントラルライブラリが無効であるか PDB にパーティションが見つかりませんでした。

解決策 : 情報表示のみ。必要な処置なし。

## PCB-7605

メッセージ : Initializing PDB Partition Part Numbers

PDB のパーティションのパーツ番号を初期化しています。

原因 : PDB パーティションでパーツが定義されていません。

解決策 : 情報表示のみ。必要な処置なし。

## PCB-7606

メッセージ : Symbol '%s' did not match the PDB part definition of Part Number '%s'."

シンボル '%s' がパーツ番号 '%s' の PDB パーツ定義と一致しません。

原因 : DxDesigner シンボルが対応する PDB パーツシンボルと一致しません

解決策 : DxDesigner と PDB のパーツ間の相違相違を解消してください。

## PCB-7607

メッセージ : No Pin Mapping definitions found for Symbol '%s' in Part Number '%s'."

パーツ番号 '%s' にあるシンボル '%s' のピンマッピング定義が見つかりません。

原因： PDB からピンマップの取得でエラーが発生しました。  
PDB に不具合がある可能性があります。

解決策： PDB の不具合を解決してください。

## PCB-7608

メッセージ： Pin swap definition for device '%s' does not match PDB.”

デバイス '%s' 用のピンスワップ定義が PDB と一致しません。

原因： DxDesigner のコンポーネント用に定義されたピンスワップが対応する PDB パーツのピンスワップ定義と一致しません。

解決策： DxDesigner と PDB のパーツ間の相違を解消してください。

## PCB-7609

メッセージ： Using Central Library '%s' for packaging.

パッケージングにセントラルライブラリ '%s' を使用しています。

原因： パッケージ時に使われているセントラルライブラリを指定します。

解決策： 情報表示のみ。必要な処置なし。

## PCB-7610

メッセージ： Inconsistent Pin Definitions between DxDesigner and PDB Symbol '%s'.

DxDesigner と PDB シンボル '%s' 間のピン定義に一貫性がありません

原因： DxDesigner シンボルピンラベルが見つからないか、PDB パーツ定義のピンラベルと一致しません。

解決策： DxDesigner と PDB 間の相違を解消してください。

## PCB-7611

メッセージ： Pin Type did not match on pin '%s' for DxDesigner and PDB Symbol '%s'.

DxDesigner と PDB シンボル '%s' のピン '%s' 上のピンタイプが一致していませんでした。

原因： DxDesigner シンボルとそれに対応する PDB シンボルの間でピンタイプ定義の一貫性がありません。

解決策： DxDesigner と PDB 間の相違を解消してください。

## PCB-7613

メッセージ : DxDesigner Pin Number '%s' did not match the PDB definition of Part '%s'.

DxDesigner ピン番号 '%s' がパーツ '%s' の PDB 定義と一致しません。

原因 : DxDesigner のパッケージピン番号が対応する PDB パーツ定義と一致しません。

解決策 : DxDesigner と PDB 間の相違を解消してください。

## PCB-7614

メッセージ : DxDesigner Pin Name '%s' did not match the PDB definition of Part '%s'.

DxDesigner ピン名 '%s' がパーツ '%s' の PDB 定義と一致しません。

原因 : DxDesigner のパッケージピン名が対応する PDB パーツ定義と一致しません。

解決策 : DxDesigner と PDB 間の相違を解消してください。

## PCB-7615

メッセージ : NC Pin '%s' PDB mapping is not defined for Part Number '%s'.

パーツ番号 '%s' について NC ピン '%s' PDB マッピングが定義されていません。

原因 : DxDesigner NC パッケージピンが、対応する PDB パーツで定義されていません。

解決策 : DxDesigner と PDB のパーツ間の相違を解消してください。

## PCB-7616

メッセージ : Signal Pin '%s' PDB mapping is not defined for Part Number '%s'.

パーツ番号 '%s' について信号ピン '%s' PDB マッピングが定義されていません。

原因 : DxDesigner 信号パッケージピンが、対応する PDB パーツで定義されていません。

解決策 : DxDesigner と PDB のパーツ間の相違を解消してください。

## PCB-7617

メッセージ : DxDesigner Package Shape '%s' was not found in the PDB definition of Part Number '%s'.

DxDesigner パッケージ形状 '%s' がパーツ番号 '%s' の PDB 定義で見つかりません。

原因： 無効な DxDesigner パッケージ形状です。パッケージタイプが、対応する PDB パーツで定義されていませんでした。

解決策： PDB パーツで定義されたセルのいずれかと一致するように DxDesigner PKG\_TYPE 属性値を変更するか、DxDesigner PKG\_TYPE 属性値の定義に一致するセルを追加してください。

## PCB-7618

メッセージ： Inconsistencies found between DxDesigner and PDB parts.

DxDesigner と PDB のパーツ間の不一致が見つかりました。

原因： シンボル、ピン、ピンスワップ、スロット、あるいはパッケージタイプの不一致。

解決策： DxDesigner と PDB のパーツ間の相違を解消してください。

## PCB-7619

メッセージ： Inconsistencies found between Dx and PDB parts.

Dx と PDB のパーツ間の不一致が見つかりました。

原因： DxDesigner と PDB でのパーツ定義が一致しません。

解決策： DxDesigner と PDB のパーツ間の相違を解消してください。

## PCB-7620

メッセージ： Invalid Generic Symbol %s

ジェネリックシンボル %s は無効です。

原因： DxDesigner で定義されているジェネリックシンボルは PDB では定義されていません。

解決策： PDB にジェネリックシンボルの定義を追加してください。

## PCB-7621

メッセージ： Part %s was not found in PDB

PDB 内にパーツ %s が見つかりません

原因： DxDesigner パーツが PDB で定義されていません。

解決策： PDB に DxDesigner のパーツを追加してください。

---

## PCB-7622

メッセージ : PDB Part %s contains invalid symbol swap groups defined.

PDB パーツ %s は定義された無効なシンボルスワップグループを含んでいます。

原因 : PDB のパーツに複数の ( 複数サブゲート ) シンボルスワップグループを含むものがあります。これは DxDesigner ではサポートされていません。

解決策 : DxDesigner と互換性のあるパーツのみを使用してください。





# Chapter 5

## Library Studio のエラーメッセージ

---

この章では DxDesigner Library Studio のエラーメッセージについての説明を以下のセクションに分けて記載しています：

- [メッセージ 2100 から 2499](#)
- [メッセージ 2500 から 2999](#)

### メッセージ 2100 から 2499

#### Library Studio - 2101

メッセージ：The project file *<name>* (version=*<name>*) was created with a newer version of Library Studio. The file cannot be opened.

このプロジェクトファイル *<name>* (バージョン =*<name>*) は Library Studio のより新しいバージョンで作成されています。このファイルは開けません。

原因：現在のバージョンで作成された Workspace (.lsw) ファイルは、旧バージョンの Library Studio では開けません。

#### Note



Workspace (.lsw) ファイルは下位互換性があるため、新しいバージョンの Library Studio で旧バージョンの Workspace ファイルを開くことができます。

解決策：Library Studio を最新版に更新してください。

#### Library Studio - 2102

メッセージ：*<name>* is not a valid project file.

*<name>* は有効なプロジェクトファイルではありません。

原因：ロードされたファイルは有効な Library Studio Workspace ファイルではありません。

解決策：有効なプロジェクトファイルにするには拡張子 .lsw を付ける必要があります。

## Library Studio - 2103

メッセージ : An error occurred while reading the Workspace file <name>.

Workspace ファイル <name> の読み込み中にエラーが発生しました。

原因 : Workspace ファイルはアクセス不可であるか、使用中のためロックされています。

解決策 : ネットワーク接続およびファイルがすでに開いていないか確認してください。

## Library Studio - 2104

メッセージ : An error occurred while writing the Workspace file <name>.

Workspace ファイル <name> の書き込み中にエラーが発生しました。

原因 : Workspace ファイルはアクセス不可または読み取り専用になっています。

解決策 : ネットワーク接続とファイルの属性を確認してください。

## Library Studio - 2202

メッセージ : Could not open file: name

次のファイルが開きません :<name>

原因 : 指定されたファイルはアクセス不可または読み取り専用になっています。

解決策 : ネットワーク接続とファイルの属性を確認してください。

## Library Studio - 2204

メッセージ : Cannot determine file type of <name>.

<name> のファイルタイプを特定できません。

## Library Studio - 2205

メッセージ : You must enter a new file name.

新規のファイル名を入力してください。

原因 : 新規シンボル用の新規ファイル名が指定されていません。

解決策 : 新規ファイル名を入力してください。

## Library Studio - 2206

メッセージ : An error occurred while adding field <name> to database table <name>.

フィールド <name> をデータベーステーブル <name> に追加中にエラーが発生しました。

原因 : ネットワークまたはデータベースのエラーが発生したか、テーブルがロックされていました。

解決策 : ファイルの追加を再度試みてください。データベースまたはネットワークの動作ステータスのチェックが必要な場合があります。

## Library Studio - 2207

メッセージ : An error occurred while deleting field <name> from database table <name>.

フィールド <name> をデータベーステーブル <name> から削除しているときにエラーが発生しました。

原因 : ネットワークまたはデータベースのエラーが発生したか、テーブルがロックされていました。

解決策 : ファイルの削除を再度試みてください。データベースまたはネットワークの動作ステータスのチェックが必要な場合があります。

## Library Studio - 2208

メッセージ : One or more tables must be defined in order to view data.

データを表示するには 1 つ以上のテーブルが定義されている必要があります。

原因 : データソースにテーブルが定義されていません。

## Library Studio - 2209

メッセージ : Could not parse DxDM Server location: <name>

次の DxDM サーバー位置を解析できませんでした :<name>

解決策 : DxDM サーバーノードが適切に定義されていることを確認してください。

## Library Studio - 2210

メッセージ : An error occurred while writing file <name>

ファイル <name> の書き込み中にエラーが発生しました。

原因： ファイルが保存できませんでした。

## Library Studio - 2211

メッセージ： No Symbol field was found in library <name>

ライブラリ <name> でシンボルフィールドが見つかりません。

原因： シンボルファイルを指定するにはシンボルフィールドが必要となります。

## Library Studio - 2212

メッセージ： Cannot open table <name>.Table not found

テーブル <name> が開けません。テーブルが見つかりませんでした。

原因： 指定されたテーブルはデータベースの一部ではありません。

## Library Studio - 2213

メッセージ： Cannot open table <name>.Table doesn't contain any columns..

テーブル <name> が開けません。テーブルに列が含まれていません。

原因： 有効なテーブルは列を含む必要があります。

## Library Studio - 2214

メッセージ： Cannot open library <name>. Library doesn't contain any enabled columns

ライブラリ <name> を開けません。ライブラリに有効な列がありません。

原因： 指定されたライブラリはデータベースの一部ではありません。

## Library Studio - 2215

メッセージ： Cannot open library <name>. Library doesn't contain any enabled columns

ライブラリ <name> を開けません。ライブラリに有効な列が含まれていません。

原因： 有効なライブラリは列のあるテーブルを含まなければなりません。

## Library Studio - 2216

メッセージ： Please select a Data Source

データソースを選択してください。

原因 : ODBC データソースが指定されていません。

## Library Studio - 2217

メッセージ : Please select a table

テーブルを選択してください。

原因 : この操作ではテーブルの選択が必要です。

## Library Studio - 2218

メッセージ : An error occurred while creating the table

テーブル作成中にエラーが発生しました。

原因 : ネットワークまたはデータベースのエラーがありました。

## Library Studio - 2219

メッセージ : Could not embed ViewDraw in Symbol Editor. ViewDraw may not be properly registered.

ViewDraw をシンボルエディタに組み込めません。ViewDraw が適正に登録されていない可能性があります。

原因 : インストールしてから ViewDraw が実行されていません。

解決策 : ViewDraw を登録するため一度起動してください。

## Library Studio - 2220

メッセージ : Cannot open table <name> - skipping

テーブル <name> が開けません—省略します。

原因 : ネットワークまたはデータベースのエラーがありました。

## Library Studio - 2251

メッセージ : Cannot add to default shortcut group

デフォルトのショートカットグループに追加できません。

原因 : このオブジェクトにはショートカットは保存できません。

## Library Studio - 2253

メッセージ : Cannot change database layout once tables have been added to the library

テーブルが一度ライブラリに追加されると、データベースレイアウトは変更できません。

原因 : Library Studio ではこのような変更をサポートしていません。

## Library Studio - 2254

メッセージ : Cannot open library <name> because it does not contain database tables

データベーステーブルが含まれていないため、ライブラリ <name>を開けません。

原因 : ライブラリには ODBC に準拠したデータベーステーブルが含まれている必要があります。

## Library Studio - 2301

メッセージ : Do you want to permanently delete the symbol file name?

シンボルファイル名を恒久的に削除しますか？

原因 : シンボルファイル自体の削除を選択しました。  
この操作は元に戻せません。

## メッセージ 2500 から 2999

### Library Studio - 2502

メッセージ : No Active Project found. Library Studio will exit.

アクティブなプロジェクトが見つかりません。  
Library Studio を終了します。

### Library Studio - 2503

メッセージ : Unable to start Project Manager through automation. Try re-registering projman.exe

オートメーションによりプロジェクトマネージャを起動できません。projman.exe の再登録を試みてください。

原因 : プロジェクトマネージャからの応答がありません。インストールに破損が生じた可能性があります。

### Library Studio - 2504

メッセージ : Cannot start VDB/PAR Translator through automation. Try re-registering dxtrans.exe

オートメーションにより VDB/PAR Translator を起動できません。  
dxtrans.exe の再登録を試みてください。

原因 : VDB/PAR Translator からの応答がありません。インストールに破損が生じた可能性があります。

## Library Studio - 2505

メッセージ : Library Studio could not read the ViewDraw color map in the registry. You must run ViewDraw at least once to set up its registry settings.

Library Studio はレジストリにある ViewDraw カラーマップを読み込めませんでした。レジストリ設定をセットアップするには一度は ViewDraw を実行する必要があります。

解決策 : ViewDraw を起動してから閉じてください。

## Library Studio - 2506

メッセージ : Cannot invoke DxDmLite through automation. Try re-registering dxdmlite.dll

オートメーションにより DxDmLite を呼び出せません。dxdmlite.dll の再登録を試みてください。

原因 : Design Exchanges DxMmLite からの応答がありません。インストールに破損が生じた可能性があります。

## Library Studio - 2507

メッセージ : Cannot invoke scripting engine (autoscript.dll)

スクリプトエンジン呼び出せません (autoscript.dll)

## Library Studio - 2508

メッセージ : Cannot invoke Sym2Dx through automation. Try re-registering sym2dx.exe

オートメーションにより Sym2Dx を呼び出せません。sym2dx.exe の再登録を試みてください。

原因 : シンボル抽出ウィザードからの応答がありません。インストールに破損が生じた可能性があります。

## Library Studio - 2509

メッセージ : Cannot launch viewer for <name>

<name> のためのビューワが起動できません。

原因 : ファイル拡張子に関連付けられたビューワが存在しないか、ビューワが応答してません。

解決策 : 拡張子に対して有効なビューワを定義してください。

## Library Studio- 2510

メッセージ : Cannot launch program <name>

プログラム <name> を起動できません。

原因 : その拡張子に関連付けられたプログラムからの応答がありません。

解決策 : 拡張子に対して有効なプログラムを定義してください。

## Library Studio - 2511

メッセージ : Cannot invoke Symbol Previewer control. Try re-registering presym.ocx

シンボルプレビューワコントロールを呼び出せません。presym.ocx の再登録を試みてください。

原因 : シンボルプレビューワからの応答がありません。インストールに破損が生じた可能性があります。

## Library Studio - 2512

メッセージ : The shortcut <name> is no longer valid. The target item may have been removed.

ショートカット <name> はもう使用できません。対象項目がすでに削除されている可能性があります。

原因 : ショートカットがワークスペースから参照していたライブラリやモジュール、テーブル、フィルタが除かれています。

## Library Studio - 2551

メッセージ : An error occurred while connecting to the DxDM Server <name>

DxDM サーバー <name> への接続中にエラーが発生しました。

原因 : サーバーノード名が有効でないか、ネットワークがアクセス可能になっていません。

## Library Studio - 2552

メッセージ : Not connected to DxDM Server <name>

DxDM サーバー <name> と接続されていません。



原因： ネットワーク接続が終了されました。

## Library Studio - 2553

メッセージ： An error occurred while getting a list of files from server <name>

サーバー <name> からファイルのリストを受信中にエラーが発生しました。

原因： ネットワーク接続が中断されました。

## Library Studio - 2255

メッセージ： The table <name> already exists. Please choose a different name.

テーブル <name> はすでに存在します。別の名前を選択してください。

原因： データベースには既にこの名前のテーブルが含まれています。

## Library Studio - 2256

メッセージ： A library named <name> already exists. Please choose a unique name

<name> という名前のライブラリはすでに存在します。  
固有な名前を選択してください。

原因： 現在のワークスペースには既にこの名前のライブラリが含まれています。

## Library Studio - 2257

メッセージ： Renamed library <name> to <name> to make the name unique.

固有の名前にするため、ライブラリ名を <name> から <name> に変更しました。

原因： ライブラリ名は固有である必要があるため、名前が変更されました

## Library Studio - 2258

メッセージ： Cannot refresh list while this Library has an open Data View. Using cached items

このライブラリの「データ表示」が開いている間はリストをリフレッシュできません。キャッシュされた項目を使用しています。

解決策： 先に現在の「データ表示」を閉じてください。

## Library Studio - 2259

メッセージ : Cannot delete a table reference while this Library has an open Data View.  
Please close the Data View first.

このライブラリの「データ表示」が開いている間はテーブル参照を削除できません。先に「データ表示」を閉じてください。

## Library Studio - 2260

メッセージ : Cannot delete a table reference while this Library has an open Data View.  
Please close the Data View first.

このライブラリで「設計表示」が開いている間はテーブル参照を削除できません。先に「データ表示」を閉じてください。

## Library Studio - 2261

メッセージ : 'SYMBOL' is a reserved word. The Attribute Name for field <name> not updated.

'SYMBOL' は予約文字です。フィールド <name> の「属性名」は更新されませんでした。

原因 : SYMBOL はフィールド名として使用できません。

解決策 : 別の名前を使用してください。

## Library Studio - 2554

メッセージ : An error occurred while checking out file <name>.

ファイル <name> のチェックアウト中にエラーが発生しました。

## Library Studio - 2555

メッセージ : An error occurred while checking in file <name>.

ファイル <name> のチェックイン中にエラーが発生しました。

## Library Studio - 2556

メッセージ : An error occurred while unlocking file <name>.

ファイル <name>. <ext> のロック解除の際にエラーが発生しました

## Library Studio - 2580

メッセージ : The 'run' command requires that a script name be specified: <name>

‘run’ コマンドにはスクリプト名の指定が必要です :<name>

解決策 : .vbs ファイルを指定してください。

## Library Studio - 2581

メッセージ : The ‘form’ command requires that a form name be specified: <name>.

‘form’ コマンドにはフォーム名の指定が必要です :<name>

解決策 : .vfm ファイルを指定してください。

## Library Studio - 2582

メッセージ : Invalid command: <name>

無効なコマンド :<name>

## Library Studio - 2583

メッセージ : No command specified.

コマンドが指定されていません。

## Library Studio - 2601

メッセージ : Only file://, http:// and ftp:// URL’s are currently supported.

現在は file:// 、http:// または ftp:// で始まる URL のみ対応しています

原因 : 対応していないパスの構文 (UNC など) が入力されました。

## Library Studio - 2602

メッセージ : Cannot connect to ODBC Data Source <name>.

ODBC データソース <name> と接続できません。

解決策 : 適正な ODBC ドライバがインストールされていることと、データソースがアクセス可能であることを確認してください。

## Library Studio - 2603

メッセージ : An ODBC error occurred: <name>.

ODBC エラーが発生しました :<name>

## Library Studio - 2701

メッセージ : No ODBC Data Source was specified in the Traslation Wizard. Studio cannot automatically create libraries for the translated files.

翻訳ウィザードにて ODBC データソースが指定されていません。  
Library Studio は翻訳ファイル用に自動的にライブラリを作成することはできません。

解決策 :      翻訳ウィザードには ODBC データソースが必要です。

## Library Studio - 2704

メッセージ : An error occurred while writing the DxDataBook configuration to <name>.  
DxDataBook 設定を <name> へ書き込み中にエラーが発生しました。

## Library Studio - 2900

メッセージ : An error occurred while writing the DxDataBook configuration to <name>.  
DxDataBook 設定を <name> へ書き込み中にエラーが発生しました。

## Library Studio - 2999

メッセージ : An error occurred.  
エラーが発生しました。

# End-User License Agreement

The latest version of the End-User License Agreement is available on-line at:  
[www.mentor.com/terms\\_conditions/enduser.cfm](http://www.mentor.com/terms_conditions/enduser.cfm)

## IMPORTANT INFORMATION

**USE OF THIS SOFTWARE IS SUBJECT TO LICENSE RESTRICTIONS. CAREFULLY READ THIS LICENSE AGREEMENT BEFORE USING THE SOFTWARE. USE OF SOFTWARE INDICATES YOUR COMPLETE AND UNCONDITIONAL ACCEPTANCE OF THE TERMS AND CONDITIONS SET FORTH IN THIS AGREEMENT. ANY ADDITIONAL OR DIFFERENT PURCHASE ORDER TERMS AND CONDITIONS SHALL NOT APPLY.**

## END-USER LICENSE AGREEMENT ("Agreement")

This is a legal agreement concerning the use of Software between you, the end user, as an authorized representative of the company acquiring the license, and Mentor Graphics Corporation and Mentor Graphics (Ireland) Limited acting directly or through their subsidiaries (collectively "Mentor Graphics"). Except for license agreements related to the subject matter of this license agreement which are physically signed by you and an authorized representative of Mentor Graphics, this Agreement and the applicable quotation contain the parties' entire understanding relating to the subject matter and supersede all prior or contemporaneous agreements. If you do not agree to these terms and conditions, promptly return or, if received electronically, certify destruction of Software and all accompanying items within five days after receipt of Software and receive a full refund of any license fee paid.

- GRANT OF LICENSE.** The software programs, including any updates, modifications, revisions, copies, documentation and design data ("Software"), are copyrighted, trade secret and confidential information of Mentor Graphics or its licensors who maintain exclusive title to all Software and retain all rights not expressly granted by this Agreement. Mentor Graphics grants to you, subject to payment of appropriate license fees, a nontransferable, nonexclusive license to use Software solely: (a) in machine-readable, object-code form; (b) for your internal business purposes; (c) for the license term; and (d) on the computer hardware and at the site authorized by Mentor Graphics. A site is restricted to a one-half mile (800 meter) radius. Mentor Graphics' standard policies and programs, which vary depending on Software, license fees paid or services purchased, apply to the following: (a) relocation of Software; (b) use of Software, which may be limited, for example, to execution of a single session by a single user on the authorized hardware or for a restricted period of time (such limitations may be technically implemented through the use of authorization codes or similar devices); and (c) support services provided, including eligibility to receive telephone support, updates, modifications, and revisions.
- EMBEDDED SOFTWARE.** If you purchased a license to use embedded software development ("ESD") Software, if applicable, Mentor Graphics grants to you a nontransferable, nonexclusive license to reproduce and distribute executable files created using ESD compilers, including the ESD run-time libraries distributed with ESD C and C++ compiler Software that are linked into a composite program as an integral part of your compiled computer program, provided that you distribute these files only in conjunction with your compiled computer program. Mentor Graphics does NOT grant you any right to duplicate, incorporate or embed copies of Mentor Graphics' real-time operating systems or other embedded software products into your products or applications without first signing or otherwise agreeing to a separate agreement with Mentor Graphics for such purpose.
- BETA CODE.** Software may contain code for experimental testing and evaluation ("Beta Code"), which may not be used without Mentor Graphics' explicit authorization. Upon Mentor Graphics' authorization, Mentor Graphics grants to you a temporary, nontransferable, nonexclusive license for experimental use to test and evaluate the Beta Code without charge for a limited period of time specified by Mentor Graphics. This grant and your use of the Beta Code shall not be construed as marketing or offering to sell a license to the Beta Code, which Mentor Graphics may choose not to release commercially in any form. If Mentor Graphics authorizes you to use the Beta Code, you agree to evaluate and test the Beta Code under normal conditions as directed by Mentor Graphics. You will contact Mentor Graphics periodically during your use of the Beta Code to discuss any malfunctions or suggested improvements. Upon completion of your evaluation and testing, you will send to Mentor Graphics a written evaluation of the Beta Code, including its strengths, weaknesses and recommended improvements. You agree that any written evaluations and all inventions, product improvements, modifications or developments that Mentor Graphics conceived or made during or subsequent to this Agreement, including those based partly or wholly on your feedback, will be the exclusive property of Mentor Graphics. Mentor Graphics will have exclusive rights, title and interest in all such property. The provisions of this section 3 shall survive the termination or expiration of this Agreement.

4. **RESTRICTIONS ON USE.** You may copy Software only as reasonably necessary to support the authorized use. Each copy must include all notices and legends embedded in Software and affixed to its medium and container as received from Mentor Graphics. All copies shall remain the property of Mentor Graphics or its licensors. You shall maintain a record of the number and primary location of all copies of Software, including copies merged with other software, and shall make those records available to Mentor Graphics upon request. You shall not make Software available in any form to any person other than employees and on-site contractors, excluding Mentor Graphics' competitors, whose job performance requires access and who are under obligations of confidentiality. You shall take appropriate action to protect the confidentiality of Software and ensure that any person permitted access to Software does not disclose it or use it except as permitted by this Agreement. Except as otherwise permitted for purposes of interoperability as specified by applicable and mandatory local law, you shall not reverse-assemble, reverse-compile, reverse-engineer or in any way derive from Software any source code. You may not sublicense, assign or otherwise transfer Software, this Agreement or the rights under it, whether by operation of law or otherwise ("attempted transfer"), without Mentor Graphics' prior written consent and payment of Mentor Graphics' then-current applicable transfer charges. Any attempted transfer without Mentor Graphics' prior written consent shall be a material breach of this Agreement and may, at Mentor Graphics' option, result in the immediate termination of the Agreement and licenses granted under this Agreement. The terms of this Agreement, including without limitation, the licensing and assignment provisions shall be binding upon your successors in interest and assigns. The provisions of this section 4 shall survive the termination or expiration of this Agreement.
5. **LIMITED WARRANTY.**
- 5.1. Mentor Graphics warrants that during the warranty period Software, when properly installed, will substantially conform to the functional specifications set forth in the applicable user manual. Mentor Graphics does not warrant that Software will meet your requirements or that operation of Software will be uninterrupted or error free. The warranty period is 90 days starting on the 15th day after delivery or upon installation, whichever first occurs. You must notify Mentor Graphics in writing of any nonconformity within the warranty period. This warranty shall not be valid if Software has been subject to misuse, unauthorized modification or improper installation. MENTOR GRAPHICS' ENTIRE LIABILITY AND YOUR EXCLUSIVE REMEDY SHALL BE, AT MENTOR GRAPHICS' OPTION, EITHER (A) REFUND OF THE PRICE PAID UPON RETURN OF SOFTWARE TO MENTOR GRAPHICS OR (B) MODIFICATION OR REPLACEMENT OF SOFTWARE THAT DOES NOT MEET THIS LIMITED WARRANTY, PROVIDED YOU HAVE OTHERWISE COMPLIED WITH THIS AGREEMENT. MENTOR GRAPHICS MAKES NO WARRANTIES WITH RESPECT TO: (A) SERVICES; (B) SOFTWARE WHICH IS LICENSED TO YOU FOR A LIMITED TERM OR LICENSED AT NO COST; OR (C) EXPERIMENTAL BETA CODE; ALL OF WHICH ARE PROVIDED "AS IS."
- 5.2. THE WARRANTIES SET FORTH IN THIS SECTION 5 ARE EXCLUSIVE. NEITHER MENTOR GRAPHICS NOR ITS LICENSORS MAKE ANY OTHER WARRANTIES, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, WITH RESPECT TO SOFTWARE OR OTHER MATERIAL PROVIDED UNDER THIS AGREEMENT. MENTOR GRAPHICS AND ITS LICENSORS SPECIFICALLY DISCLAIM ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF INTELLECTUAL PROPERTY.
6. **LIMITATION OF LIABILITY.** EXCEPT WHERE THIS EXCLUSION OR RESTRICTION OF LIABILITY WOULD BE VOID OR INEFFECTIVE UNDER APPLICABLE LAW, IN NO EVENT SHALL MENTOR GRAPHICS OR ITS LICENSORS BE LIABLE FOR INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS OR SAVINGS) WHETHER BASED ON CONTRACT, TORT OR ANY OTHER LEGAL THEORY, EVEN IF MENTOR GRAPHICS OR ITS LICENSORS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. IN NO EVENT SHALL MENTOR GRAPHICS' OR ITS LICENSORS' LIABILITY UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNT PAID BY YOU FOR THE SOFTWARE OR SERVICE GIVING RISE TO THE CLAIM. IN THE CASE WHERE NO AMOUNT WAS PAID, MENTOR GRAPHICS AND ITS LICENSORS SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER. THE PROVISIONS OF THIS SECTION 6 SHALL SURVIVE THE EXPIRATION OR TERMINATION OF THIS AGREEMENT.
7. **LIFE ENDANGERING ACTIVITIES.** NEITHER MENTOR GRAPHICS NOR ITS LICENSORS SHALL BE LIABLE FOR ANY DAMAGES RESULTING FROM OR IN CONNECTION WITH THE USE OF SOFTWARE IN ANY APPLICATION WHERE THE FAILURE OR INACCURACY OF THE SOFTWARE MIGHT RESULT IN DEATH OR PERSONAL INJURY. THE PROVISIONS OF THIS SECTION 7 SHALL SURVIVE THE EXPIRATION OR TERMINATION OF THIS AGREEMENT.
8. **INDEMNIFICATION.** YOU AGREE TO INDEMNIFY AND HOLD HARMLESS MENTOR GRAPHICS AND ITS LICENSORS FROM ANY CLAIMS, LOSS, COST, DAMAGE, EXPENSE, OR LIABILITY, INCLUDING ATTORNEYS' FEES, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH YOUR USE OF SOFTWARE AS

DESCRIBED IN SECTION 7. THE PROVISIONS OF THIS SECTION 8 SHALL SURVIVE THE EXPIRATION OR TERMINATION OF THIS AGREEMENT.

**9. INFRINGEMENT.**

9.1. Mentor Graphics will defend or settle, at its option and expense, any action brought against you alleging that Software infringes a patent or copyright or misappropriates a trade secret in the United States, Canada, Japan, or member state of the European Patent Office. Mentor Graphics will pay any costs and damages finally awarded against you that are attributable to the infringement action. You understand and agree that as conditions to Mentor Graphics' obligations under this section you must: (a) notify Mentor Graphics promptly in writing of the action; (b) provide Mentor Graphics all reasonable information and assistance to defend or settle the action; and (c) grant Mentor Graphics sole authority and control of the defense or settlement of the action.

9.2. If an infringement claim is made, Mentor Graphics may, at its option and expense: (a) replace or modify Software so that it becomes noninfringing; (b) procure for you the right to continue using Software; or (c) require the return of Software and refund to you any license fee paid, less a reasonable allowance for use.

9.3. Mentor Graphics has no liability to you if infringement is based upon: (a) the combination of Software with any product not furnished by Mentor Graphics; (b) the modification of Software other than by Mentor Graphics; (c) the use of other than a current unaltered release of Software; (d) the use of Software as part of an infringing process; (e) a product that you make, use or sell; (f) any Beta Code contained in Software; (g) any Software provided by Mentor Graphics' licensors who do not provide such indemnification to Mentor Graphics' customers; or (h) infringement by you that is deemed willful. In the case of (h) you shall reimburse Mentor Graphics for its attorney fees and other costs related to the action upon a final judgment.

9.4. THIS SECTION IS SUBJECT TO SECTION 6 ABOVE AND STATES THE ENTIRE LIABILITY OF MENTOR GRAPHICS AND ITS LICENSORS AND YOUR SOLE AND EXCLUSIVE REMEDY WITH RESPECT TO ANY ALLEGED PATENT OR COPYRIGHT INFRINGEMENT OR TRADE SECRET MISAPPROPRIATION BY ANY SOFTWARE LICENSED UNDER THIS AGREEMENT.

10. **TERM.** This Agreement remains effective until expiration or termination. This Agreement will immediately terminate upon notice if you exceed the scope of license granted or otherwise fail to comply with the provisions of Sections 1, 2, or 4. For any other material breach under this Agreement, Mentor Graphics may terminate this Agreement upon 30 days written notice if you are in material breach and fail to cure such breach within the 30 day notice period. If Software was provided for limited term use, this Agreement will automatically expire at the end of the authorized term. Upon any termination or expiration, you agree to cease all use of Software and return it to Mentor Graphics or certify deletion and destruction of Software, including all copies, to Mentor Graphics' reasonable satisfaction.

11. **EXPORT.** Software is subject to regulation by local laws and United States government agencies, which prohibit export or diversion of certain products, information about the products, and direct products of the products to certain countries and certain persons. You agree that you will not export any Software or direct product of Software in any manner without first obtaining all necessary approval from appropriate local and United States government agencies.

12. **RESTRICTED RIGHTS NOTICE.** Software was developed entirely at private expense and is commercial computer software provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure by the U.S. Government or a U.S. Government subcontractor is subject to the restrictions set forth in the license agreement under which Software was obtained pursuant to DFARS 227.7202-3(a) or as set forth in subparagraphs (c)(1) and (2) of the Commercial Computer Software - Restricted Rights clause at FAR 52.227-19, as applicable. Contractor/manufacturer is Mentor Graphics Corporation, 8005 SW Boeckman Road, Wilsonville, Oregon 97070-7777 USA.

13. **THIRD PARTY BENEFICIARY.** For any Software under this Agreement licensed by Mentor Graphics from Microsoft or other licensors, Microsoft or the applicable licensor is a third party beneficiary of this Agreement with the right to enforce the obligations set forth herein.

14. **AUDIT RIGHTS.** You will monitor access to, location and use of Software. With reasonable prior notice and during your normal business hours, Mentor Graphics shall have the right to review your software monitoring system and reasonably relevant records to confirm your compliance with the terms of this Agreement, an addendum to this Agreement or U.S. or other local export laws. Such review may include FLEXlm or FLEXnet report log files that you shall capture and provide at Mentor Graphics' request. Mentor Graphics shall treat as confidential information all of your information gained as a result of any request or review and shall only use or disclose such information as required by law or to enforce its rights under this Agreement or addendum to this Agreement. The provisions of this section 14 shall survive the expiration or termination of this Agreement.

15. **CONTROLLING LAW, JURISDICTION AND DISPUTE RESOLUTION.** THIS AGREEMENT SHALL BE GOVERNED BY AND CONSTRUED UNDER THE LAWS OF THE STATE OF OREGON, USA, IF YOU ARE LOCATED IN NORTH OR SOUTH AMERICA, AND THE LAWS OF IRELAND IF YOU ARE LOCATED OUTSIDE OF NORTH OR SOUTH AMERICA. All disputes arising out of or in relation to this Agreement shall be submitted to the exclusive jurisdiction of Portland, Oregon when the laws of Oregon apply, or Dublin, Ireland when the laws of Ireland apply. Notwithstanding the foregoing, all disputes in Asia (except for Japan) arising out of or in relation to this Agreement shall be resolved by arbitration in Singapore before a single arbitrator to be appointed by the Chairman of the Singapore International Arbitration Centre (“SIAC”) to be conducted in the English language, in accordance with the Arbitration Rules of the SIAC in effect at the time of the dispute, which rules are deemed to be incorporated by reference in this section 15. This section shall not restrict Mentor Graphics’ right to bring an action against you in the jurisdiction where your place of business is located. The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods does not apply to this Agreement.
16. **SEVERABILITY.** If any provision of this Agreement is held by a court of competent jurisdiction to be void, invalid, unenforceable or illegal, such provision shall be severed from this Agreement and the remaining provisions will remain in full force and effect.
17. **PAYMENT TERMS AND MISCELLANEOUS.** You will pay amounts invoiced, in the currency specified on the applicable invoice, within 30 days from the date of such invoice. Any past due invoices will be subject to the imposition of interest charges in the amount of one and one-half percent per month or the applicable legal rate currently in effect, whichever is lower. Some Software may contain code distributed under a third party license agreement that may provide additional rights to you. Please see the applicable Software documentation for details. This Agreement may only be modified in writing by authorized representatives of the parties. Waiver of terms or excuse of breach must be in writing and shall not constitute subsequent consent, waiver or excuse.



### 重要事項

このソフトウェアの使用はライセンス条件の適用を受けます。ソフトウェアを使用する前に、このライセンス契約書をよくお読みください。ソフトウェアを使用することにより、お客様は本契約で定める条件の完全かつ無条件な承諾を表すことになります。ご注文書に追加または異なる条件が含まれる場合、それらは適用されません。

## エンドユーザ・ライセンス契約書（「本契約」）

この合意書は、ソフトウェアの使用に関し、ライセンスを入手するエンドユーザとして会社の権限ある代表者であるお客様と、Mentor Graphics Corporation および Mentor Graphics (Ireland) Limited（これら二社が直接、またはその子会社を通して活動する場合を含み、以下「メンター・グラフィックス」と総称する）の間に成立する、正式な契約です。この契約の主題に関し、それぞれの権限ある者が署名したライセンス契約がある場合を除き、本契約と該当する見積書は、お客様とメンター・グラフィックスの間の完全なる合意を定めたものであり、これらに先立ちまたは同時になされた合意にとって代わるものです。これらの条件に同意されない場合、ソフトウェアの受領後5日以内にソフトウェアおよび全ての付属品目を直ちに返却し、電子的手段により受領したときはその破棄を証明して、支払済みライセンス料の全額払戻をお受けください。

**第1条 ライセンスの許諾** ソフトウェア・プログラム（そのアップデート、修正、改訂、コピー、ドキュメンテーションおよびデザイン・データを含み、以下「本ソフトウェア」という）は、著作権により保護されており、本ソフトウェアの全部に対し独占的権原を保持し、かつ本契約で明示的に許諾されていない全ての権利を留保するメンター・グラフィックスまたはそのライセンサ（メンター・グラフィックスに対する使用許諾者、以下同様）の営業秘密および秘密情報です。メンター・グラフィックスは、適切なライセンス料の支払を条件に、本ソフトウェアを使用できる譲渡不可の非独占的ライセンスを、（a）機械読取り可能なオブジェクト・コードの形態により、（b）お客様の内部業務目的のために、（c）ライセンス期間中、そして（d）メンター・グラフィックスが承認したコンピュータ・ハードウェアならびにサイトで使用する場合に限り、お客様に対し許諾します。なお1サイトは、半径0.5マイル（800メートル）以内に制限されています。本ソフトウェア、支払済みライセンス料または購入済みサービスに応じて異なるメンター・グラフィックスの標準規定は、（a）本ソフトウェアの再配置、（b）本ソフトウェアの使用制限（例えば、認定されたハードウェア上での単一ユーザによる単一セッションの実行、または限定期間の使用等の制限を含み、これらの制限はオーソライゼーション・コードまたは類似の仕組みを利用して技術的に実施される）、ならびに（c）電話サポート、アップデート、修正および改訂を対象とするサポート・サービス、に適用されます。

**第2条 ESD ソフトウェア** お客様が組込みソフトウェア開発（以下「ESD」という）用の本ソフトウェアを使用するライセンスを購入し、本契約が適用される場合、メンター・グラフィックスは、お客様がコンパイルしたコンピュータ・プログラムの不可欠な部分として、複合プログラムに連係される ESD C および C++ コンパイラの本ソフトウェアと共に頒布される ESD ランタイム・ライブラリを含めて、ESD コンパイラを用いて生成された実行可能ファイルを複製および頒布できる譲渡不可の非独占的ライセンスを、お客様に対し許諾します。但しこれらのファイルは、お客様がコンパイルしたコンピュータ・プログラムとの組合せでのみ頒布されることを条件とします。本条で明示的に許諾されるものを除き、メンター・グラフィックスのリアルタイム・オペレーティング・システムまたは他の ESD 用の本ソフトウェアをコピーし、またはこれをお客様の製品に組込むいかなる権利も、初めにメンター・グラフィックスとの間で当該目的の契約を別途締結し、またはその他方法により合意しない限り、お客様に対し許諾されません。

**第3条 ベータ・コード** 本ソフトウェアには、実験試用および評価用のコード（以下「ベータ・コード」という）を含んでいる場合があります。このコードは、メンター・グラフィックスの明示的な許諾なしに使用できません。メンター・グラフィックスが承認した場合、ベータ・コードを試験および評価する実験的使用のための一時的で譲渡不可の非独占的ライセンスを、メンター・グラフィックスが特定する限定期間中のみ、お客様に対し無償で許諾します。この許諾およびお客様によるベータ・コードの使用は、ベータ・コードのライセンスを販売するためのマーケティングまたは申込とは解釈されないものとします。メンター・グラフィックスは、ベータ・コードをいかなる形態でも商業的にリリースしないことを選択できます。メンター・グラフィックスがお客様に対しベータ・コードの使用を許諾する場合、お客様はベータ・コードをメンター・グラフィックスが指示する環境下で評価および試験することに同意します。お客様には、ベータ・コードの使用期間中、不具合または改良の提案等について、メンター・グラフィックスと定期的に連絡して頂きます。またお客様の評価および試験が完了しだい、ベータ・コードの長所、弱点および推奨する改良点を含めて、評価書をお客様からメンター・グラフィックスへお送り頂くものとします。お客様は、評価書、およびメンター・グラフィックスが本契約の期間中またはその後に考案または創作する全ての発明、または製品の改良、修正もしくは開発物も、お客様からのフィードバックの一部または完全に基づくものを含めて、メンター・グラフィックスの独占的財産となることに同意します。メンター・グラフィックスは、当該財産の全部について独占的な権利、権原および権益を保有します。本条の規定は、本契約の終了または期間満了後も存続します。

**第4条 使用の制限** お客様は、許諾された使用をサポートするため合理的に必要な場合のみ本ソフトウェアをコピーできます。各コピーには、本ソフトウェアをメンター・グラフィックスから受領した際に組込まれており、その記憶媒体および包装に添付されていた全ての告知文および表示を含めなければなりません。コピーは全て、メンター・グラフィックスまたはそのライセンサの所有物に留まります。お客様は、他のソフトウェアと融合したコピーを含めて、本ソフトウェアのコピー全部に関し数量および主たる保管場所の記録簿を保持し、メンター・グラフィックスが要求しだい当該記録を利用できるようにします。お客様は、メンター・グラフィックスの競合相手を除外したうえで、その職務の履行が本ソフトウェアへのアクセスを必要とし、かつ秘密保持義務を負う、お客様の従業員およびお客様施設現場に在する請負業者以外の者に対して、本ソフトウェアをいかなる形態でも利用可能にすることはなりません。またお客様は、本ソフトウェアの秘密性を保護するため適切な措置を講じ、かつ本ソフトウェアへのアクセスを許されたいいかなる者も、本契約で許可される場合を除き、これを開示または使用しないことを保証するものとします。当該国または地域で適用される強行法規に従い相互運用性の目的で認められる場合を除き、お客様は、逆アセンブル、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、その他いかなる方法でも、本ソフトウェアからソース・コードを引出そうとはしてはなりません。お客様は、メンター・グラフィックスの書面による事前同意およびその時点で該当するトランスファー料の支払なく、本ソフトウェア、本契約または本契約に基づく権利を、法適用の効果またはその他によるかを問わず、サブライセンス（再使用許諾）、譲渡、その他の方法で移転すること（以下「移転実施」という）はできません。メンター・グラフィックスの書面による事前同意がない移転実施は、いずれも本契約の重大な違反になるものとし、本契約および本契約に基づき許諾されたライセンスはメンター・グラフィックスの選択により催告なく直ちに終了します。本契約の諸条件は、ライセンスおよび譲渡に関する条項を含め、お客様の相続人、地位承継者または譲受人に対しても拘束力を持ちます。本条の規定は、本契約の終了または期間満了後も存続します。

### 第5条 限定的保証

第1項 メンター・グラフィックスは、その保証期間中、本ソフトウェアが適切にインストールされている場合は、該当するユーザ・マニュアルで定める機能上の仕様と実質的に一致することを保証します。メンター・グラフィックスは、本ソフトウェアがお客様の要求を満たすこと、または本ソフトウェアの稼働に中断もしくはエラーが生じないことは保証していません。保証期間は、本ソフトウェアの引渡後15日目またはインストール時点のいずれか早い方から起算する90日間とします。お客様は不一致を保証期間中にメンター・グラフィックスへ書面で通知しなければなりません。本項の保証は、本ソフトウェアの誤用、許諾されていない修正、もしくは不適切なインストールがなされていた場合に有効となりません。メンター・グラフィックスの全責任およびお客様唯一の救済手段は、お客様が本契約を他の点でも全て遵守していたことを条件に、メンター・グラフィックスの選択により、（a）本ソフトウェアがメンター・グラフィックスへ返却されてから支払済み価格を払戻すか、（b）本項の限定的保証を満たさない本ソフトウェアを修正または取替えることの、いずれか一方とします。また、（a）各種のサービス、（b）お客様へ期間を限定して、もしくは無償で許諾される本ソフトウェア、または（c）実験用ベータ・コードは、全て「現状のまま」の条件で提供されるものとし、これらについてメンター・グラフィックスは一切の保証を行いません。

第2項 本条に定めるところが、本契約に基づく唯一の保証となります。メンター・グラフィックスまたはそのライセンサは、本契約に基づき提供される本ソフトウェアまたは他の資料について、明示的、黙示的または法定上かを問わず、他のいかなる保証も行いません。メンター・グラフィックスおよびそのライセンサは、商業性、特定目的への適合性、および知的財産の非侵害について、一切の黙示的保証を否認します。

**第6条 責任の限定** 本条で定める責任の排除および制限が、法令または規則により無効とされる場合を除き、メンター・グラフィックスまたはそのライセンサは、いかなる場合も間接的、付随的、派生的または特別な損害（逸失利益または節約機会の喪失を含む）について、その損害の可能性をメンター・グラフィックスまたはそのライセンサが予め知らされていた場合といえども、契約、不法行為、またはその他の法理に基づくかにかかわらず、その責めを負わないものとします。いかなる場合も、メンター・グラフィックスまたはそのライセンサの本契約に基づく責任は、当該請求が生じた本ソフトウェアまたはサービスの対価としてお客様が支払済みの金額を超えないものとします。支払済み金額がない場合、メンター・グラフィックスおよびそのライセンサは、いかなる損害について

も一切の責任を負わないものとします。本条の規定は、本契約の期間満了または終了後も存続します。

**第7条 人命に関する活動** メンター・グラフィックスまたはそのライセンサーは、その不具合または不正確が死亡事故または人身傷害をもたらす可能性のある応用分野では、本ソフトウェアの使用に起因または関連するいずれの損害についても、その責めを負わないものとします。本条の規定は、本契約の期間満了または終了後も存続します。

**第8条 免責** 前条にいう分野での本ソフトウェアの使用に起因または関連する全ての請求、損失、代価、損害、経費または賠償責任（弁護士報酬を含む）について、お客様にはメンター・グラフィックスおよびそのライセンサーを補償し免責することに同意頂きます。本条の規定は、本契約の期間満了または終了後も存続します。

#### 第9条 侵害

第1項 米国、カナダ、日本、または欧州特許庁の加盟国において、本ソフトウェアが特許もしくは著作権の侵害または営業秘密の不正使用であると、お客様が提訴された場合、メンター・グラフィックスは、その選択および費用負担で防御または解決します。メンター・グラフィックスは、当該侵害訴訟に帰すべき訴訟費用および損害賠償をお客様に対する最終裁定額を支払います。本条に基づく義務をメンター・グラフィックスが履行する条件として、お客様には、(a) 提訴の事実を直ちにメンター・グラフィックスへ書面で通知し、(b) 当該訴訟を防御または解決するために、全ての合理的な情報および支援をメンター・グラフィックスへ提供し、かつ (c) 当該訴訟を防御または解決する単独の裁量権をメンター・グラフィックスへ付与しなければならないことを了解のうえ、これに同意頂きます。

第2項 権利侵害の申立がなされた場合、メンター・グラフィックスは、その選択および費用負担により、(a) 非侵害となるように本ソフトウェアを代替もしくは修正するか、(b) 本ソフトウェアの使用を継続できる権利をお客様のために取得するか、(c) 本ソフトウェアの返却を要求し、かつ使用による合理的な控除額を差引いた支払済みライセンス料をお客様へ払戻すことの、いずれかを行うことができます。

第3項 メンター・グラフィックスは、権利侵害の主張が、(a) メンター・グラフィックスの供給によらない製品との組合せ、(b) メンター・グラフィックス以外による本ソフトウェアの修正、(c) 変更なしの現行リリース以外による本ソフトウェアの使用、(d) 侵害する方法・工程の部分としての本ソフトウェアの使用、(e) お客様が作成、使用または販売する製品、(f) 本ソフトウェアに含まれるベータ・コード、(g) メンター・グラフィックスの顧客に対しその補償を行わないメンター・グラフィックスのライセンサーにより提供される本ソフトウェア、または (h) お客様の故意とみなされる侵害のいずれかに基づく場合は、お客様に対し一切の責任を負いません。また上記 (h) のとき、お客様は当該訴訟に関連してメンター・グラフィックスに生じた弁護士報酬その他の費用を、終局判決がありしだいメンター・グラフィックスへ補償するものとします。

第4項 本条は第6条に従うものとし、本契約に基づきライセンスされた本ソフトウェアによる特許もしくは著作権の侵害または営業秘密の不正使用に係るあらゆる主張について、メンター・グラフィックスおよびそのライセンサーの全責任、ならびにお客様唯一の救済手段を定めるものとなります。

**第10条 期間** 本契約は期間満了または終了時まで有効に存続します。お客様が許諾されたライセンスの範囲を超え、または第1条、第2条ないし第4条の規定を遵守しない場合、メンター・グラフィックスからの通知をもって本契約は直ちに終了します。その他重大な契約違反があり、メンター・グラフィックスの書面による通知から30日以内に是正されない場合、メンター・グラフィックスはその通知から30日をもって本契約を終了することができます。本ソフトウェアが期間限定の使用のために提供された場合、本契約は当該許諾期間の満了を以て自動的に終了します。いずれの場合も、本契約の期間満了または終了しだい、お客様にはメンター・グラフィックスが合理的に納得できるように、そのコピー全部を含めて、本ソフトウェアの一切の使用を止めメンター・グラフィックスへ返却するか、または本ソフトウェアの削除および破壊を書面により証明することに同意頂きます。

**第11条 輸出** 本ソフトウェアは、一定の製品、当該製品の情報、および当該製品から直接作成された製品を、一定の国および人物へ輸出または迂回流出することを禁じる各国法および米国政府機関による規制の対象となります。お客様には、初めに各国および米国政府機関から必要な全ての承認を取得することなく、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアから直接作成された製品を、いかなる方法でも輸出しないことに同意頂きます。

**第12条 制限的権利の告知** 本ソフトウェアは、もっぱら民間の経費により開発され、かつ制限的権利 (RESTRICTED RIGHTS) が適用されたうえで提供される商用のコンピュータ・ソフトウェアです。米国政府またはその下請業者による使用、複製または開示は、本ソフトウェアを取得した際の当該ライセンス契約が DFARS 227.7202-3(a) に準拠して定める制限、または FAR 52.227-19 で商用コンピュータ・ソフトウェアの制限的権利に係る条項の (c)(1) および (2) 項が定める制限の、いずれか適用のある方に従います。契約者／製造業者は、8005 SW Boeckman Road, Wilsonville, Oregon 97070-7777 USA 所在の Mentor Graphics Corporation になります。

**第13条 第三受益者** メンター・グラフィックスが本契約に基づきライセンスする Microsoft または他のライセンサーの本ソフトウェアに関して、Microsoft または該当するライセンサーは、本契約の定める義務を強制する権利を持った、本契約上の受益者たる第三者に当たります。

**第14条 監査権** お客様は、本ソフトウェアに対するアクセス、所在ならびに使用を管理します。メンター・グラフィックスは、合理的な期間の予告を行なったうえで、お客様のソフトウェア管理システム、ならびに本契約、覚書または米国その他輸出管理規制の遵守を確認するために合理的に必要とされる記録を、お客様の通常の営業時間中に検査する権利を有するものとします。この検査には、メンター・グラフィックスの求めに応じて検索し提供される FLEXlm または FLEXnet レポートのログ・ファイルが含まれることがあります。メンター・グラフィックスは、その依頼または検査の結果得られた全ての情報を秘密に保持し、法律に従い、あるいはメンター・グラフィックスの権利を本契約または覚書に基づき執行するために必要な情報のみを使用または開示するものとします。本条の規定は、本契約の期間満了または終了後も存続します。

**第15条 準拠法、裁判管轄および紛争解決** 本契約は、お客様が南北アメリカに位置する場合は米国オレゴン州法に、南北アメリカ以外に位置する場合はアイルランド法に、それぞれ準拠して解釈されるものとします。本契約に起因または関連して生じる全ての紛争は、オレゴン州法が適用される場合はオレゴン州ポートランドを、アイルランド法が適用される場合はアイルランド共和国ダブリンを、それぞれ専属的合意管轄地としてこれに服します。前述にかかわらず、アジア（日本を除く）における本契約に起因または関連した紛争は、シンガポールにおいて、Singapore International Arbitration Centre (SIAC) の議長により選任された単独の仲裁人により、英語を使用して解決されます。この場合、紛争がおきた時点で有効な SIAC 仲裁規則が適用され、同規則は本条の一部を成すものとします。本条の規定は、お客様に対する訴訟をメンター・グラフィックスが、お客様の営業場所が位置する裁判管轄区域において提起する権利を排除しないものとします。国際物品売買契約に関する国連条約の条項は本契約に適用されません。

**第16条 可分性** 本契約でいずれかの条項が、管轄権を有する裁判所により無効、執行不能、または違法であると判示された場合、その条項は本契約から切離されて、残りの条項が完全に有効なまま存続するものとします。

**第17条 支払ならびに雑則** お客様は請求された金額を、メンター・グラフィックスの見積書に別途定められていない限り、当該請求書の発行日から30日以内に指定された通貨によりメンター・グラフィックスにお支払いいただきます。支払期日を過ぎた請求書には、月1½%または適用される法定利率のいずれか低い方の率が利息として加算されます。一部の本ソフトウェアには第三者のライセンス契約に基づき配布されるコードが含まれ、お客様に追加の権利が付与される場合があります。詳細は該当する本ソフトウェアのドキュメンテーションをご覧ください。本契約は、両当事者の権限ある代表者が署名して書面にて合意した場合のみ、修正することができます。条件の放棄または違反の免除は書面による同意を要し、その後の同意、権利放棄または免除を構成しないものとします。

EULA Rev. 060210(Japanese 060210) PN 227921